

就職及び居住に関する意識・行動調査 報告書

平成23年3月

SURV さがみはら都市みらい研究所

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	3
第 2 章 調査結果の詳細	5
1. あなたご自身のことについて	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	9
(3) 婚姻状況	11
(4) 世帯構成	13
(5) 居住地区	15
(6) 居住年数	17
(7) 職業	19
(8) 従業地	21
(9) 世帯収入	23
2. 就職の状況について	25
(1) 就職活動の有無	25
(2) 就職活動をしていた時住んでいた場所	27
(3) 希望の勤務地	29
(4) 希望勤務地の候補に相模原市は含まれているか	31
(5) 許容できる通勤時間	34
(6) 就職先を決める際に重視したこと	36
(7) 求人情報の入手先	40
(8) 相模原市内の企業の求人情報を入手したか	44
(9) 相模原市内の企業の求人情報の入手先	46
(10) 資料請求をした会社の数	50
(11) 入社試験を受けた会社の数	52
(12) 入社試験を受けた市内の会社の数	54
(13) 就職活動の際に最も困ったことや悩んだこと	56
(14) 相模原市就職支援センターの利用の有無	58
3. お住まいの状況について	60
(1) 住居形態	60
(2) 現在の場所に住むようになったきっかけ	62
(3) 購入・建築した家屋・マンション	65
(4) 中古住宅のイメージ	67

(5) 購入当時の中古住宅の建築経過年数	71
(6) 購入した中古住宅に関する評価	72
(7) 中古住宅を購入し、住んでみた満足度	74
(8) 選択肢として検討した住宅の種類	76
(9) 購入した土地やマンションを知ったきっかけ	80
(10) 住まいの場所を選ぶ際に重視したもの	84
(11) 今後の住み替えの意向	93
(12) 現在の場所に住むようになったきっかけ	96
(13) 現在住んでいる住宅を知ったきっかけ	98
(14) 今後の引越しの予定	102
(15) 引越しの予定時期	105
(16) 引越しの候補地	108
(17) 引越し先を選ぶ理由	111
(18) 両親と同居・近居の予定	120
(19) 市内に相続する可能性のある家・土地の有無	122
(20) 相続する可能性のある家・土地の活用予定	124
(21) 友人や知人に市内に住むことを勧められるか	127
4. 自由意見	131

参考資料	135
------	-----

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、相模原市（さがみはら都市みらい研究所）が取り組む課題別研究の一環として実施するもので、就職及び居住に関する意識・行動を統計的手法によつて的確に把握することを目的とする。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
就職及び居住に関する意識・行動調査	相模原市在住の20歳から40歳までの男女

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成23年2月1日（火）～2月14日（月）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,109件	36.9%

4. 調査項目

- ・あなたご自身のことについて
- ・就職の状況について
- ・お住まいの状況について
- ・自由意見

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第1章 調査の概要

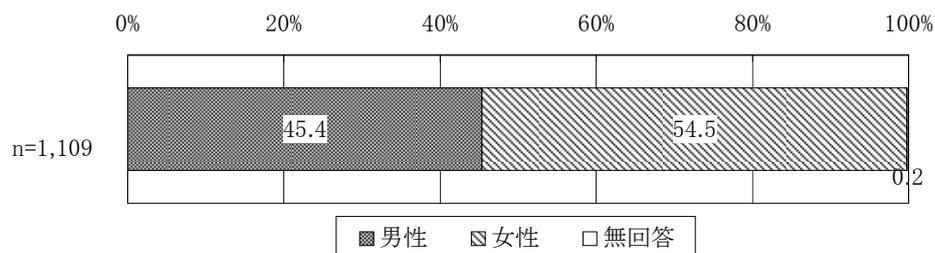
第2章 調査結果の詳細

1. あなたご自身のことについて

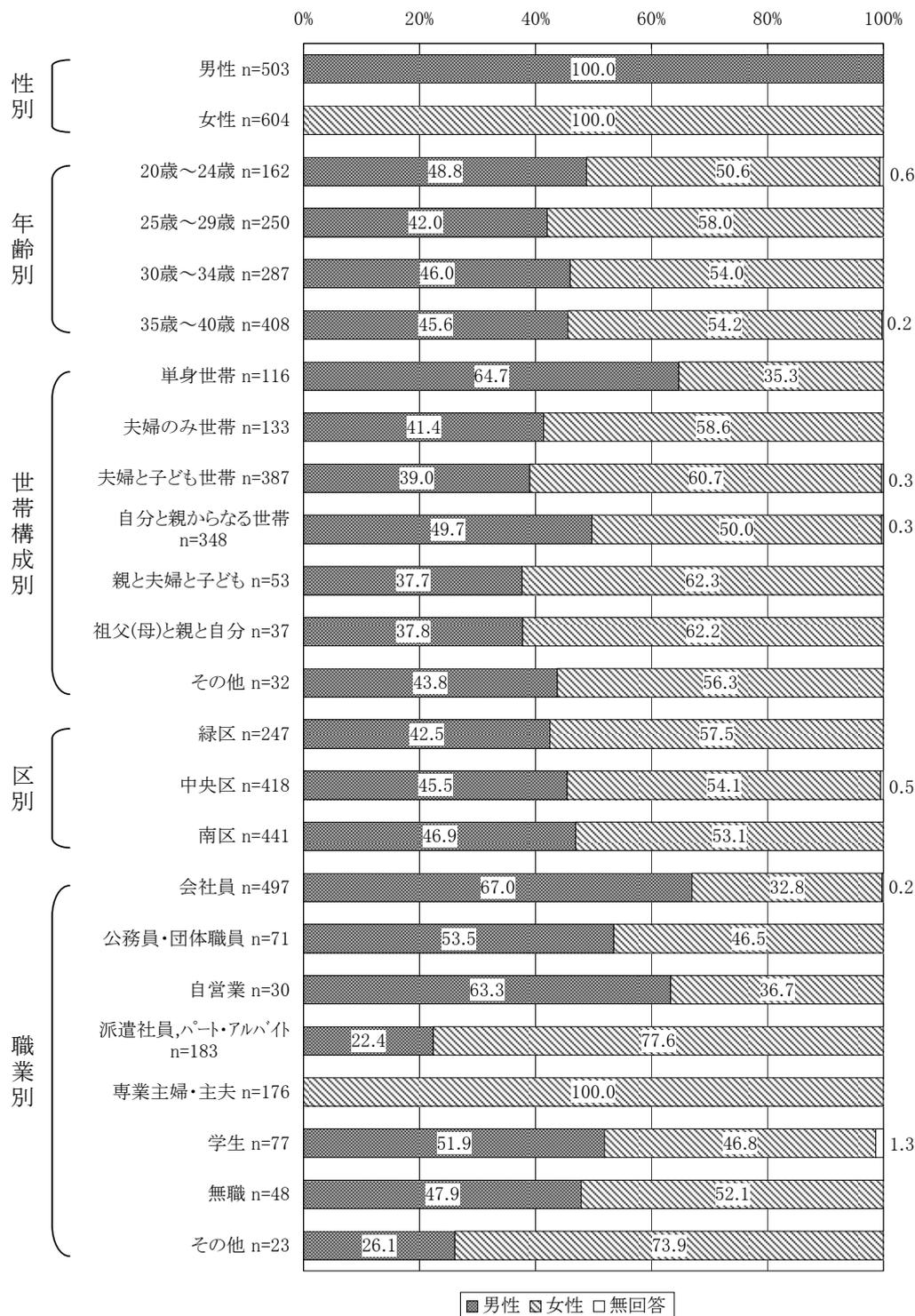
(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

性別について聞いた結果、「男性」(45.4%)、「女性」(54.5%)となっています。



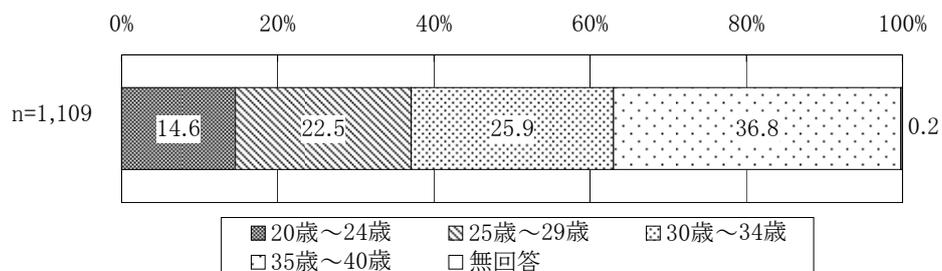
○クロス集計



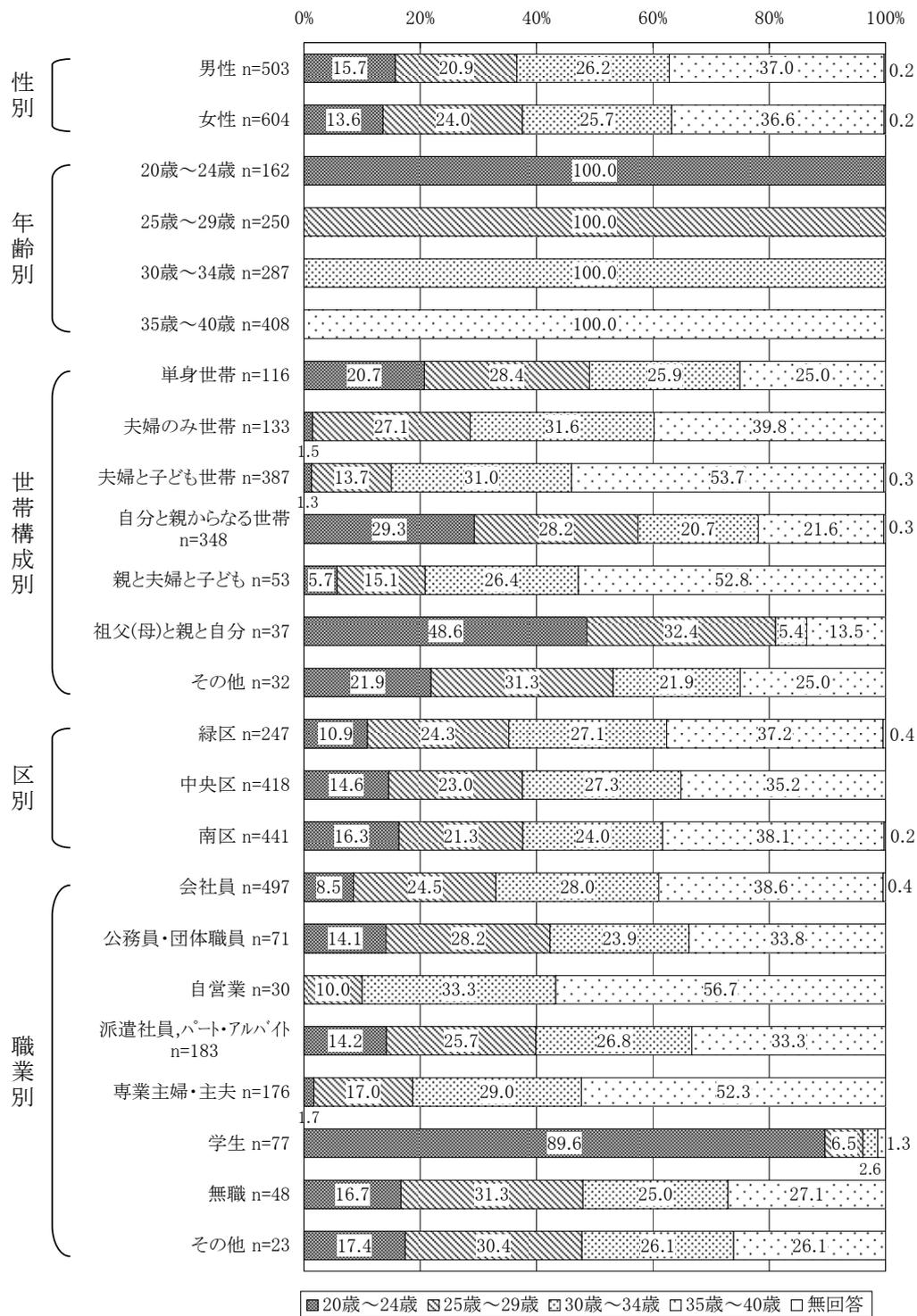
(2) 年齢

問2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

年齢について聞いた結果、「20歳～24歳」(14.6%)、「25歳～29歳」(22.5%)、「30歳～34歳」(25.9%)、「35歳～40歳」(36.8%)となっています。



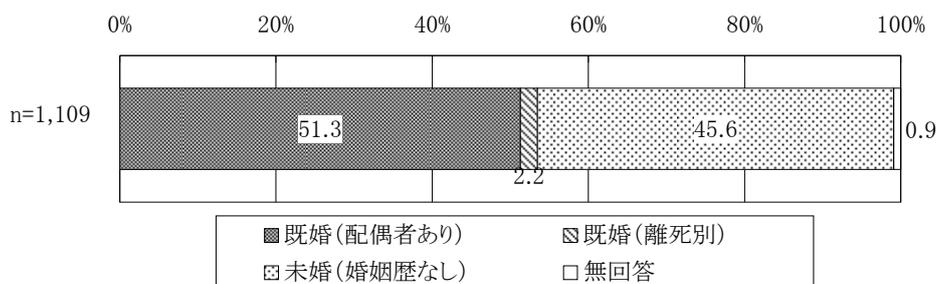
○クロス集計



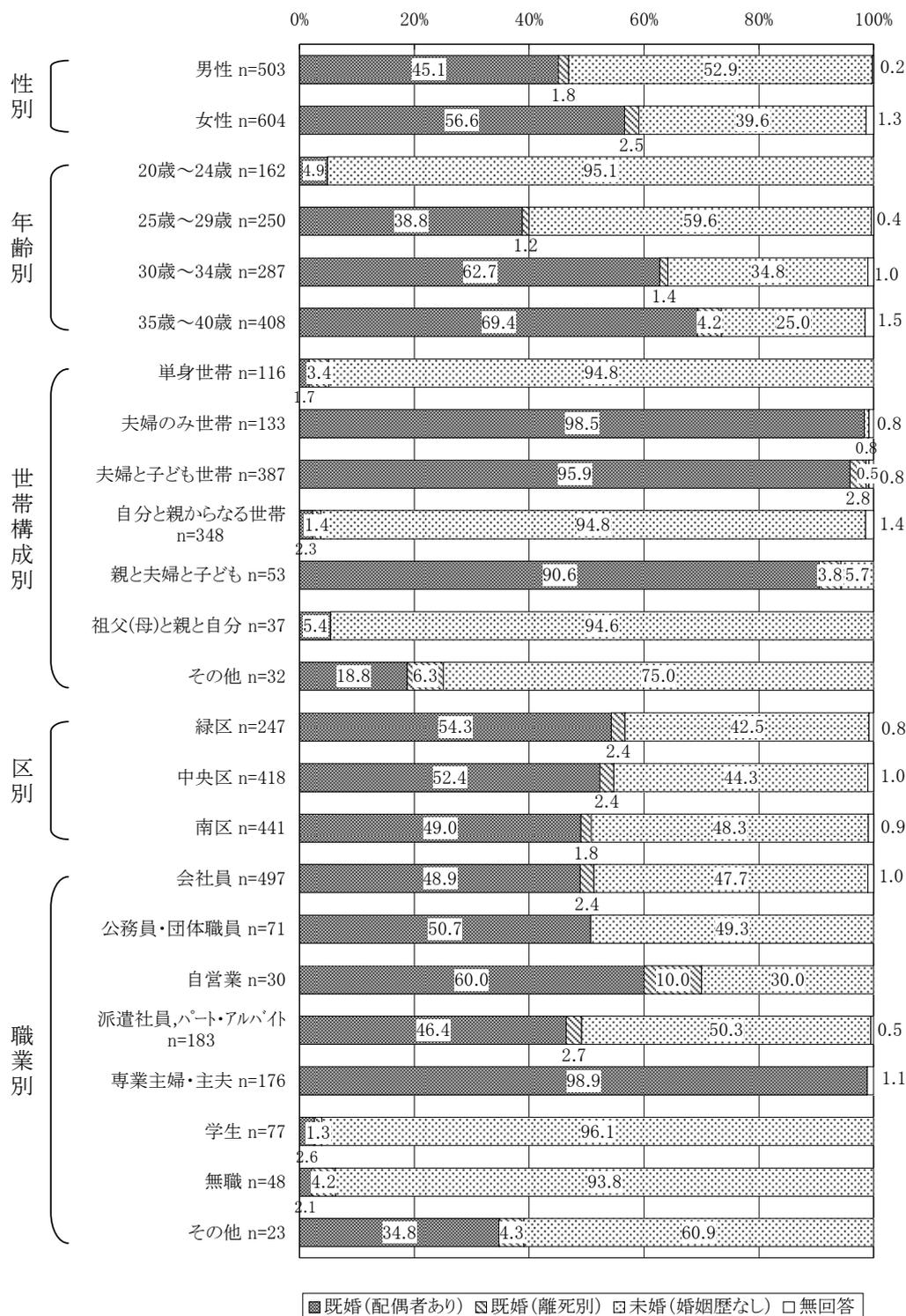
(3) 婚姻状況

問3 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

婚姻状況について聞いた結果、「既婚(配偶者あり)」(51.3%)、「既婚(離死別)」(2.2%)、「未婚(婚姻歴なし)」(45.6%)となっています。



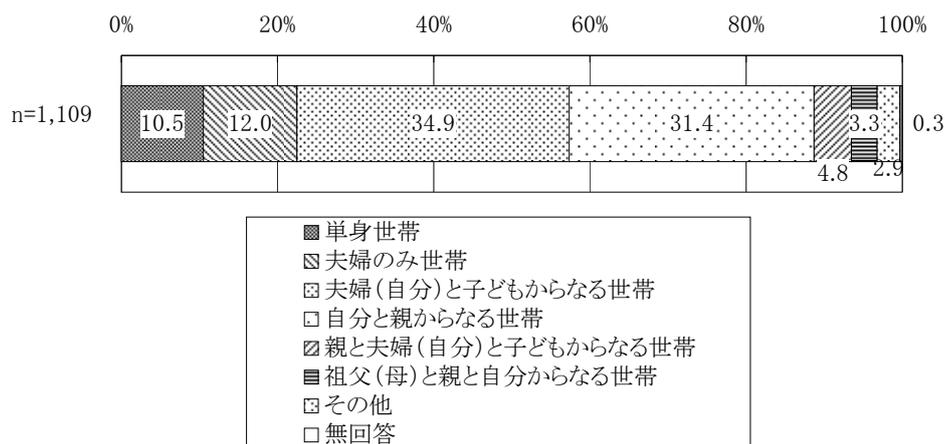
○クロス集計



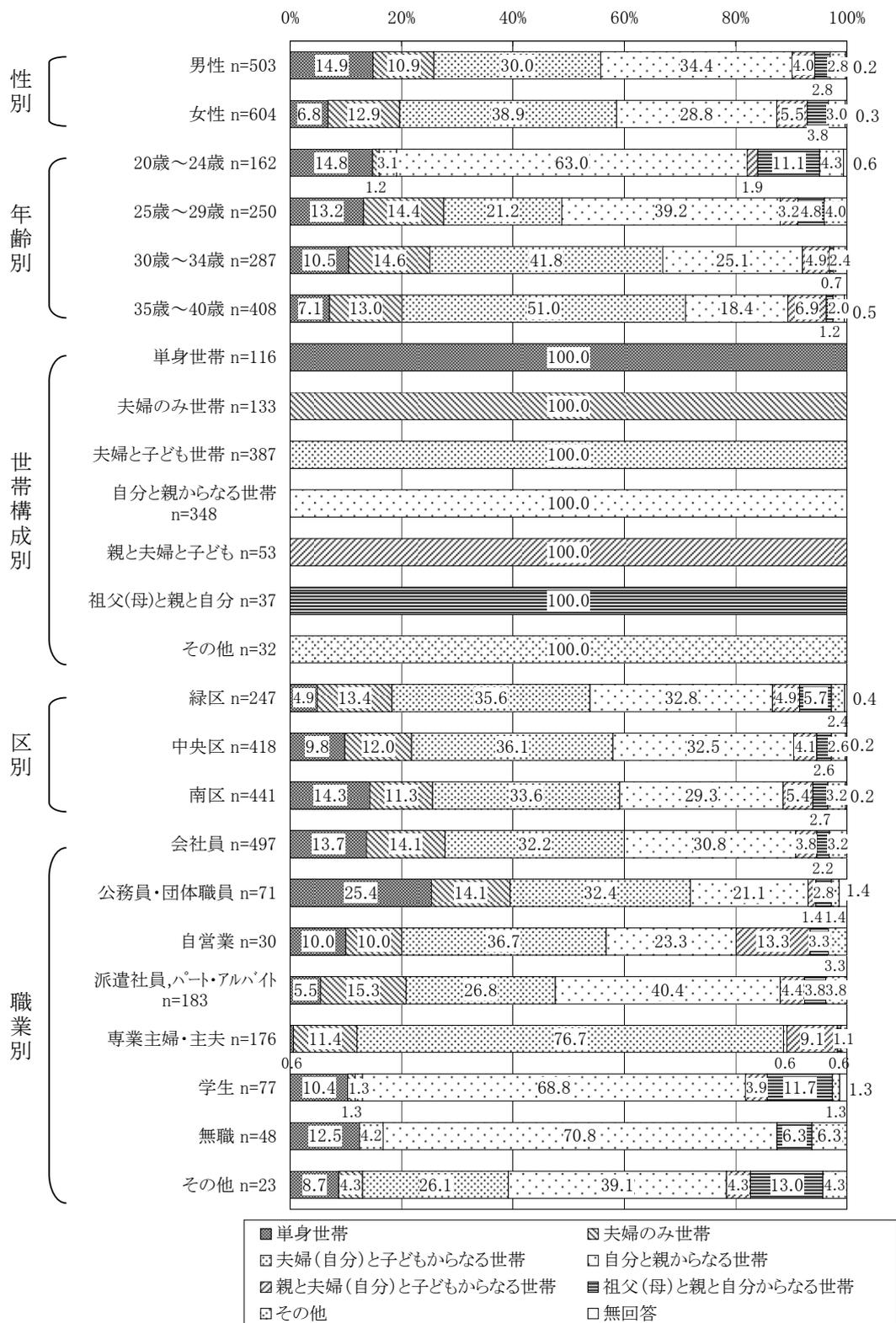
(4) 世帯構成

問4 あなたの世帯は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

世帯構成について聞いた結果、「単身世帯」(10.5%)、「夫婦のみ世帯」(12.0%)、「夫婦(自分)と子どもからなる世帯」(34.9%)、「自分と親からなる世帯」(31.4%)、「親と夫婦(自分)と子どもからなる世帯」(4.8%)、「祖父(母)と親と自分からなる世帯」(3.3%)となっています。



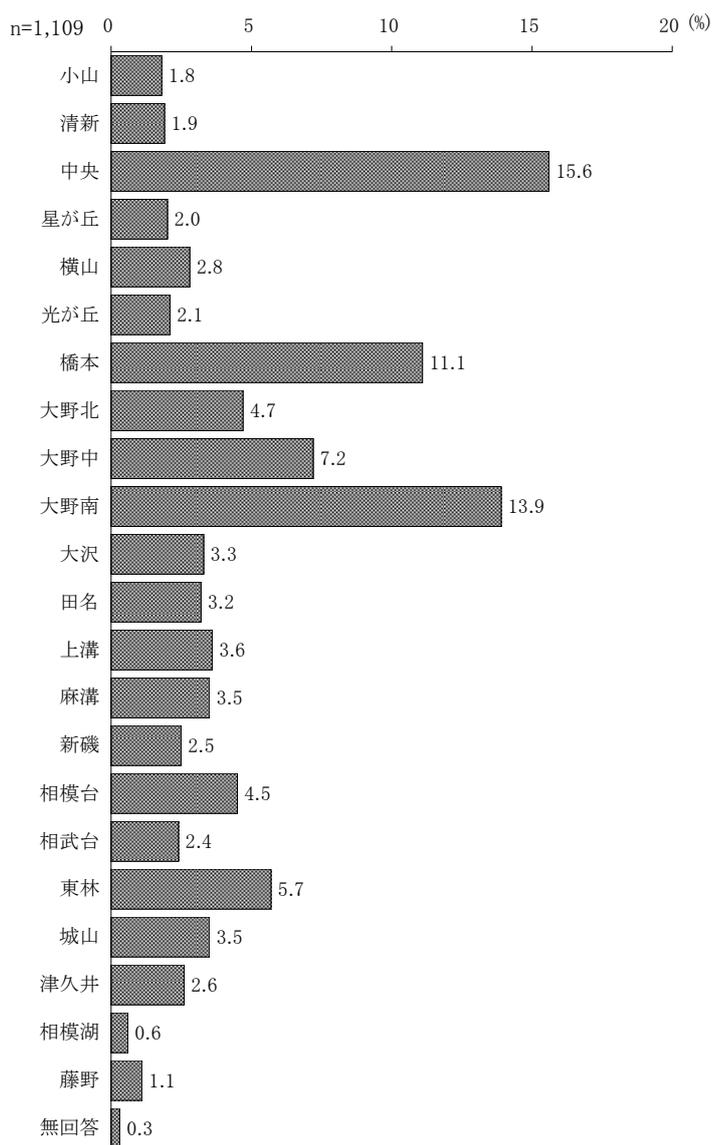
○クロス集計



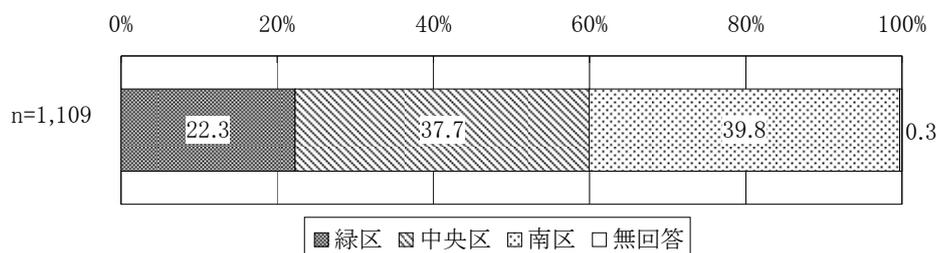
(5) 居住地区

問5 あなたが現在住んでいる地区はどこですか。(○は1つ)

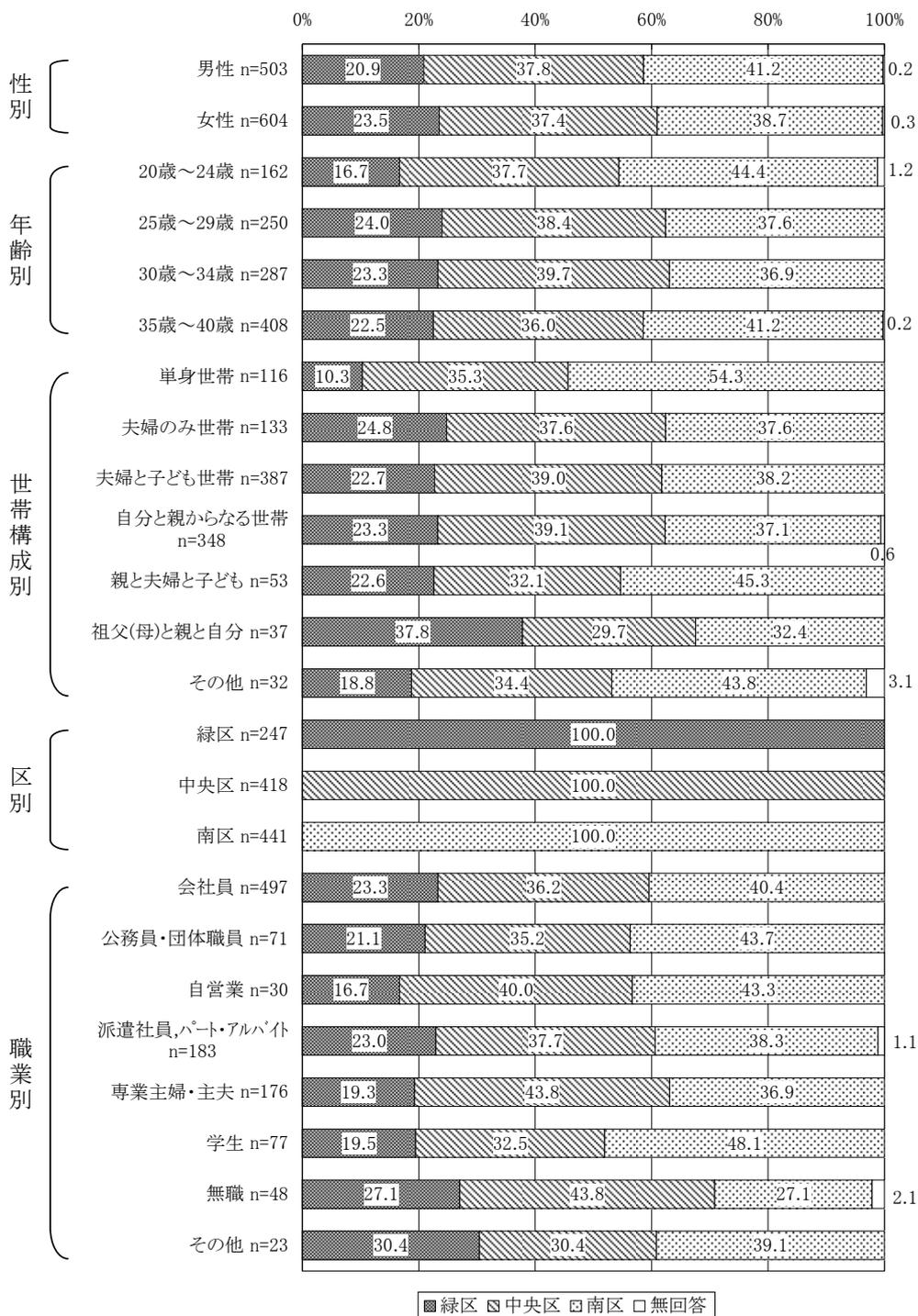
居住地区について聞いた結果、「小山」(1.8%)、「清新」(1.9%)、「中央」(15.6%)、「星が丘」(2.0%)、「横山」(2.8%)、「光が丘」(2.1%)、「橋本」(11.1%)、「大野北」(4.7%)、「大野中」(7.2%)、「大野南」(13.9%)、「大沢」(3.3%)、「田名」(3.2%)、「上溝」(3.6%)、「麻溝」(3.5%)、「新磯」(2.5%)、「相模台」(4.5%)、「相武台」(2.4%)、「東林」(5.7%)、「城山」(3.5%)、「津久井」(2.6%)、「相模湖」(0.6%)、「藤野」(1.1%) となっています。



【アンケート分析用】



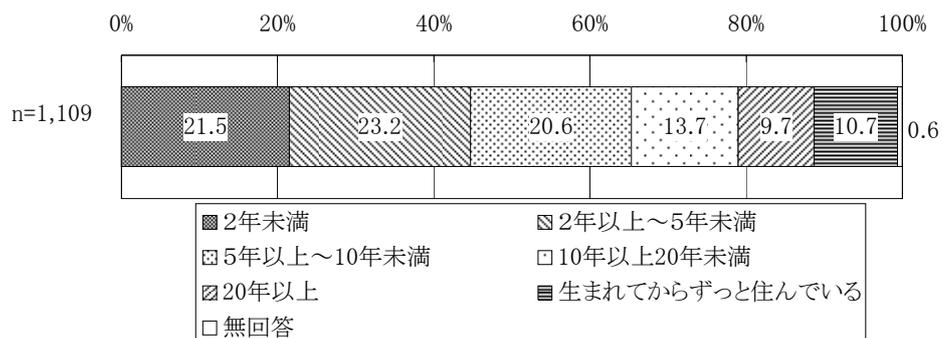
○クロス集計



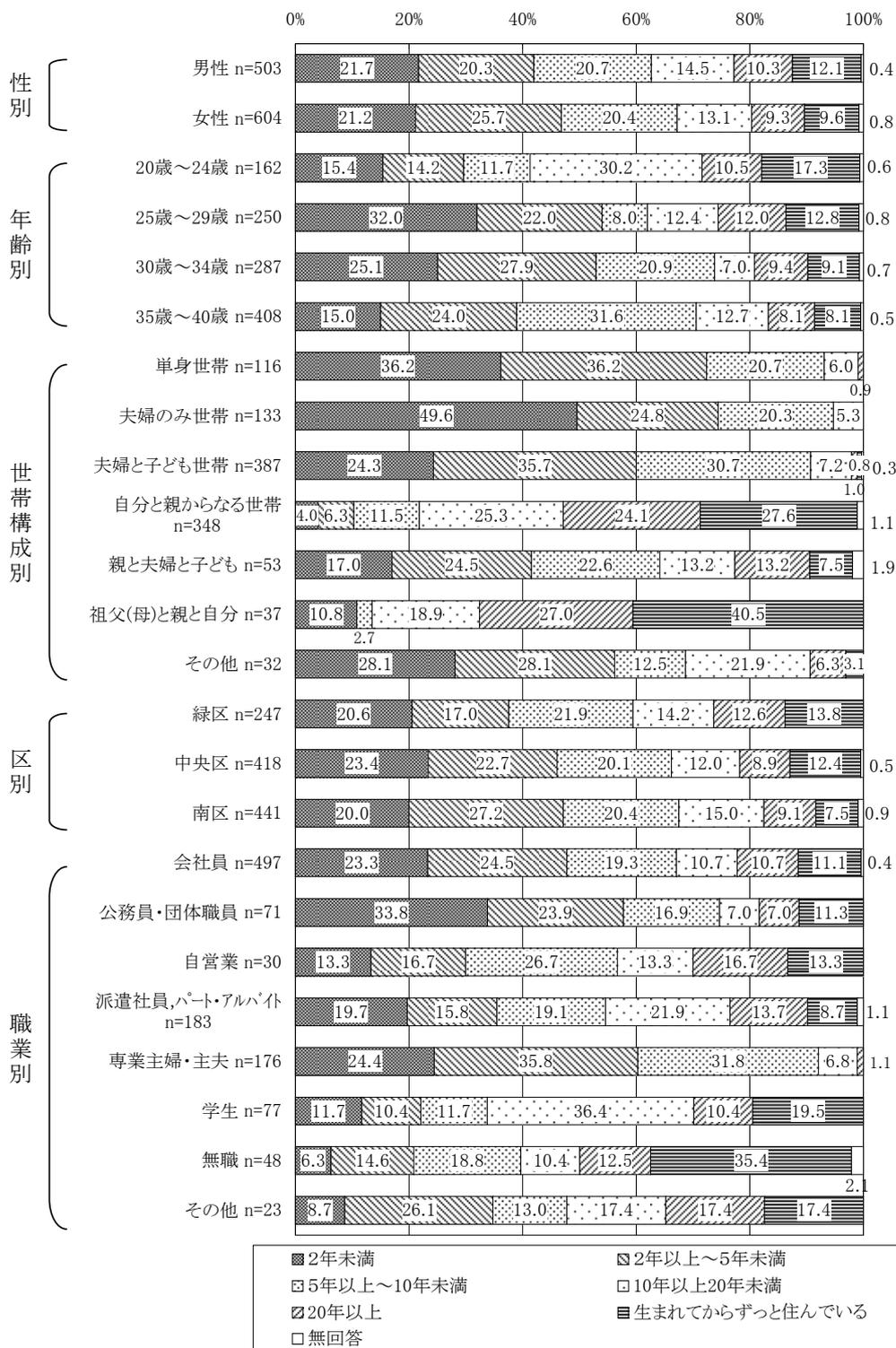
(6) 居住年数

問6 あなたは現在のお住まい（現住所）に住んで何年になりますか。（○は1つ）

居住年数について聞いた結果、「2年未満」（21.5%）、「2年以上～5年未満」（23.2%）、「5年以上～10年未満」（20.6%）、「10年以上20年未満」（13.7%）、「20年以上」（9.7%）、「生まれてからずっと住んでいる」（10.7%）となっています。



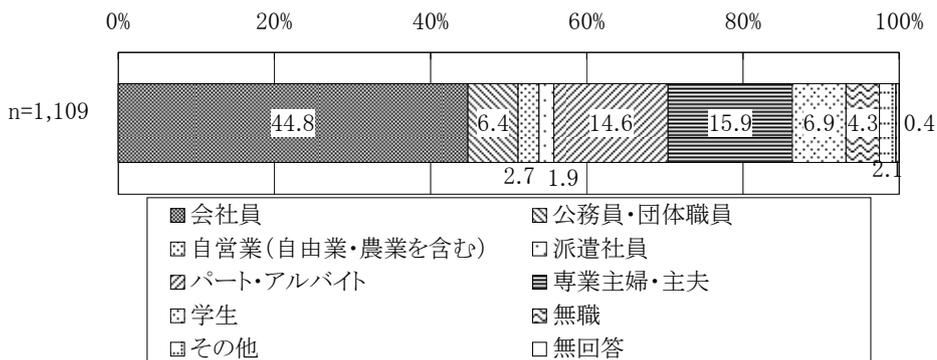
○クロス集計



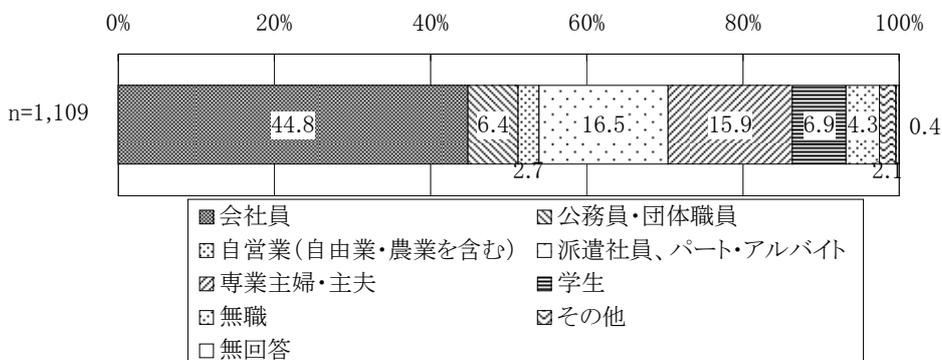
(7) 職業

問7 あなたの職業等は、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

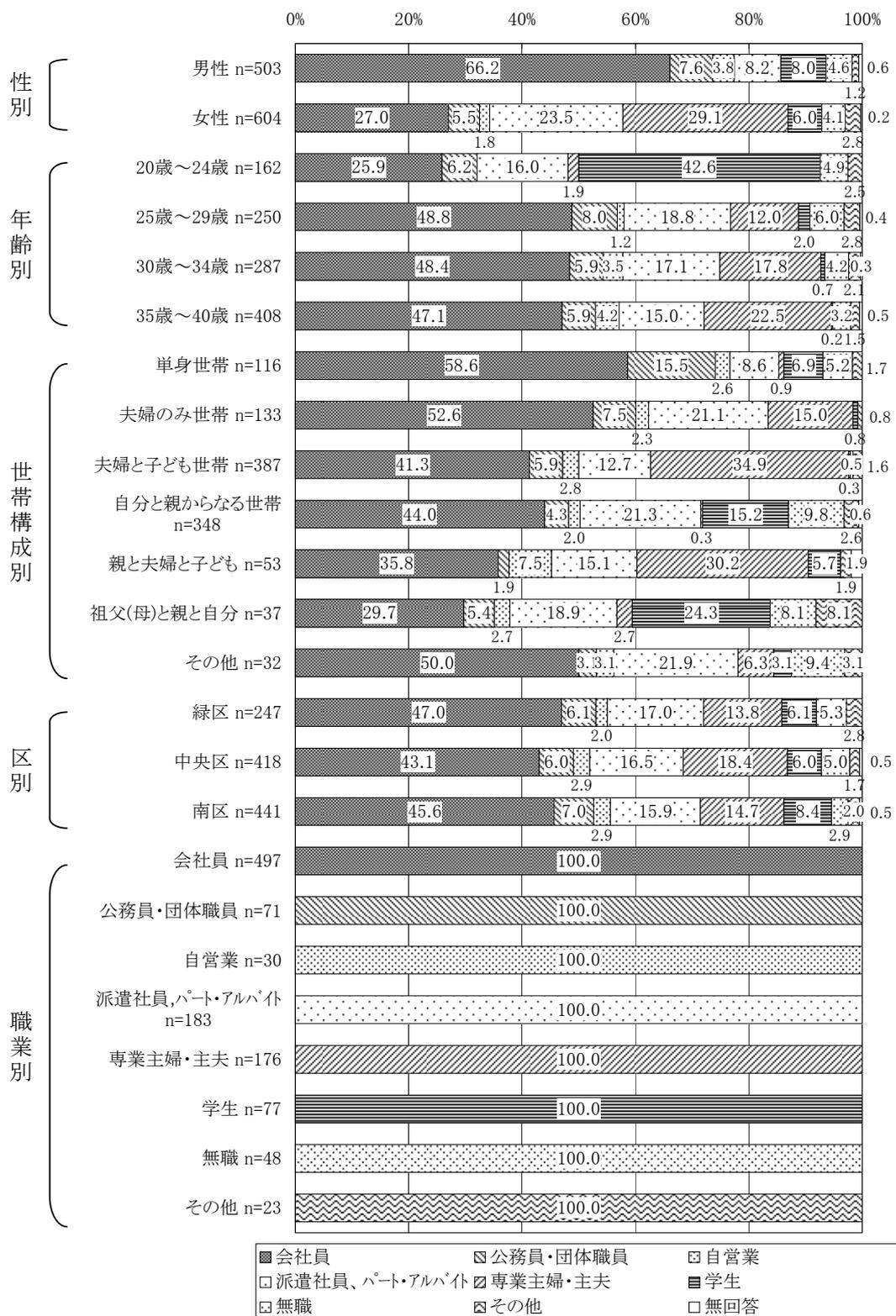
職業について聞いた結果、「会社員」(44.8%)、「公務員・団体職員」(6.4%)、「自営業(自由業・農業を含む)」(2.7%)、「派遣社員」(1.9%)、「パート・アルバイト」(14.6%)、「専業主婦・主夫」(15.9%)、「学生」(6.9%)、「無職」(4.3%)となっています。



【アンケート分析用】



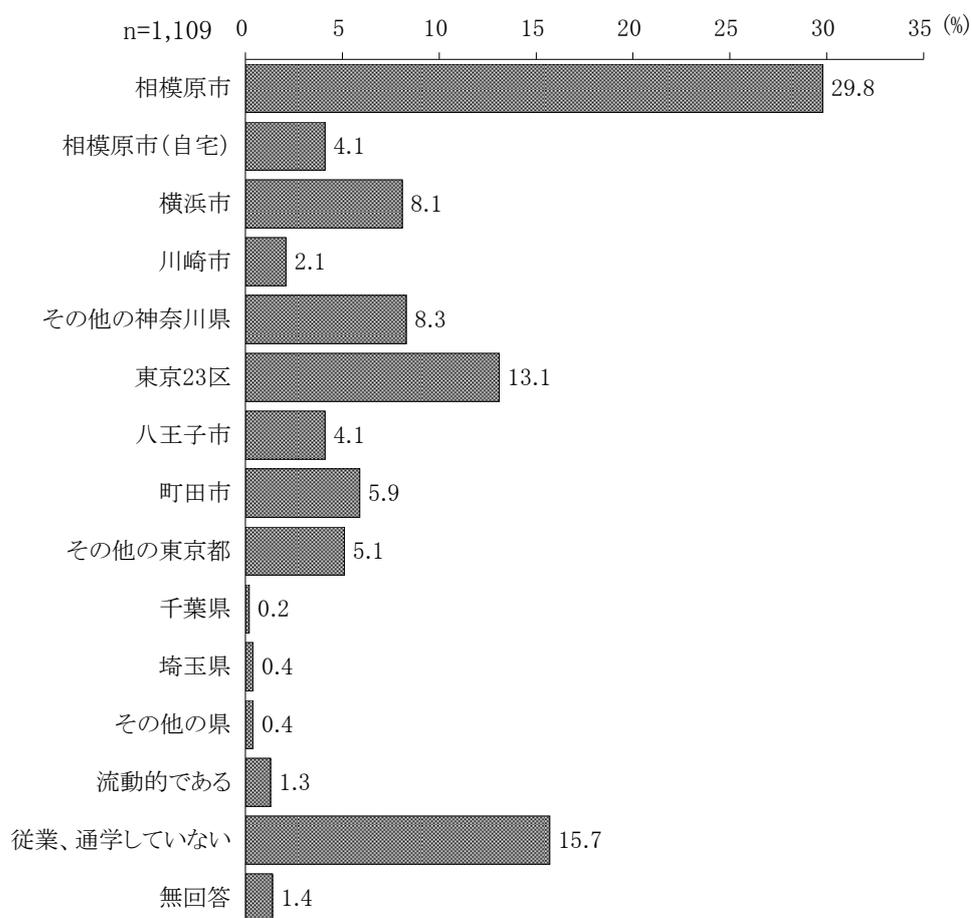
○クロス集計



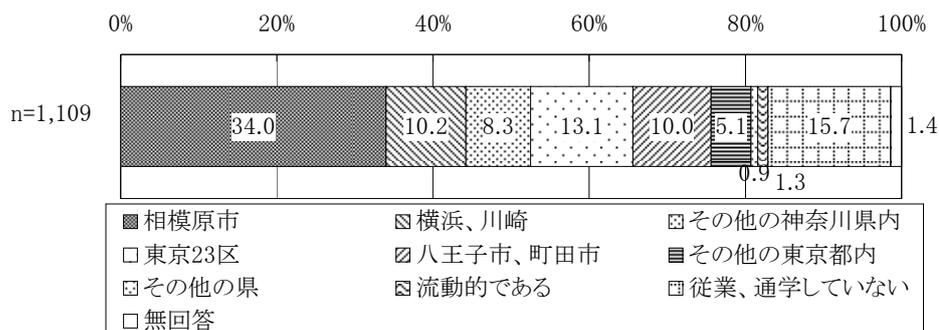
(8) 従業地

問8 あなたの従業地（通学地）は次のうちどれですか。（○は1つ）

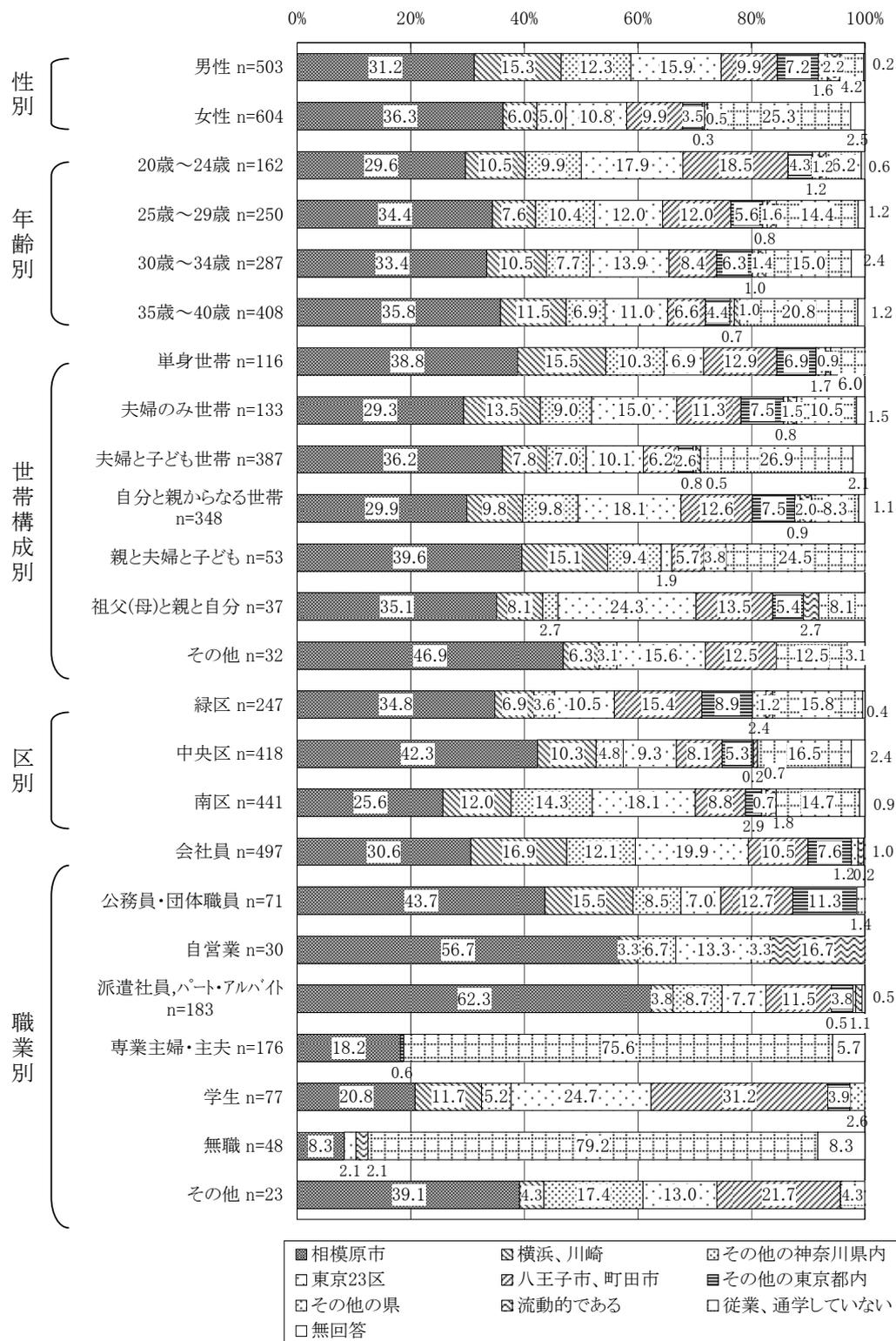
従業地について聞いた結果、「相模原市」(29.8%)、「相模原市（自宅）」(4.1%)、「横浜市」(8.1%)、「川崎市」(2.1%)、「その他の神奈川県」(8.3%)、「東京23区」(13.1%)、「八王子市」(4.1%)、「町田市」(5.9%)、「その他の東京都」(5.1%)、「千葉県」(0.2%)、「埼玉県」(0.4%)、「その他の県」(0.4%)、「流動的である」(1.3%)、「従業、通学していない」(15.7%)となっています。



【アンケート分析用】



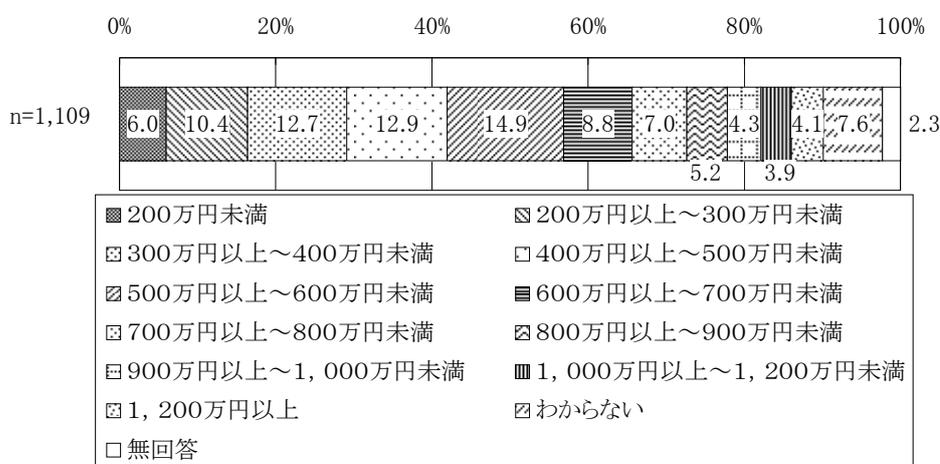
○クロス集計



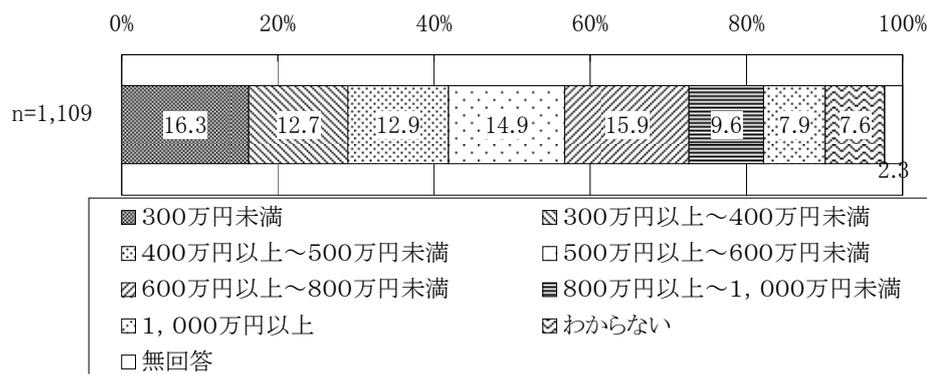
(9) 世帯収入

問9 生計をともにする世帯全体の昨年1年間の収入(税込)は、およそどれくらいでしたか。(〇は1つ)

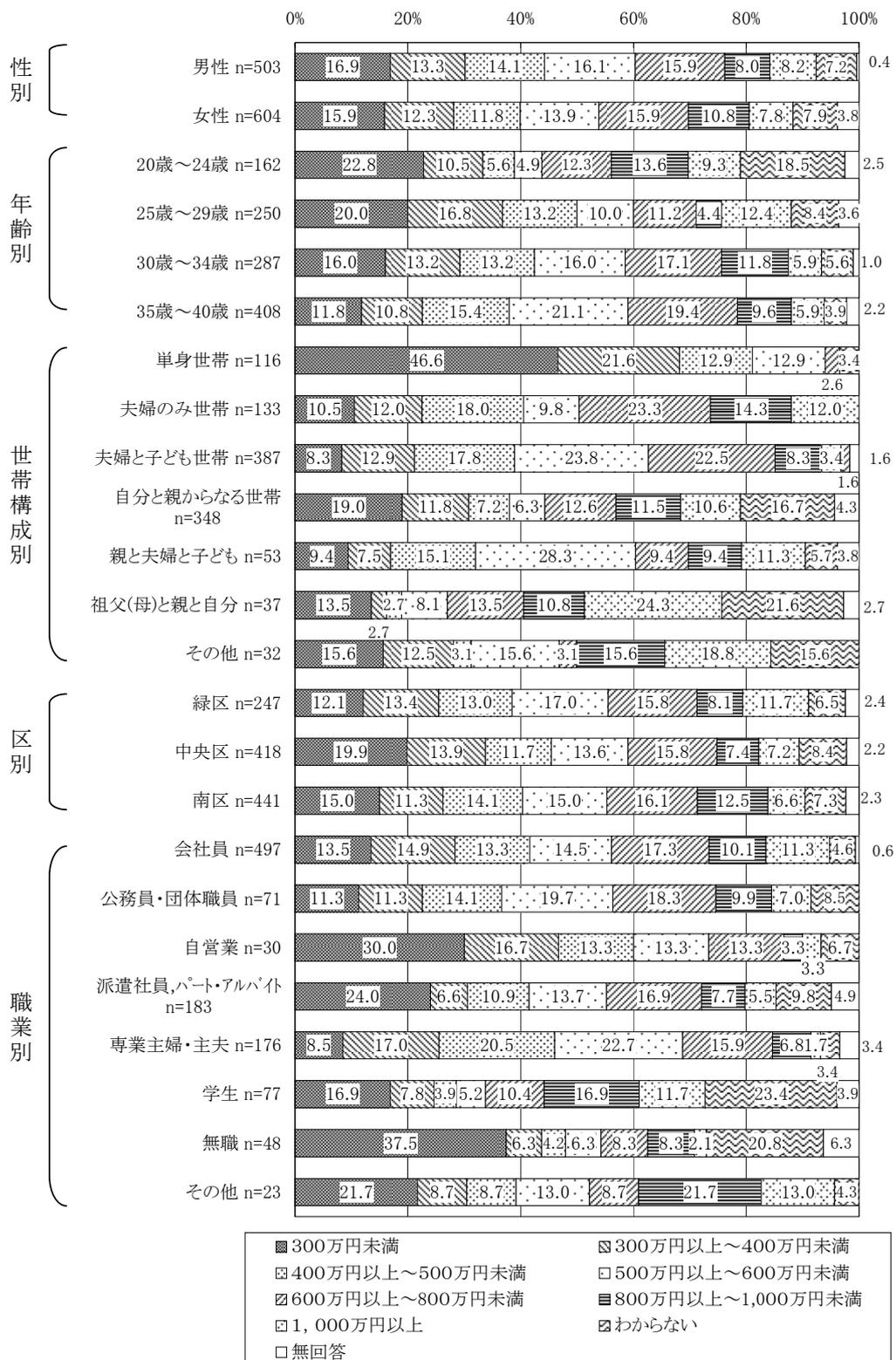
世帯全体の昨年1年間の収入について聞いた結果、「200万円未満」(6.0%)、「200万円以上～300万円未満」(10.4%)、「300万円以上～400万円未満」(12.7%)、「400万円以上～500万円未満」(12.9%)、「500万円以上～600万円未満」(14.9%)、「600万円以上～700万円未満」(8.8%)、「700万円以上～800万円未満」(7.0%)、「800万円以上～900万円未満」(5.2%)、「900万円以上～1,000万円未満」(4.3%)、「1,000万円以上～1,200万円未満」(3.9%)、「1,200万円以上」(4.1%)となっています。



【アンケート分析用】



○クロス集計

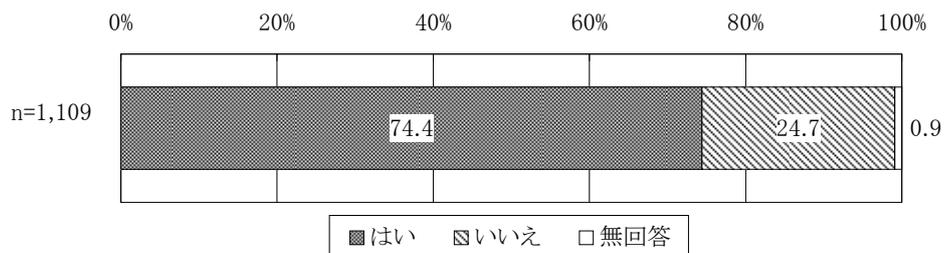


2. 就職の状況について

(1) 就職活動の有無

問10 あなたは就職活動をしましたか（していますか）。（○は1つ）

就職活動の有無について聞いた結果、「はい」（74.4%）、「いいえ」（24.7%）となっています。



○クロス集計

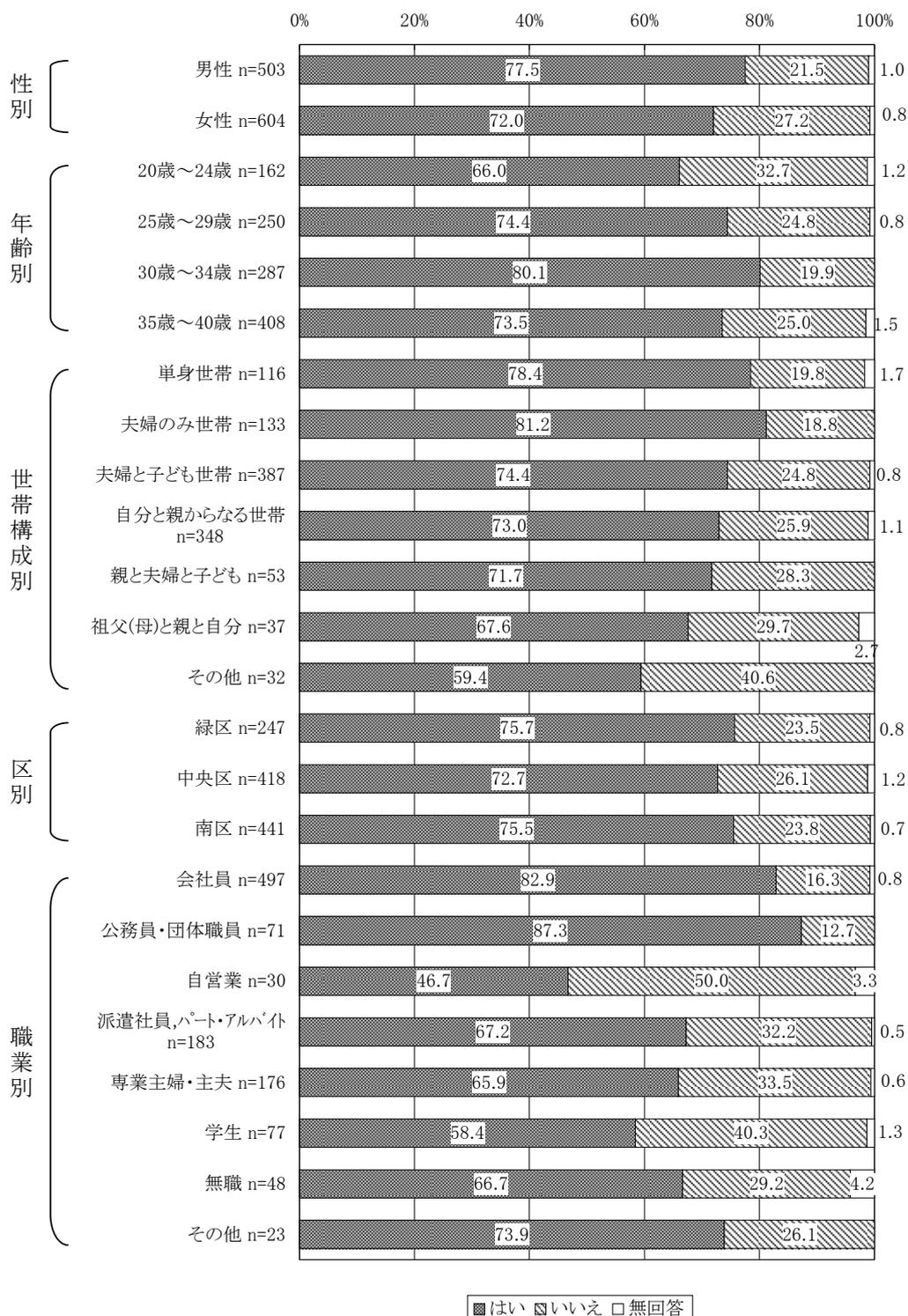
区別では、各項目に大きな差異はみられません。

性別でみると、「はい」との回答で、「男性」(77.5%)が「女性」(72.0%)を上回っています。

年齢別でみると、「はい」との回答で、最も比率が高かったのは、「30歳～34歳」(80.1%)、次いで「25歳～29歳」(74.4%)、「35歳～40歳」(73.5%)となっています。

世帯構成別でみると、「はい」との回答で、最も比率が高かったのは、「夫婦のみ世帯」(81.2%)、次いで「単身世帯」(78.4%)、「夫婦と子ども世帯」(74.4%)となっています。

職業別でみると、「はい」との回答で、最も比率が高かったのは、「公務員・団体職員」(87.3%)、次いで「会社員」(82.9%)となっています。

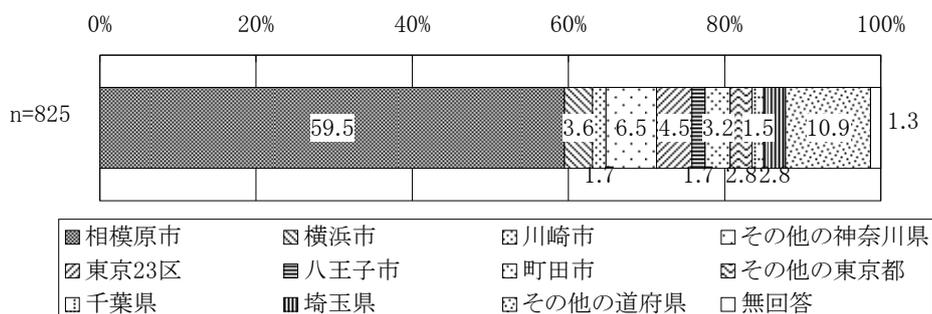


(2) 就職活動をしていた時住んでいた場所

(問11～問23までは問10で「1. はい」に○を付けた方だけの限定質問)

問11 あなたは就職活動をしていた(している)時、どこに住んでいましたか。(○は1つ)

就職活動をしていた時住んでいた場所について聞いた結果、「相模原市」(59.5%)、「横浜市」(3.6%)、「川崎市」(1.7%)、「その他の神奈川県」(6.5%)、「東京23区」(4.5%)、「八王子市」(3.2%)、「町田市」(1.5%)、「その他の東京都」(2.8%)、「千葉県」(1.7%)、「埼玉県」(2.8%)、「その他の道府県」(10.9%)となっています。



○クロス集計

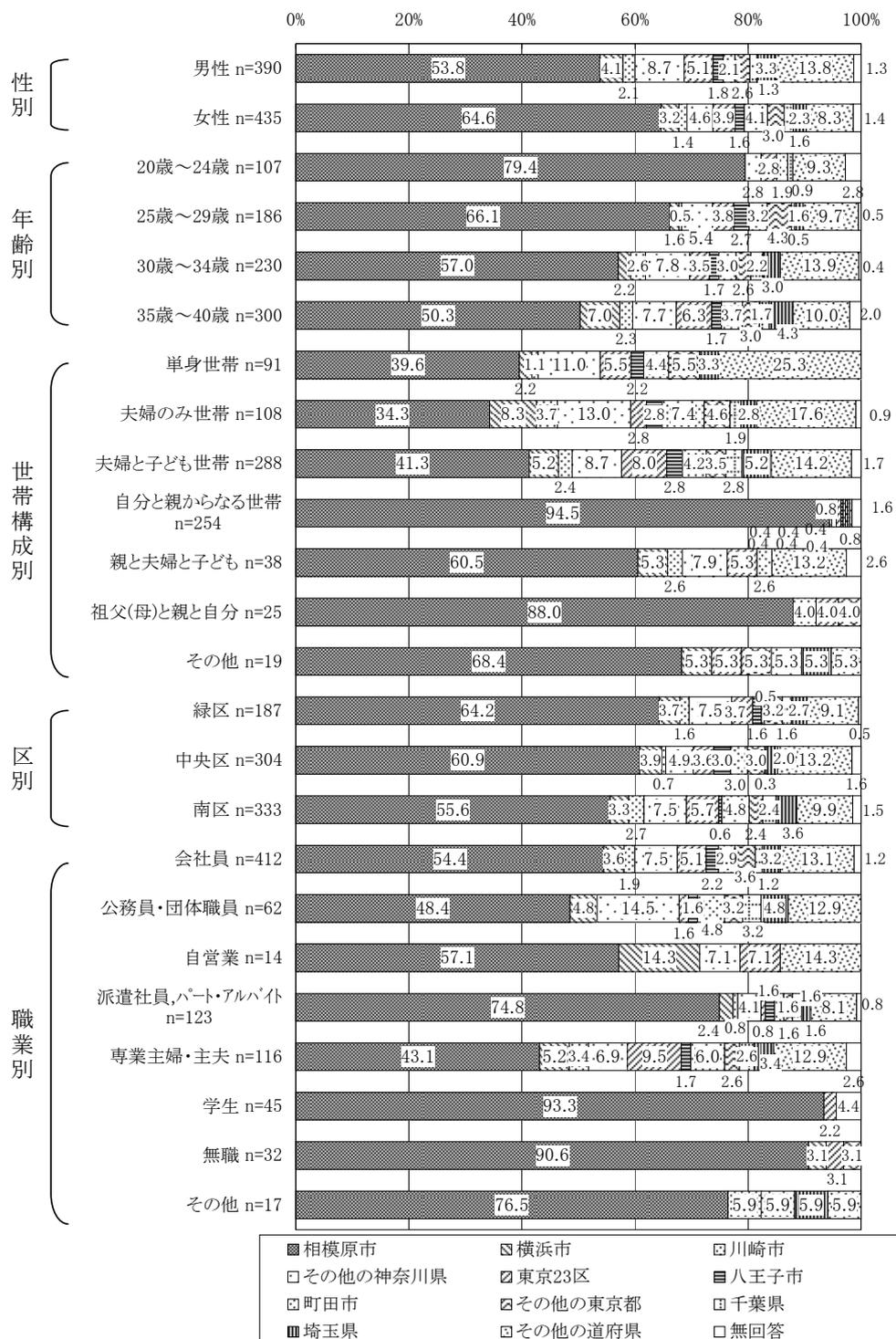
性別でみると、「相模原市」で、「女性」(64.6%)が「男性」(53.8%)を上回っています。

年齢別でみると、「相模原市」で、最も比率が高かったのは、「20歳～24歳」(79.4%)、次いで「25歳～29歳」(66.1%)、「30歳～34歳」(57.0%)となっています。

世帯構成別でみると、「相模原市」で、最も比率が高かったのは、「自分と親からなる世帯」(94.5%)、次いで「祖父(母)と親と自分」(88.0%)となっています。

区別でみると、「相模原市」で、最も比率が高かったのは、「緑区」(64.2%)、次いで「中央区」(60.9%)、「南区」(55.6%)となっています。

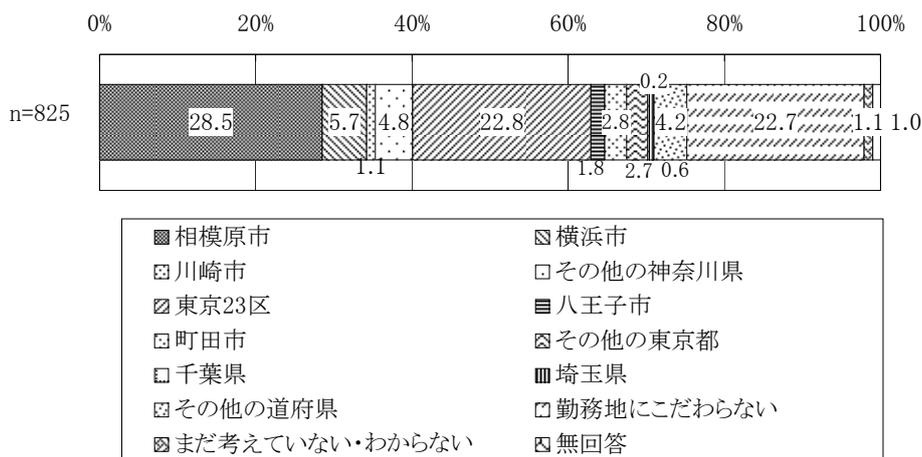
職業別でみると、「相模原市」で、最も比率が高かったのは、「学生」(93.3%)、次いで「無職」(90.6%)、「派遣社員、パート・アルバイト」(74.8%)となっています。



(3) 希望の勤務地

問12 あなたが最も希望した(する)勤務地は次のうちどれですか。(〇は1つ)

希望の勤務地について聞いた結果、「相模原市」(28.5%)、「横浜市」(5.7%)、「川崎市」(1.1%)、「その他の神奈川県」(4.8%)、「東京23区」(22.8%)、「八王子市」(1.8%)、「町田市」(2.8%)、「その他の東京都」(2.7%)、「千葉県」(0.2%)、「埼玉県」(0.6%)、「その他の道府県」(4.2%)、「勤務地にこだわらない」(22.7%)、「まだ考えていない・わからない」(1.1%)となっています。



○クロス集計

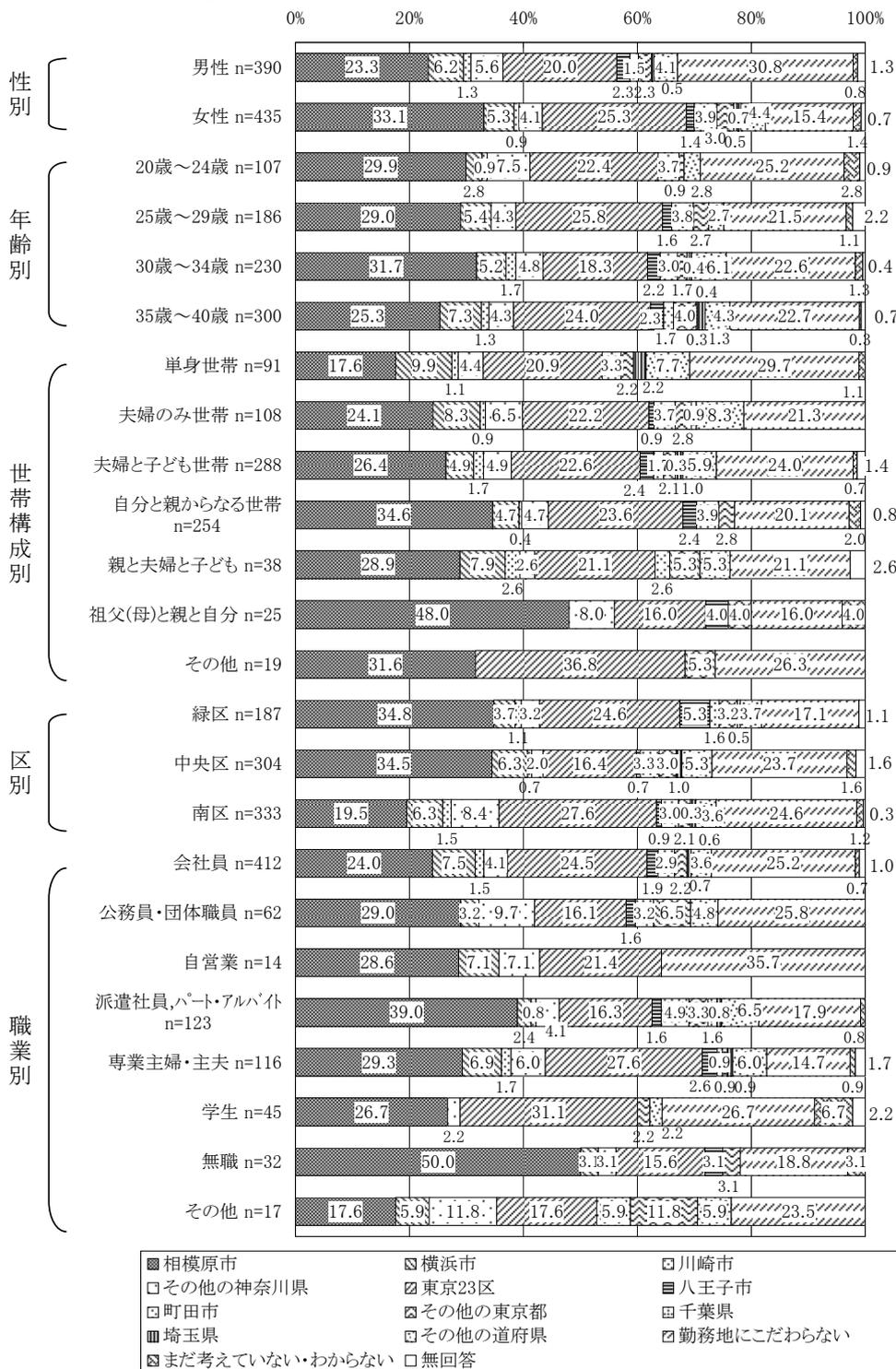
性別でみると、「男性」の場合、「勤務地にこだわらない」(30.8%)の比率が高く、「女性」(15.4%)のほぼ倍となっています。

年齢別でみると、「相模原市」で、最も比率が高かったのは「30歳～34歳」(31.7%)でした。

世帯構成別でみると、単身世帯の場合、「勤務地にこだわらない」(29.7%)の比率が高くなっています。また、単身以外の世帯では「相模原市」の比率が高くなっています。

区別でみると、「相模原市」の比率は、「緑区」と「中央区」で3割台となっています。

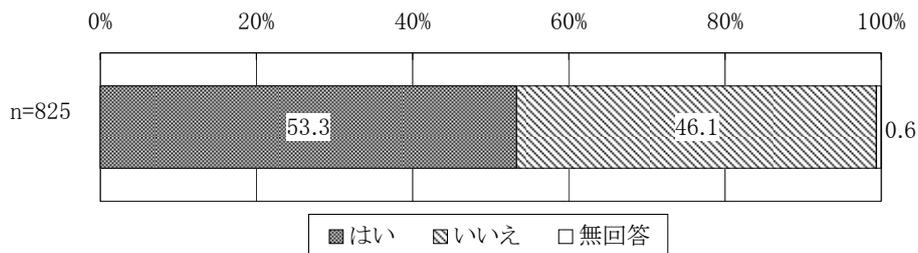
職業別でみると、「相模原市」の比率は、「無職」(50.0%)、「派遣社員、パート・アルバイト」(39.0%)、「専業主婦・主夫」(29.3%)で高くなっています。



(4) 希望勤務地の候補に相模原市は含まれているか

問13 あなたが希望する勤務地の候補の中に相模原市は含まれていましたか（いますか）。
 (〇は1つ)

希望勤務地の候補に相模原市は含まれているかについて聞いた結果、「はい」(53.3%)、「いいえ」(46.1%) となっています。



○クロス集計

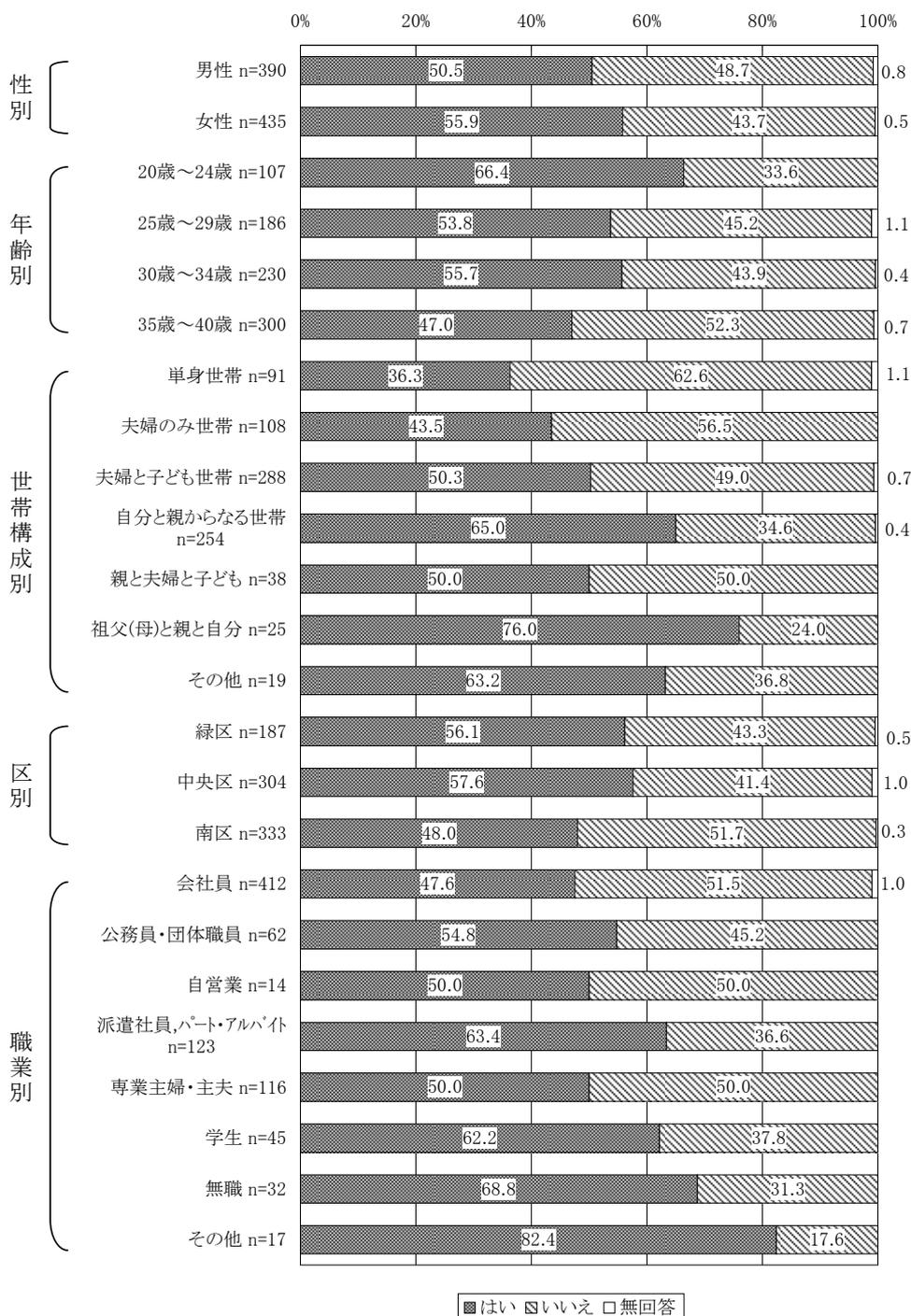
性別でみると、「はい」で、「女性」(55.9%)が「男性」(50.5%)を上回っています。

年齢別でみると、「はい」で、最も比率が高かったのは、「20歳～24歳」(66.4%)、次いで「30歳～34歳」(55.7%)、「25歳～29歳」(53.8%)となっています。

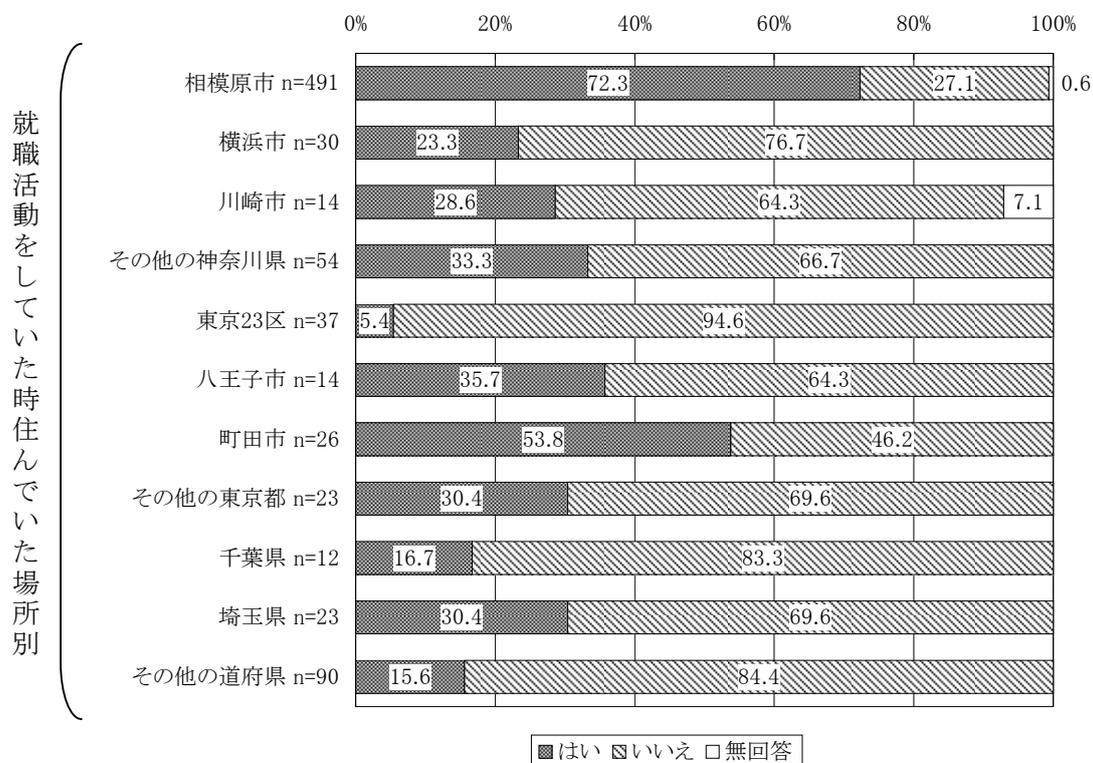
世帯構成別でみると、「はい」で、最も比率が高かったのは、「祖父(母)と親と自分」(76.0%)、次いで「自分と親からなる世帯」(65.0%)、「夫婦と子ども世帯」(50.3%)となっています。

区別でみると、「はい」で、最も比率が高かったのは、「中央区」(57.6%)、次いで「緑区」(56.1%)、「南区」(48.0%)となっています。

職業別でみると、「はい」で、最も比率が高かったのは、「無職」(68.8%)、次いで「派遣社員、パート・アルバイト」(63.4%)、「学生」(62.2%)となっています。



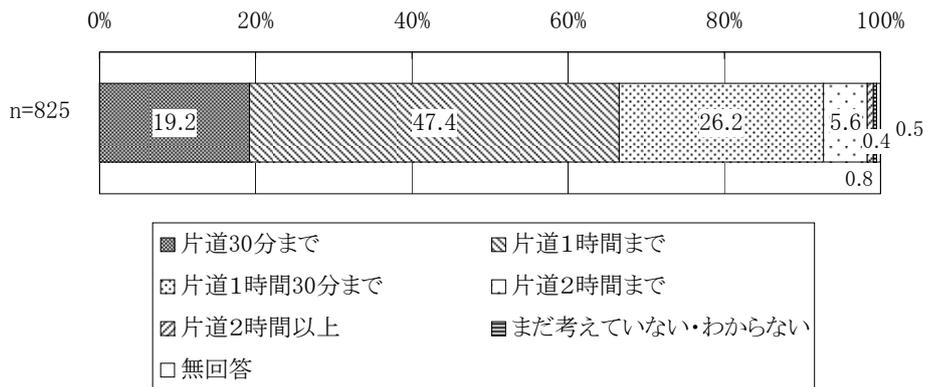
就職活動をしていた時住んでいた場所別でみると、「はい」で、最も比率が高かったのは、「相模原市」(72.3%)、次いで「町田市」(53.8%)、「八王子市」(35.7%)、「その他の神奈川県」(33.3%)となっています。



(5) 許容できる通勤時間

問14 あなたが通勤時間として許容できる時間はどの程度ですか。(○は1つ)

許容できる通勤時間について聞いた結果、「片道30分まで」(19.2%)、「片道1時間まで」(47.4%)、「片道1時間30分まで」(26.2%)、「片道2時間まで」(5.6%)、「片道2時間以上」(0.8%)、「まだ考えていない・わからない」(0.4%)となっています。



○クロス集計

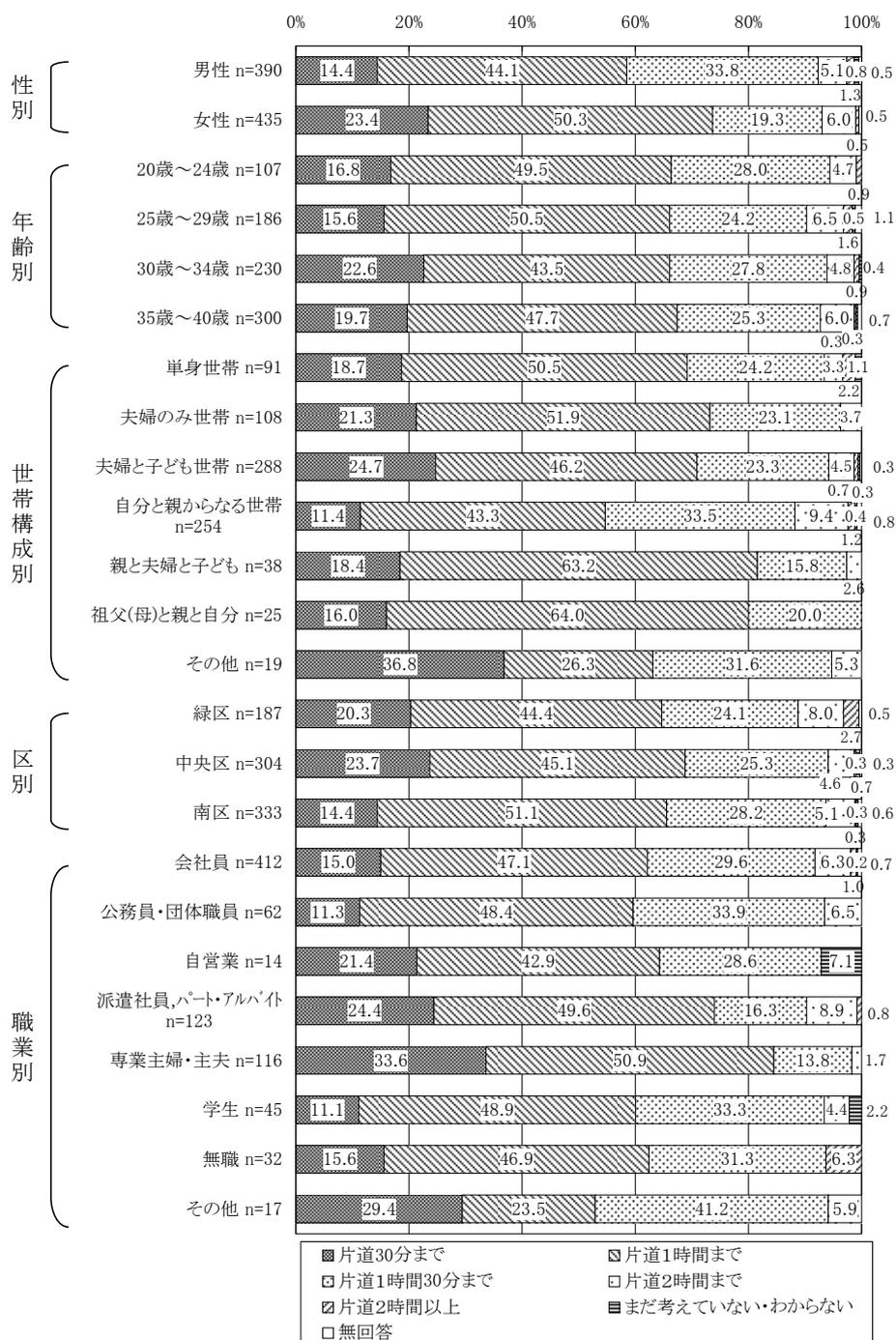
性別でみると、片道1時間以内（「片道30分前まで」＋「片道1時間まで」の合計）の割合では、「女性」（73.7%）が「男性」（58.5%）を上回っています。

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

世帯構成別でみると、片道1時間以内の割合では、「親と夫婦と子ども」（81.6%）、「祖父（母）と親と自分」（80.0%）で8割台となっており、3世代世帯で比較的高くなっています。

区別でみると、片道1時間以内の割合では、上位から「中央区」（68.8%）、「南区」（65.5%）、「緑区」（64.7%）の順となっています。

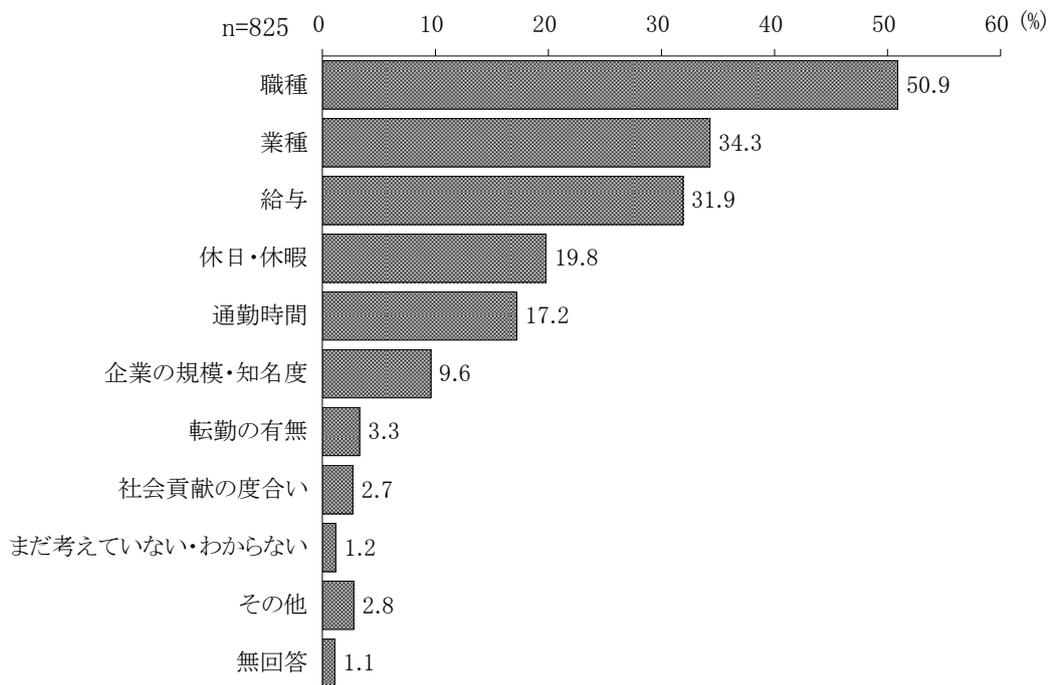
職業別でみると、片道1時間以内の割合では、上位から「専業主婦・主夫」（84.5%）、「派遣社員、パート・アルバイト」（74.0%）、「自営業」（64.3%）の順となっています。



(6) 就職先を決める際に重視したこと

問15 あなたが就職先を決める際に重視したこと（すること）は次のうちどれですか。（○は2つまで）

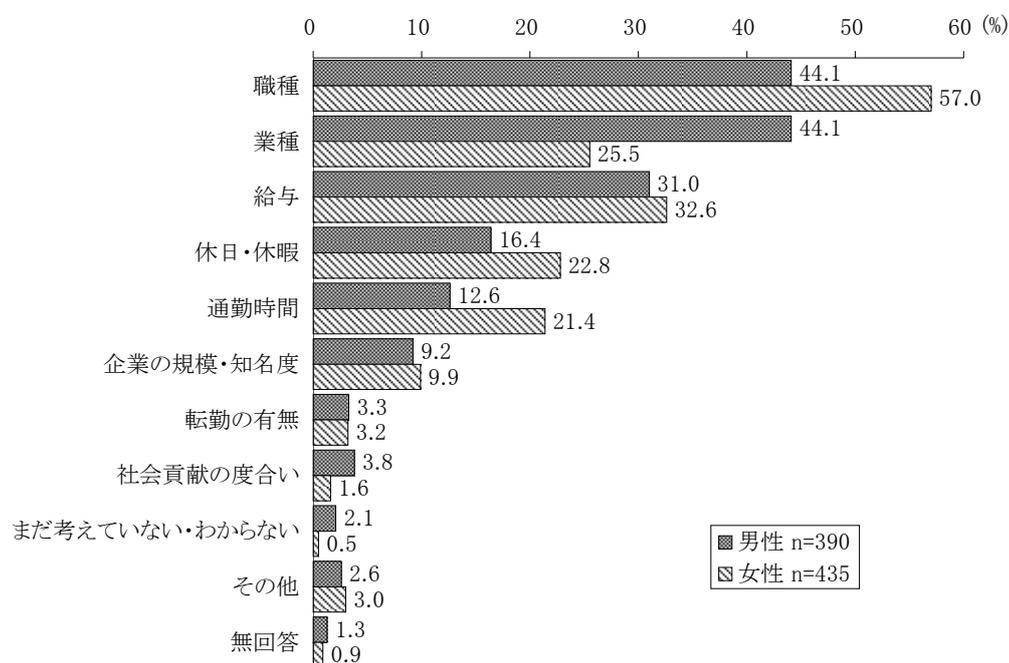
就職先を決める際に重視したことについて聞いた結果、「職種（事務職、営業職、販売職、経理職、専門職などの種別）」（50.9%）、「業種（建設業、製造業、サービス業、金融業、不動産業などの種別）」（34.3%）、「給与」（31.9%）、「休日・休暇」（19.8%）、「通勤時間」（17.2%）、「企業の規模・知名度」（9.6%）、「転勤の有無」（3.3%）、「社会貢献の度合い」（2.7%）、「まだ考えていない・わからない」（1.2%）となっています。



○クロス集計

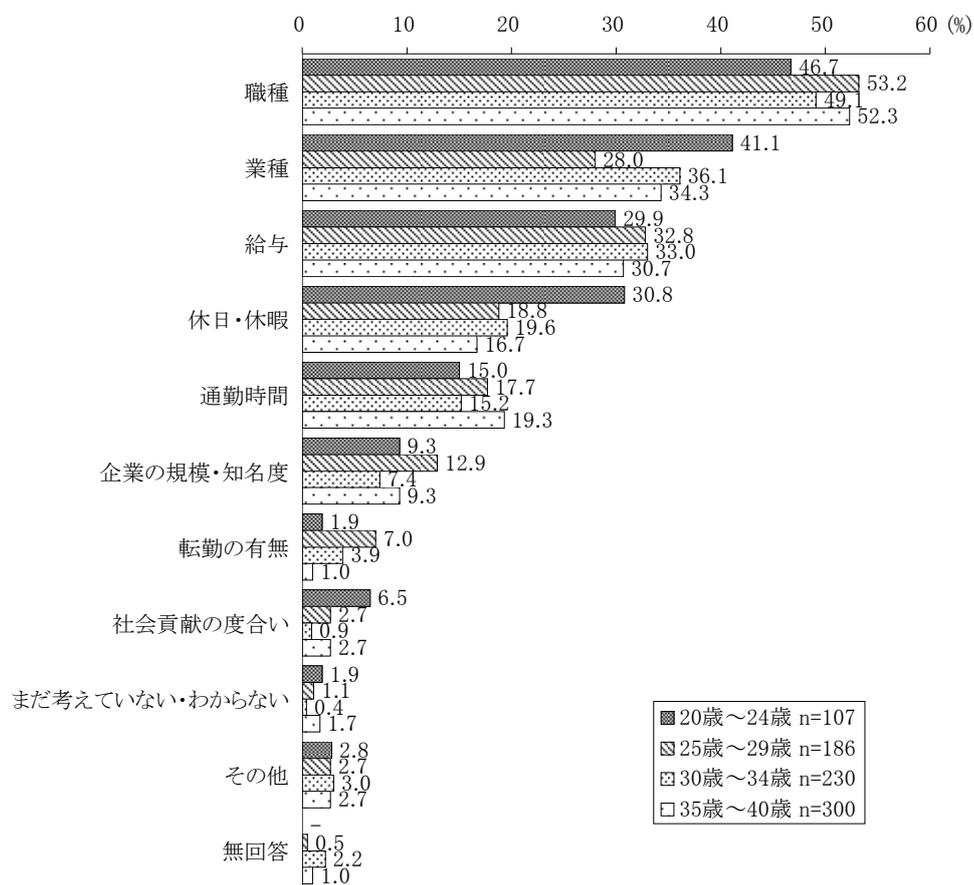
【性別】

性別でみると、ほぼすべての選択肢で、「女性」が「男性」を上回っていますが、「業種」については大幅に「男性」が「女性」を上回っています。



【年齢別】

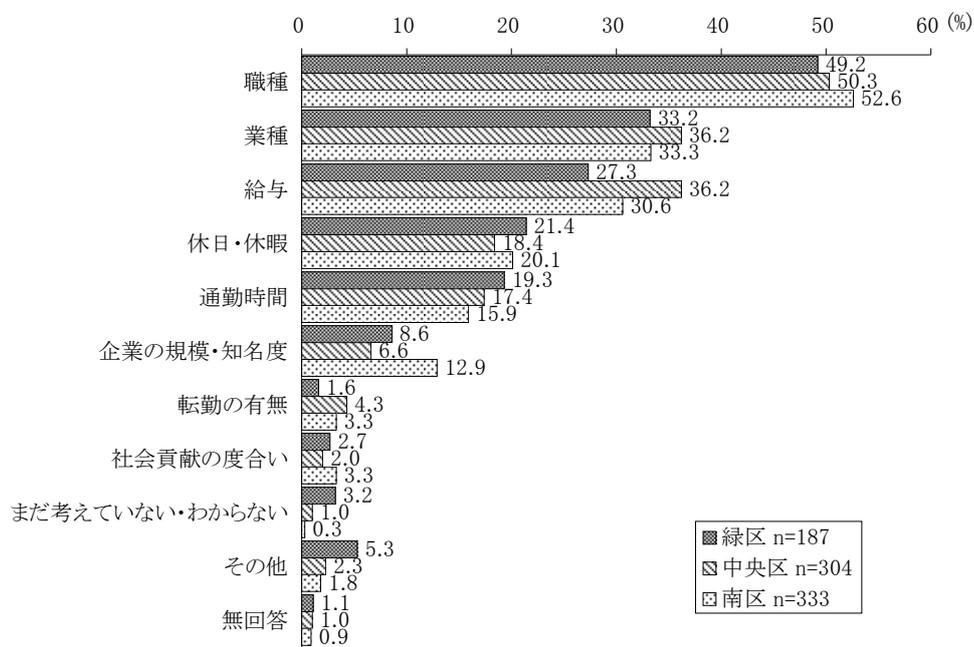
年齢別でみると、上位5項目に注目したところ、「業種」と「休日・休暇」では、「20歳～24歳」でその割合が特に高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【区別】

区別でみると、上位5項目に注目したところ、「職種」では「南区」(52.6%)、「業種」と「給与」では「中央区」(ともに36.2%)、「休日・休暇」と「通勤時間」では「緑区」(21.4%、19.3%)でそれぞれ高くなっています。



【世帯構成別・職業別】

世帯構成別でみると、上位5項目に注目したところ、「職種」では、「夫婦のみ世帯」(55.6%)、「業種」と「休日・休暇」では「その他」(47.4%、31.6%)、「給与」では「単身世帯」(39.6%)と「親と夫婦(自分)と子ども」(39.5%)、「通勤時間」では「祖父(母)と親と自分」(36.0%)でそれぞれ高くなっています。

職業別でみると、上位5項目に注目したところ、「職種」では、「自営業(自由業・農業を含む)」(42.9%)、「業種」では「公務員・団体職員」(64.5%)、「給与」では「専業主婦・主夫」(40.5%)、「休日・休暇」では「派遣社員、パート・アルバイト」(29.3%)と「学生」(26.7%)、「通勤時間」では「その他」(29.4%)と「無職」(28.1%)でそれぞれ高くなっています。

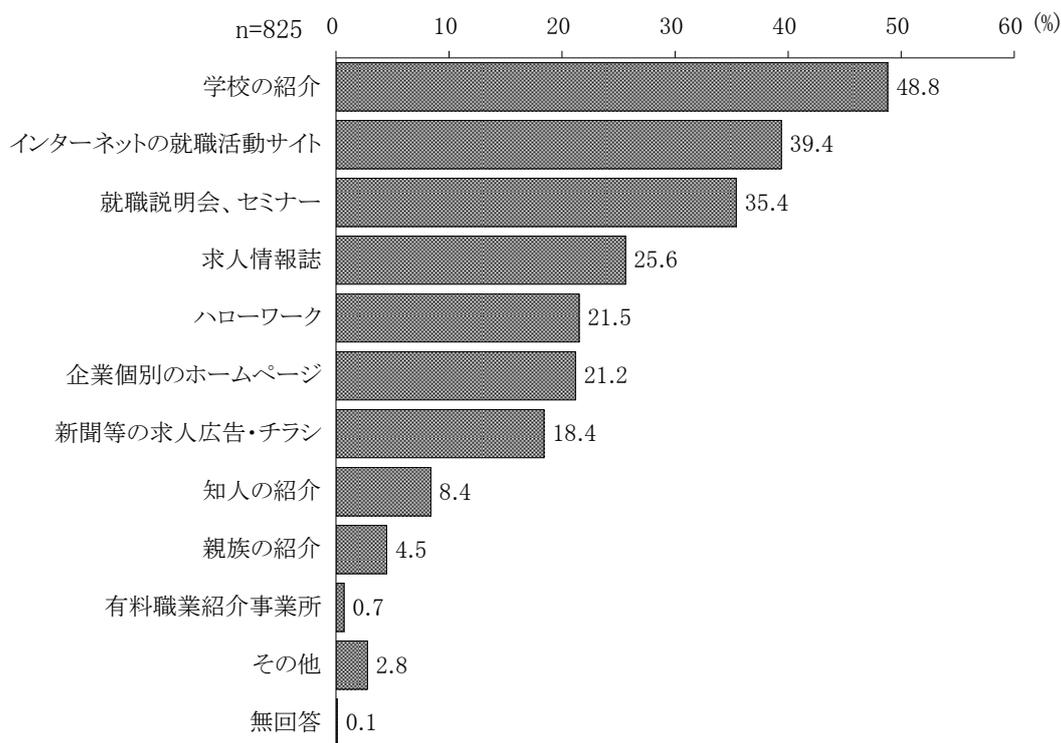
(%)

		回答者数(人)	職種	業種	給与	休日・休暇	通勤時間	企業の規模・知名度	転勤の有無	社会貢献の度合い	まだ考えていない・わからない	その他	無回答
全 体		825	50.9	34.3	31.9	19.8	17.2	9.6	3.3	2.7	1.2	2.8	1.1
問4 世帯構成別	単身世帯	91	50.5	31.9	39.6	15.4	12.1	8.8	1.1	6.6	1.1	5.5	-
	夫婦のみ世帯	108	55.6	38.0	25.9	15.7	19.4	10.2	1.9	2.8	1.9	0.9	0.9
	夫婦と子ども世帯	288	51.7	32.6	37.5	21.9	14.6	10.1	3.5	2.4	0.7	1.4	0.7
	自分と親からなる世帯	254	51.2	37.4	24.4	18.5	19.7	9.4	3.9	2.4	2.0	2.8	1.6
	親と夫婦(自分)と子ども	38	42.1	28.9	39.5	23.7	15.8	10.5	2.6	-	-	10.5	-
	祖父(母)と親と自分	25	44.0	12.0	32.0	28.0	36.0	12.0	4.0	-	-	8.0	-
	その他	19	36.8	47.4	31.6	31.6	15.8	-	10.5	-	-	-	5.3
問7 職業別	会社員	412	41.0	47.1	32.0	17.7	15.0	4.1	11.4	1.5	1.2	1.9	1.0
	公務員・団体職員	62	29.0	64.5	21.0	16.1	8.1	4.8	6.5	12.9	1.6	4.8	-
	自営業 (自由業・農業を含む)	14	42.9	35.7	35.7	7.1	14.3	-	7.1	-	-	7.1	-
	派遣社員、 パート・アルバイト	123	26.0	50.4	32.5	29.3	22.0	1.6	5.7	0.8	-	3.3	2.4
	専業主婦・主夫	116	23.3	56.9	40.5	22.4	20.7	1.7	9.5	0.9	1.7	2.6	-
	学生	45	40.0	51.1	26.7	26.7	15.6	2.2	15.6	11.1	-	2.2	-
	無職	32	28.1	59.4	25.0	9.4	28.1	6.3	3.1	-	6.3	3.1	-
	その他	17	17.6	52.9	23.5	11.8	29.4	-	5.9	5.9	-	11.8	5.9

(7) 求人情報の入手先

問16 あなたは就職活動の際、求人情報をどのように入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

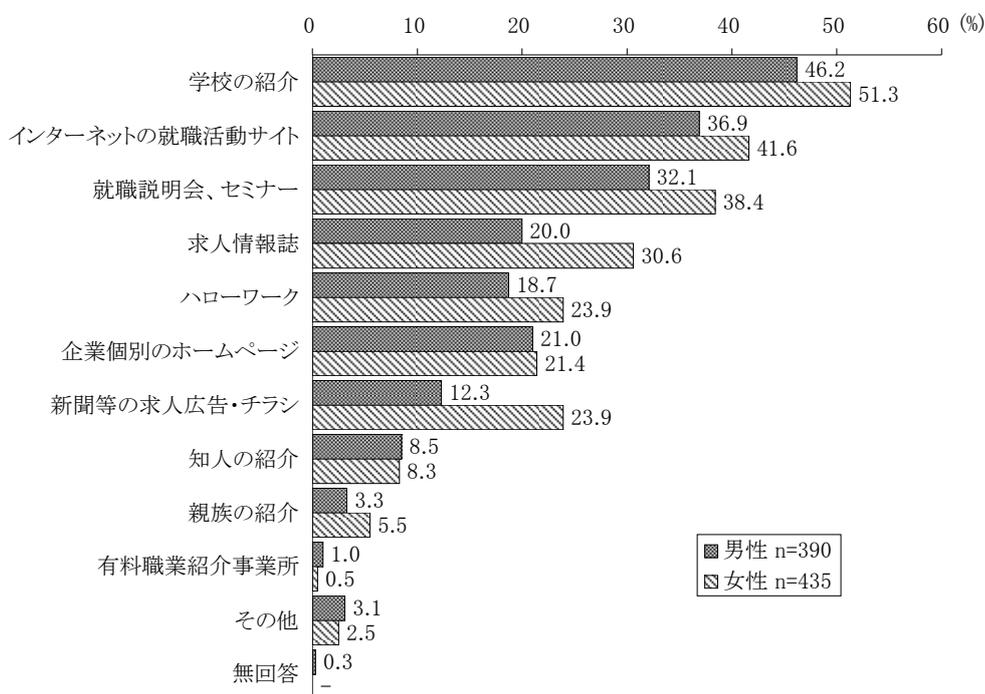
求人情報の入手先について聞いた結果、「学校の紹介」(48.8%)、「インターネットの就職活動サイト」(39.4%)、「就職説明会、セミナー」(35.4%)、「求人情報誌」(25.6%)、「ハローワーク」(21.5%)、「企業個別のホームページ」(21.2%)、「新聞等の求人広告・チラシ」(18.4%)、「知人の紹介」(8.4%)、「親族の紹介」(4.5%)、「有料職業紹介事務所」(0.7%)となっています。



○クロス集計

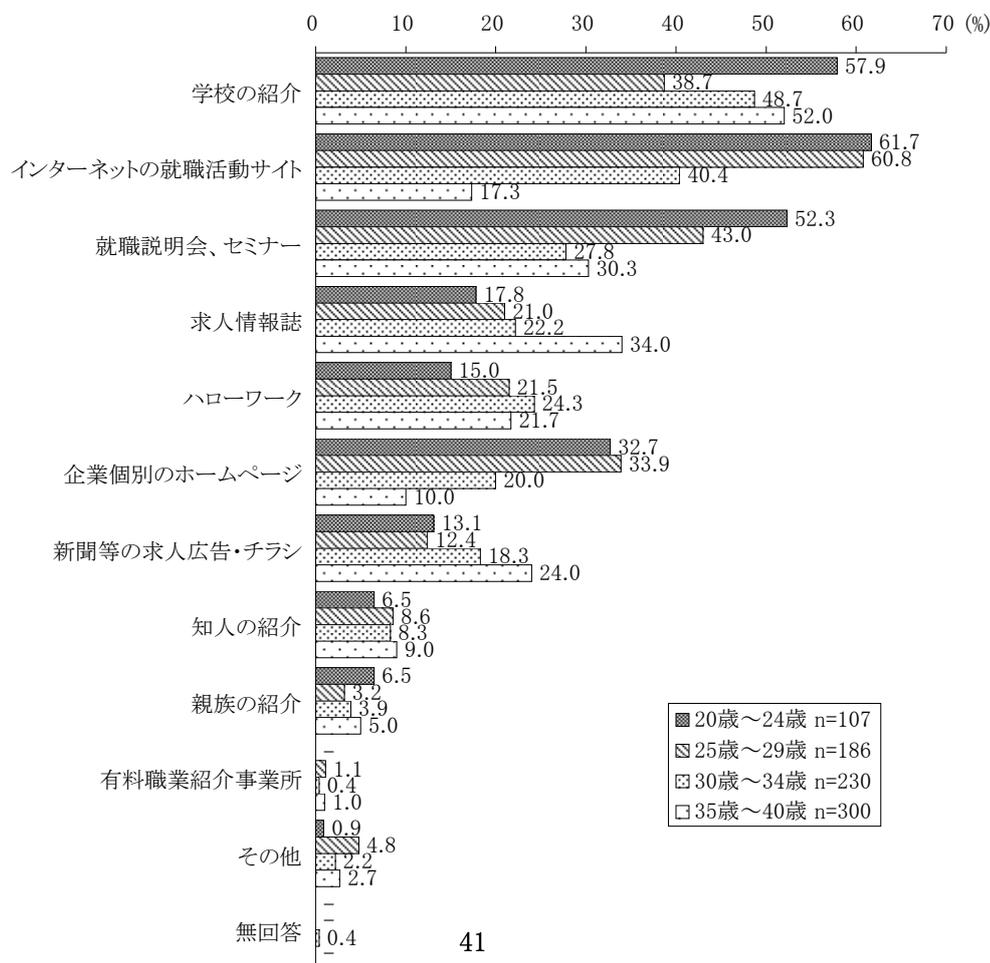
【性別】

性別でみると、ほぼすべての選択肢で「女性」が「男性」を上回っています。



【年齢別】

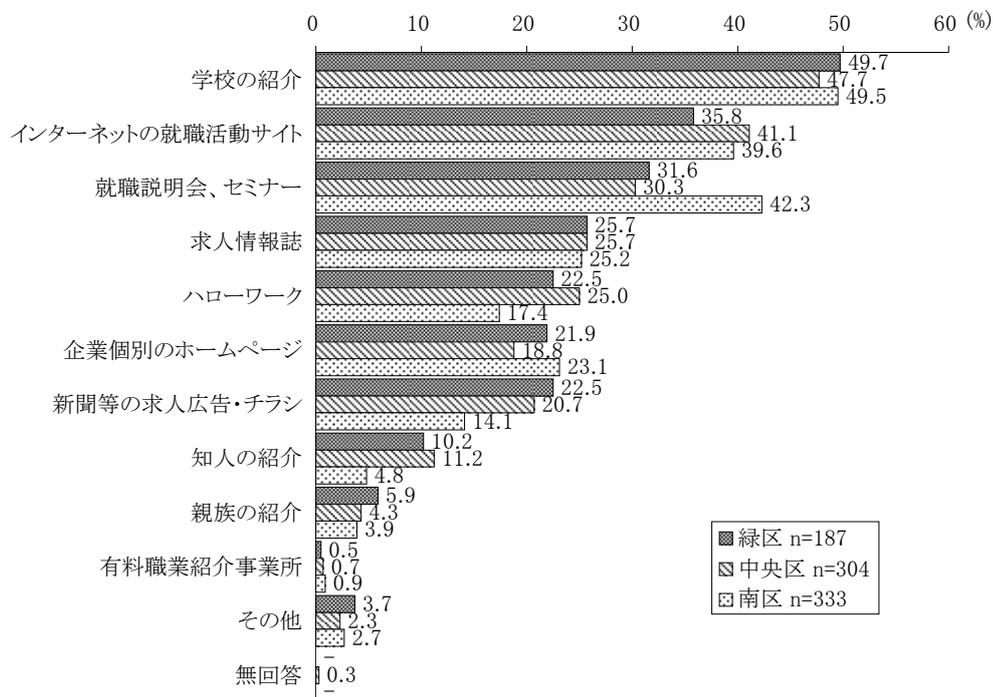
年齢別でみると、上位5項目に注目したところ、「学校の紹介」や「就職説明会、セミナー」では「20歳～24歳」、「インターネットの就職活動サイト」では20代（「20歳～24歳」、「25歳～29歳」）、「求人情報誌」では「35歳～40歳」、「ハローワーク」では「30～34歳」でそれぞれ高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【区別】

区別でみると、上位5項目に注目したところ、「就職説明会、セミナー」で「南区」(42.3%)の割合が特に高くなっています。



【世帯構成別・職業別】

世帯構成別でみると、上位5項目に注目したところ、「学校の紹介」では「夫婦と子ども世帯」、「インターネットの就職活動サイト」では「祖父（母）と親と自分」、「就職説明会、セミナー」では「夫婦のみ世帯」や「祖父（母）と親と自分」、「求人情報誌」と「ハローワーク」では「自分と親からなる世帯」でそれぞれ高くなっています。

職業別でみると、上位5項目に注目したところ、「学校の紹介」では「専業主婦・主夫」、「インターネットの就職活動サイト」と「就職説明会、セミナー」では「学生」、「求人情報誌」では「派遣社員、パート・アルバイト」や「無職」、「ハローワーク」では「無職」でそれぞれ高くなっています。

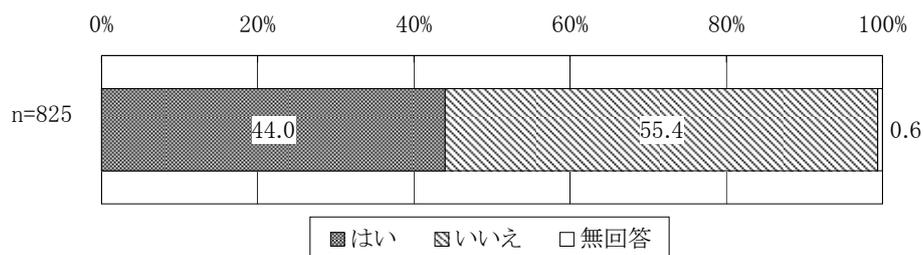
（％）

		回答者数（人）	学校の紹介	インターネットの就職活動サイト	就職説明会、セミナー	求人情報誌	ハローワーク	企業個別のホームページ	新聞等の求人広告・チラシ	知人の紹介	親族の紹介	有料職業紹介事業所	その他	無回答
全体		825	48.8	39.4	35.4	25.6	21.5	21.2	18.4	8.4	4.5	0.7	2.8	0.1
問4 世帯構成別	単身世帯	91	37.4	39.6	28.6	20.9	18.7	28.6	11.0	5.5	2.2	2.2	6.6	-
	夫婦のみ世帯	108	41.7	42.6	44.4	25.9	16.7	19.4	13.9	8.3	3.7	0.9	2.8	-
	夫婦と子ども世帯	288	56.3	26.7	33.7	25.7	18.1	17.0	17.4	9.4	3.5	-	3.1	-
	自分と親からなる世帯	254	47.6	55.1	37.8	28.7	29.1	24.4	23.6	8.7	4.7	1.2	1.6	0.4
	親と夫婦（自分）と子ども	38	52.6	15.8	23.7	15.8	21.1	13.2	26.3	13.2	15.8	-	2.6	-
	祖父（母）と親と自分	25	44.0	64.0	44.0	20.0	12.0	36.0	16.0	-	12.0	-	-	-
	その他	19	47.4	21.1	26.3	26.3	21.1	15.8	15.8	5.3	-	-	-	-
問7 職業別	会社員	412	50.5	38.3	36.2	20.9	18.0	20.1	12.9	8.5	3.4	0.7	3.2	-
	公務員・団体職員	62	50.0	40.3	38.7	9.7	9.7	30.6	6.5	6.5	6.5	1.6	6.5	-
	自営業（自由業・農業を含む）	14	50.0	21.4	14.3	14.3	21.4	7.1	28.6	7.1	-	-	-	-
	派遣社員、パート・アルバイト	123	40.7	38.2	30.9	43.1	30.9	15.4	37.4	10.6	6.5	1.6	4.1	0.8
	専業主婦・主夫	116	58.6	22.4	36.2	32.8	22.4	19.0	25.0	4.3	4.3	-	0.9	-
	学生	45	46.7	93.3	66.7	15.6	11.1	51.1	6.7	11.1	4.4	-	-	-
	無職	32	28.1	50.0	9.4	43.8	62.5	12.5	28.1	3.1	3.1	-	-	-
	その他	17	52.9	47.1	23.5	23.5	11.8	23.5	23.5	17.6	11.8	-	-	-

(8) 相模原市内の企業の求人情報を入手したか

問17 あなたは就職活動の際、相模原市内の企業の求人情報を入手できましたか。市内の企業を希望していない場合でも、結果的（受動的）に入手できた場合は「1. はい」に○を付けてください。（○は1つ）

相模原市内の企業の求人情報の入手について聞いた結果、「はい」(44.0%)、「いいえ」(55.4%)となっています。



○クロス集計

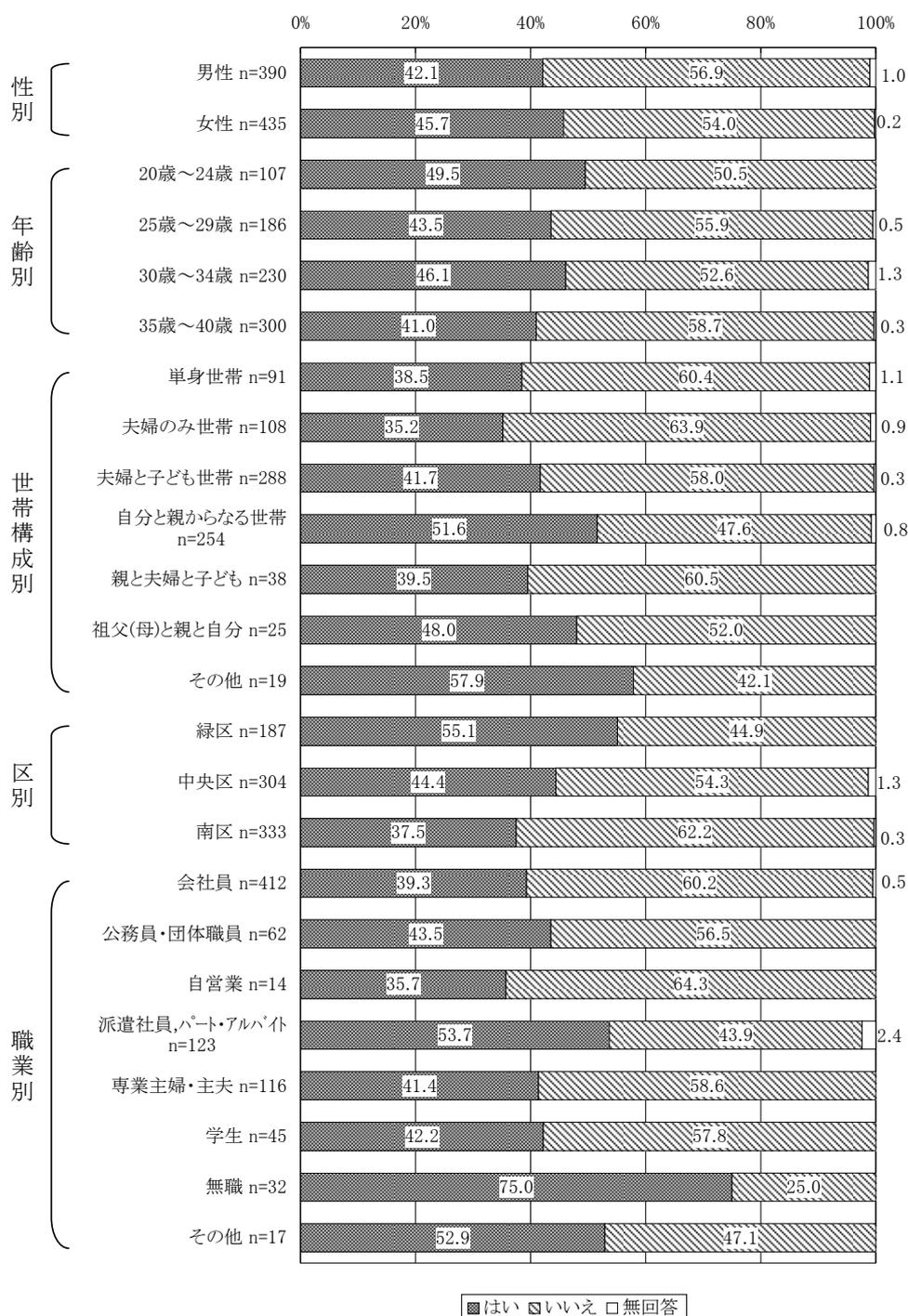
性別では、各項目に大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「35歳～40歳」(58.7%)、次いで「25歳～29歳」(55.9%)、「30歳～34歳」(52.6%)となっています。

世帯構成別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「夫婦のみ世帯」(63.9%)、次いで「親と夫婦と子ども」(60.5%)、「単身世帯」(60.4%)となっています。

区別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「南区」(62.2%)、「中央区」(54.3%)、「緑区」(44.9%)となっています。

職業別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「自営業」(64.3%)、次いで「会社員」(60.2%)、「専業主婦・主夫」(58.6%)となっています。

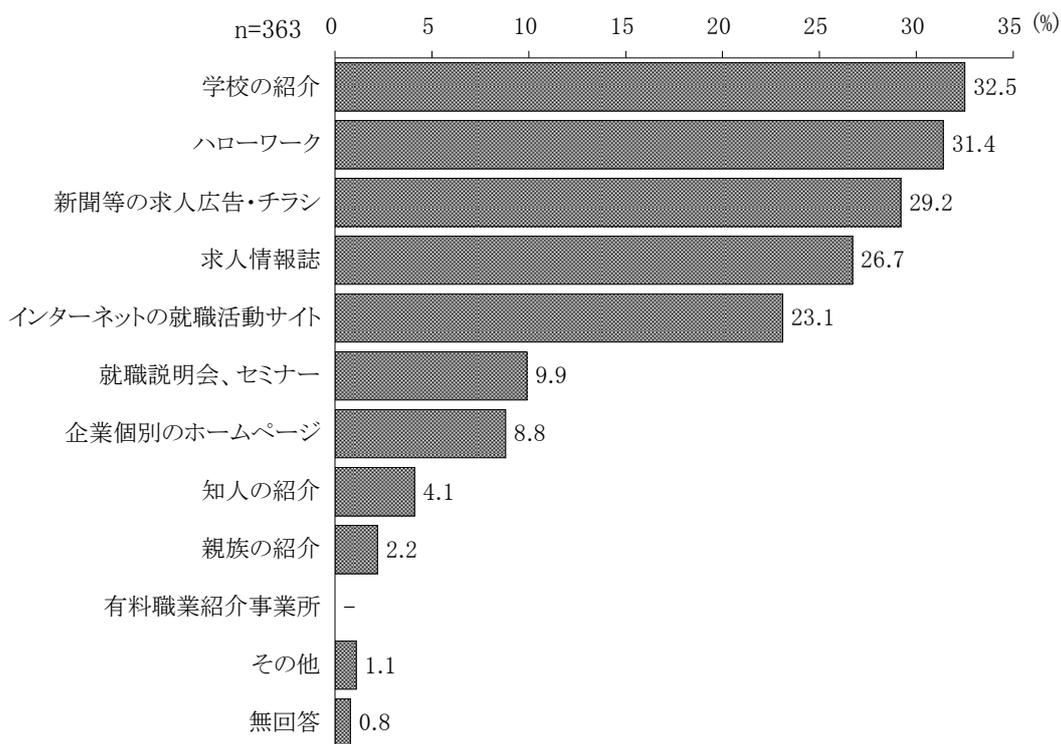


(9) 相模原市内の企業の求人情報の入手先

(問17で「1. はい」に○を付けた方だけの限定質問)

問18 相模原市内の企業の求人情報をどのように入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

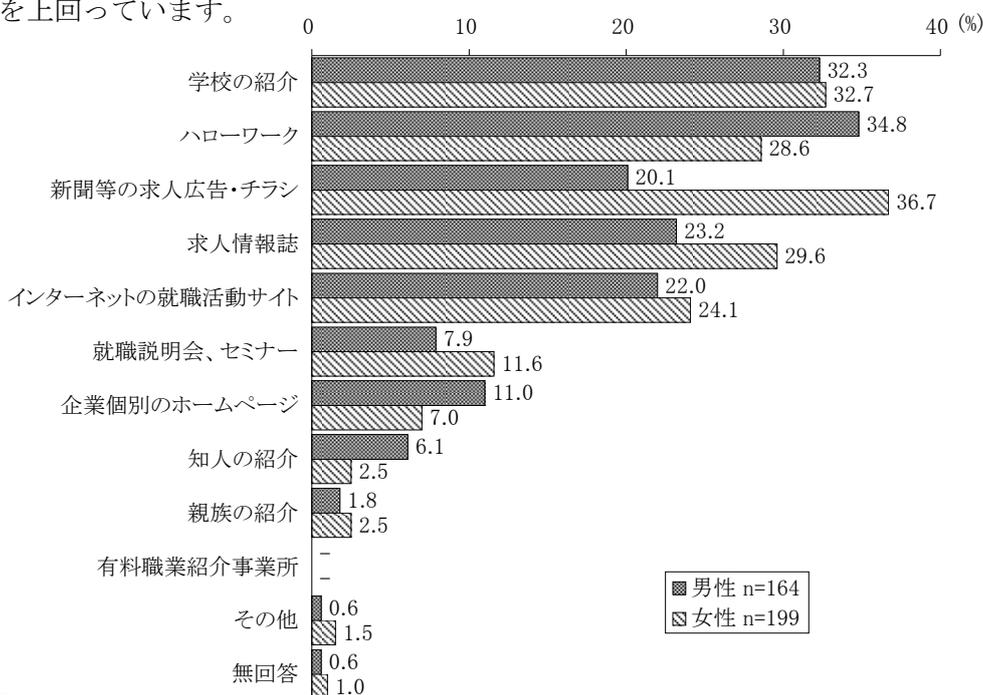
相模原市内の企業の求人情報の入手先について聞いた結果、「学校の紹介」(32.5%)、「ハローワーク」(31.4%)、「新聞等の求人広告・チラシ」(29.2%)、「求人情報誌」(26.7%)、「インターネットの就職活動サイト」(23.1%)、「就職説明会、セミナー」(9.9%)、「企業個別のホームページ」(8.8%)、「知人の紹介」(4.1%)、「親族の紹介」(2.2%)、「有料職業紹介事務所」(0.0%)となっています。



○クロス集計

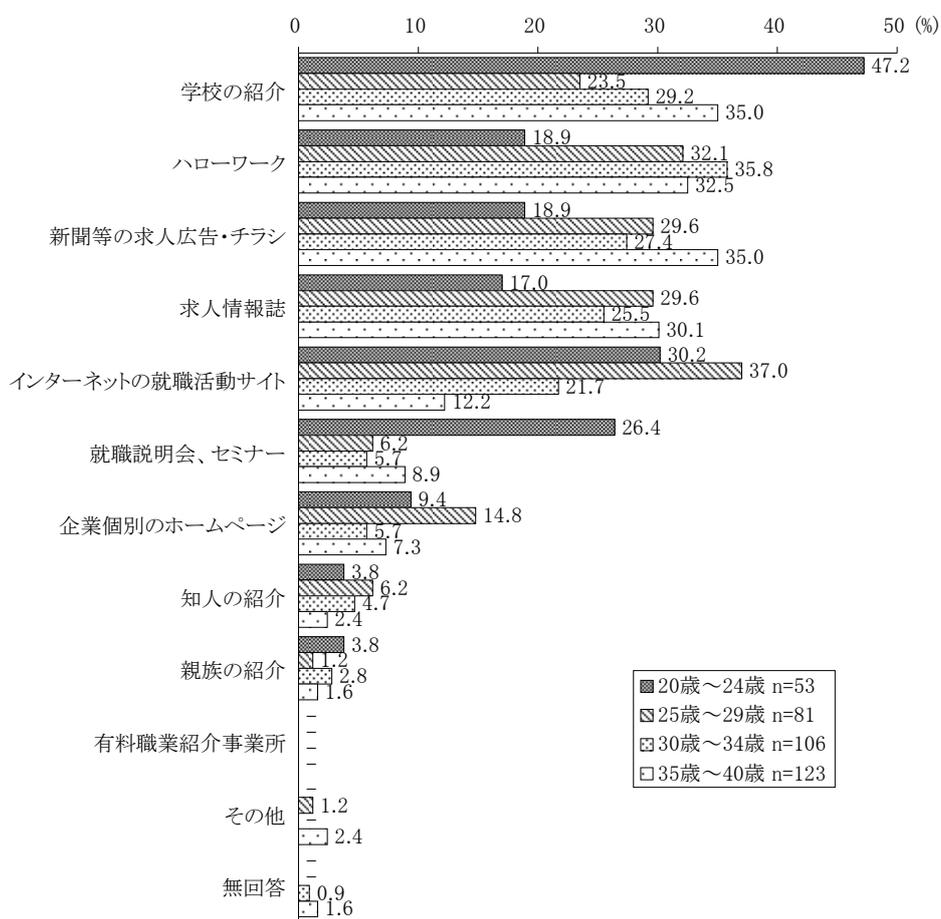
【性別】

性別でみると、「ハローワーク」や「企業個別のホームページ」、「知人の紹介」の3つで、「男性」が「女性」を上回っています。



【年齢別】

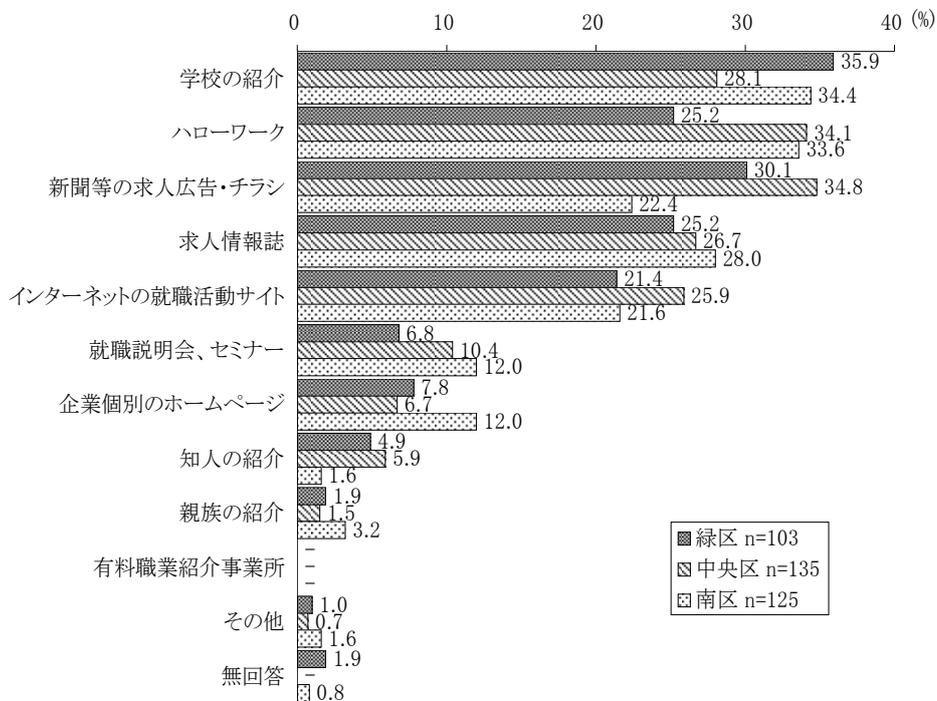
年齢別でみると、上位5項目に注目したところ、「学校の紹介」では「20歳～24歳」の割合が特に高く、「ハローワーク」「新聞等の求人広告・チラシ」「求人情報誌」では「20歳～24歳」以外、「インターネットの就職活動サイト」では「25歳～29歳」で高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【区別】

区別でみると、上位5項目に注目したところ、「学校の紹介」では「緑区」と「南区」、「ハローワーク」「新聞等の求人広告・チラシ」「インターネットの就職活動サイト」では「中央区」、「求人情報誌」では「南区」がそれぞれ高くなっています。



【世帯構成別・職業別】

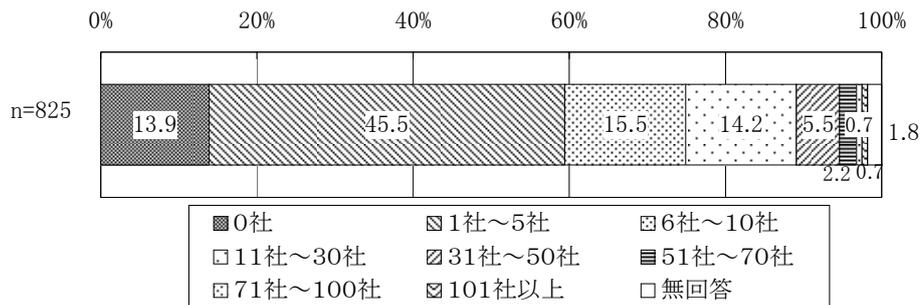
(%)

		回答者数(人)	学校の紹介	ハローワーク	新聞等の求人広告・チラシ	求人情報誌	インターネットの就職活動サイト	就職説明会、セミナー	企業個別のホームページ	知人の紹介	親族の紹介	有料職業紹介事業所	その他	無回答
全 体		363	32.5	31.4	29.2	26.7	23.1	9.9	8.8	4.1	2.2	-	1.1	0.8
問4 世帯構成別	単身世帯	35	28.6	42.9	11.4	20.0	20.0	14.3	14.3	2.9	-	-	-	-
	夫婦のみ世帯	38	23.7	21.1	28.9	26.3	31.6	10.5	5.3	5.3	-	-	2.6	-
	夫婦と子ども世帯	120	37.5	21.7	24.2	28.3	17.5	10.0	9.2	3.3	1.7	-	2.5	2.5
	自分と親からなる世帯	131	29.0	42.0	38.2	28.2	29.0	9.9	8.4	5.3	3.1	-	-	-
	親と夫婦(自分)と子ども	15	33.3	26.7	46.7	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	-	-	-
	祖父(母)と親と自分	12	50.0	25.0	8.3	-	41.7	8.3	16.7	-	8.3	-	-	-
	その他	11	45.5	27.3	36.4	45.5	-	-	-	-	-	-	-	-
問7 職業別	会社員	162	37.7	31.5	22.2	20.4	17.3	9.9	7.4	4.9	1.2	-	1.2	0.6
	公務員・団体職員	27	29.6	7.4	11.1	14.8	22.2	22.2	29.6	7.4	3.7	-	-	-
	自営業(自由業・農業を含む)	5	40.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-
	派遣社員、パート・アルバイト	66	21.2	42.4	51.5	37.9	30.3	3.0	6.1	6.1	1.5	-	1.5	1.5
	専業主婦・主夫	48	35.4	22.9	33.3	37.5	14.6	8.3	4.2	-	2.1	-	2.1	2.1
	学生	19	52.6	10.5	21.1	10.5	42.1	36.8	15.8	-	-	-	-	-
	無職	24	12.5	62.5	33.3	41.7	37.5	-	4.2	-	4.2	-	-	-
	その他	9	33.3	11.1	33.3	33.3	55.6	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-	-

(10) 資料請求をした会社の数

問19 あなたは就職活動の際、何社程度資料請求をしましたか。(〇は1つ)

資料請求をした会社の数について聞いた結果、「0社」(13.9%)、「1社～5社」(45.5%)、「6社～10社」(15.5%)、「11社～30社」(14.2%)、「31社～50社」(5.5%)、「51社～70社」(2.2%)、「71社～100社」(0.7%)、「101社以上」(0.7%)となっています。



○クロス集計

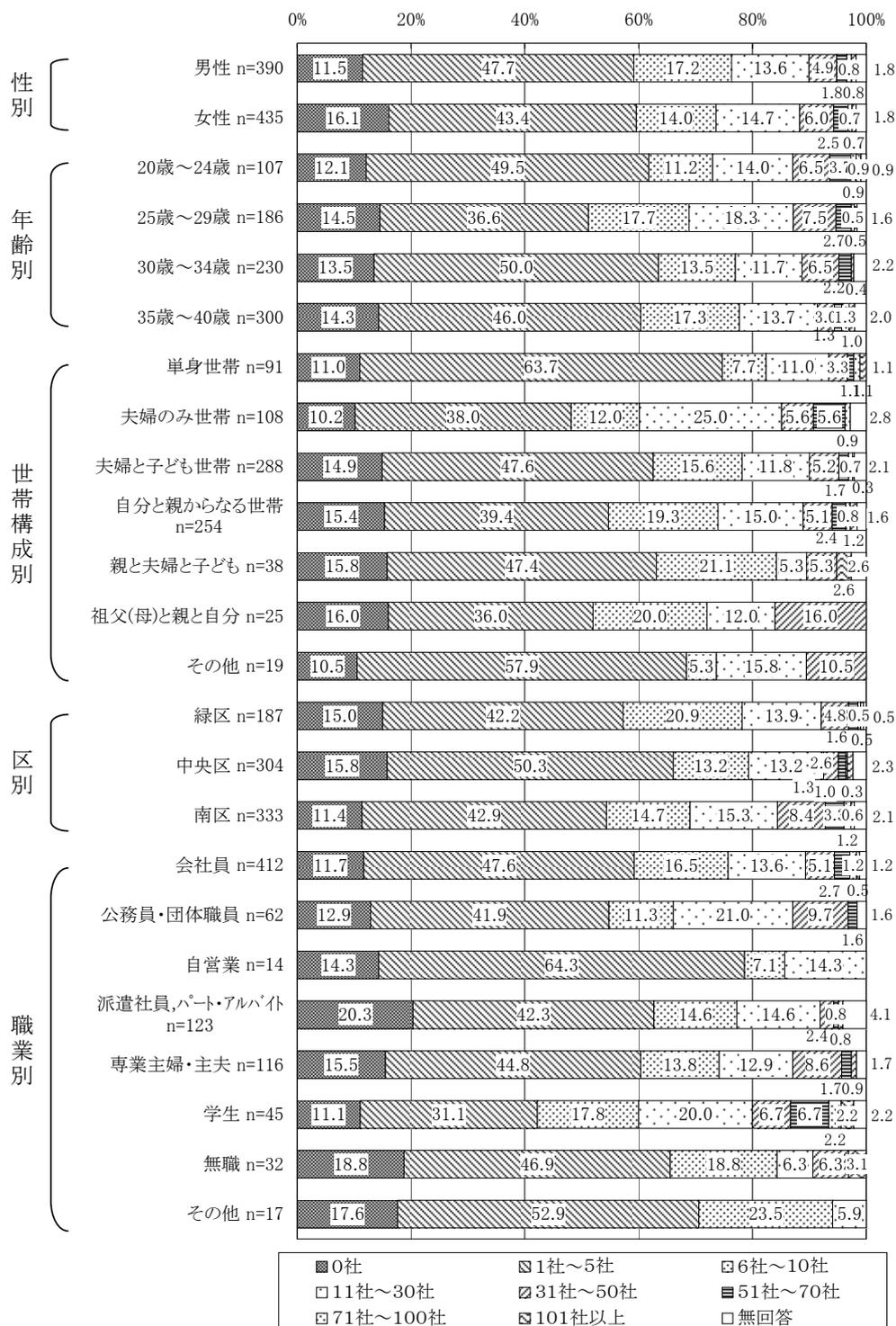
性別では、各項目に大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「25歳～29歳」の場合、6社以上の比率が他の年齢に比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、「1社～5社」の比率は、「単身世帯」(63.7%)で特に高くなっています。

区別でみると、「緑区」と「南区」が「中央区」に比べ、6社以上の比率が高くなっています。

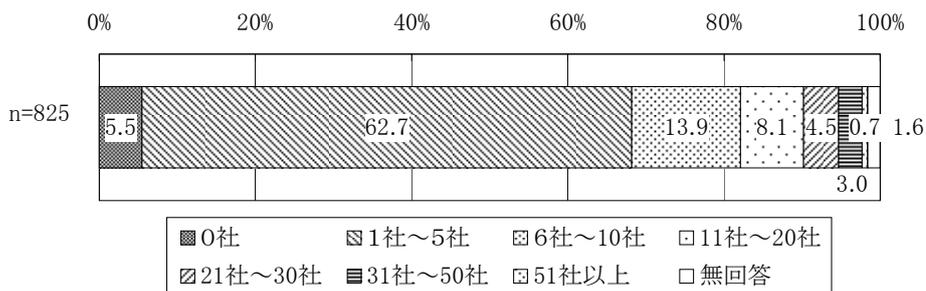
職業別でみると、「学生」の場合、6社以上の比率が、他の職業に比べて高くなっています。



(11) 入社試験を受けた会社の数

問20 あなたは就職活動の際、何社程度実際に入社試験（エントリーシートの提出、適性検査、面接等）を受けましたか。（〇は1つ）

入社試験を受けた会社の数について聞いた結果、「0社」（5.5%）、「1社～5社」（62.7%）、「6社～10社」（13.9%）、「11社～20社」（8.1%）、「21社～30社」（4.5%）、「31社～50社」（3.0%）、「51社以上」（0.7%）となっています。



○クロス集計

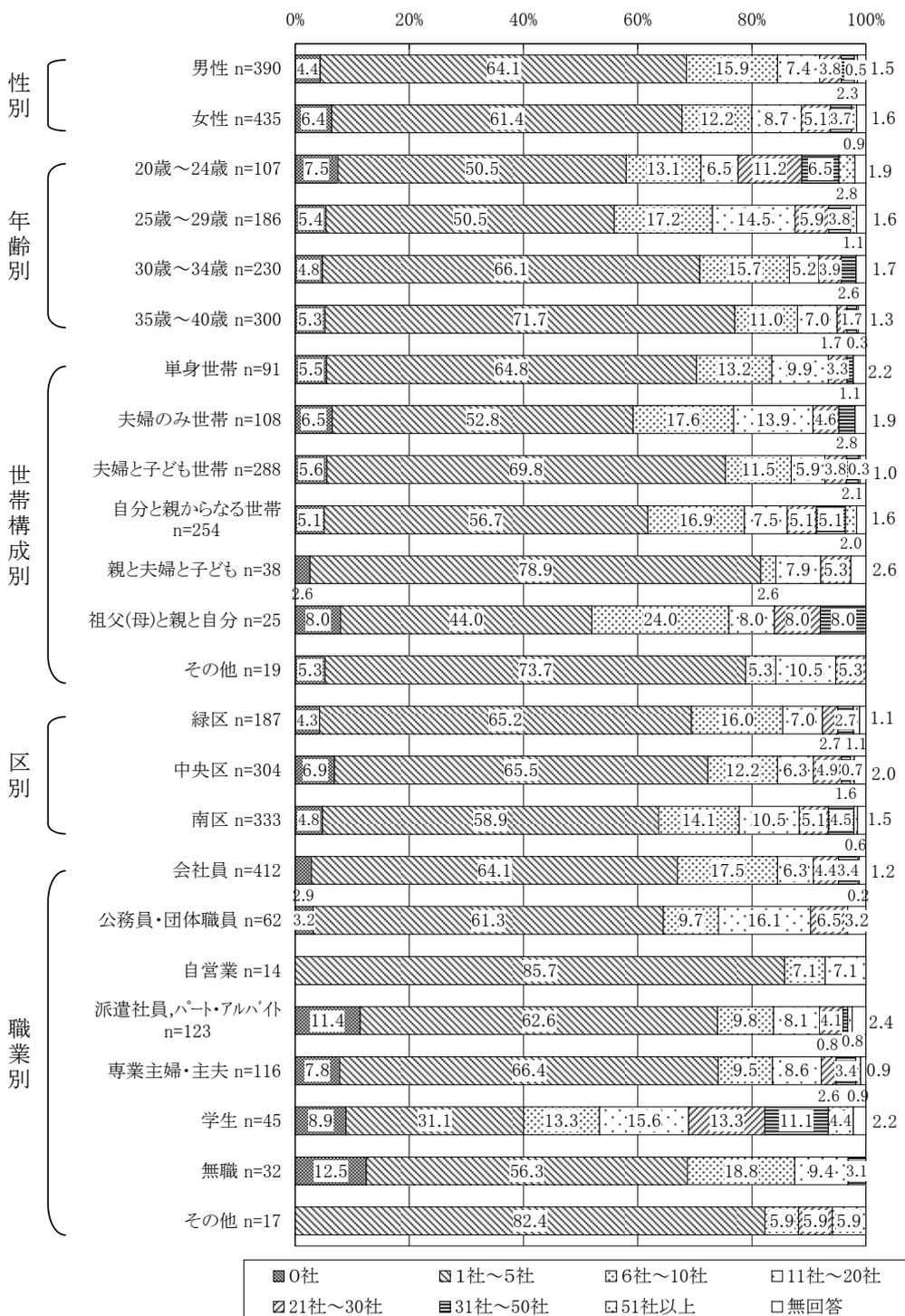
性別では、各項目に大きな差異はみられません。

年齢別でみると、6社以上の比率は、20代のほうが高くなっています。

世帯構成別でみると、「1社～5社」で、最も比率が高かったのは、「親と夫婦と子ども」(78.9%)、次いで「夫婦と子ども世帯」(69.8%)、「単身世帯」(64.8%)となっています。

区別でみると、「1社～5社」の比率は、「中央区」(65.5%)と「緑区」(65.2%)で6割台と高くなっています。

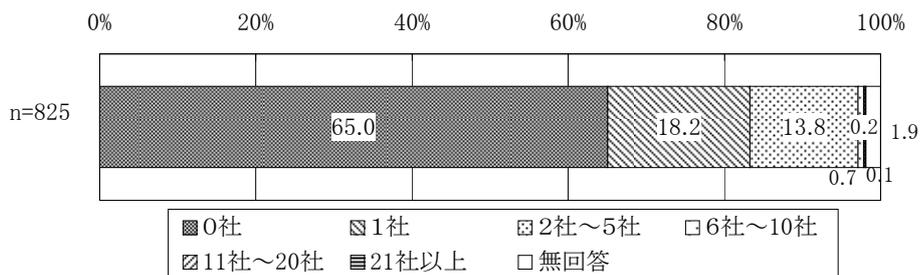
職業別でみると、「学生」の場合、6社以上の比率が他の職業に比べて、高くなっています。



(12) 入社試験を受けた市内の会社の数

問21 入社試験（エントリーシートの提出、適性検査、面接等）を受けた企業のうち、相模原市内の企業は何社程度ありましたか。（〇は1つ）

入社試験を受けた市内の会社の数について聞いた結果、「0社」（65.0%）、「1社」（18.2%）、「2社～5社」（13.8%）、「6社～10社」（0.7%）、「11社～20社」（0.2%）、「21社以上」（0.1%）となっています。

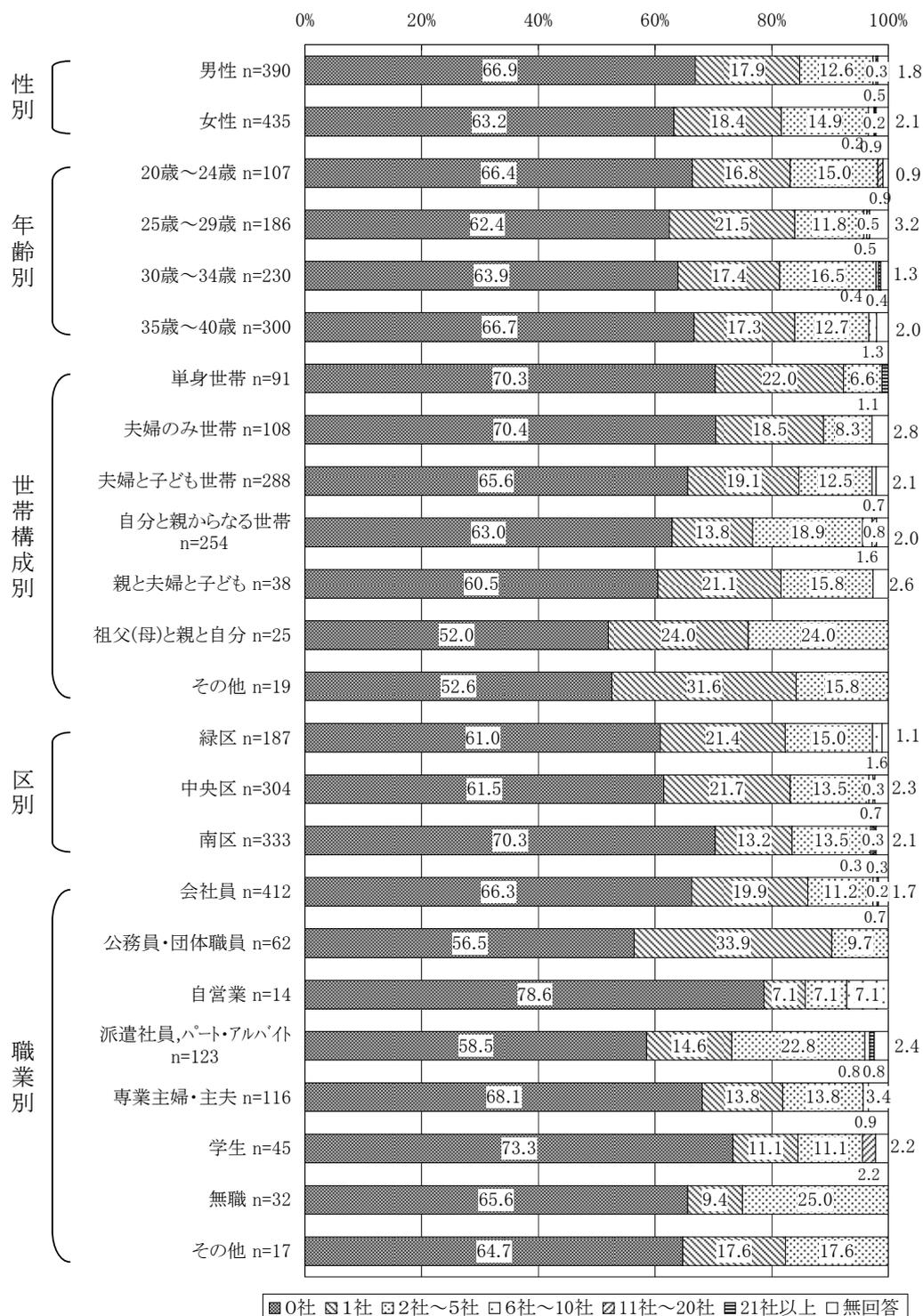


○クロス集計

性別、年齢別では、各項目に大きな差異はみられません。

世帯構成別でみると、「0社」の比率は、「夫婦のみ世帯」(70.4%)、「単身世帯」(70.3%)で7割台と、他の世帯に比べて高くなっています。

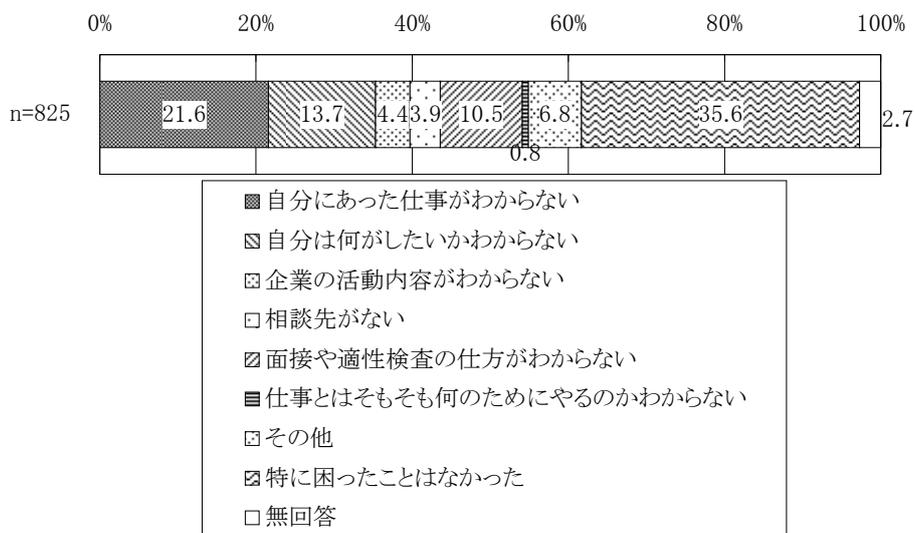
区別でみると、「0社」で、最も比率が高かったのは、「南区」(70.3%)となっています。



(13) 就職活動の際に最も困ったことや悩んだこと

問22 あなたが就職活動の際に最も困ったことや悩んだことは次のうちどれですか。(○は1つ)

就職活動の際に最も困ったことや悩んだことについて聞いた結果、「自分にあった仕事が見つからない」(21.6%)、「自分は何がしたいかわからない」(13.7%)、「企業の活動内容が見つからない」(4.4%)、「相談先がない」(3.9%)、「面接や適性検査の仕方がわからない」(10.5%)、「仕事とはそもそも何のためにやるのかかわからない」(0.8%)、「その他」(6.8%)、「特に困ったことはなかった」(35.6%) となっています。



○クロス集計

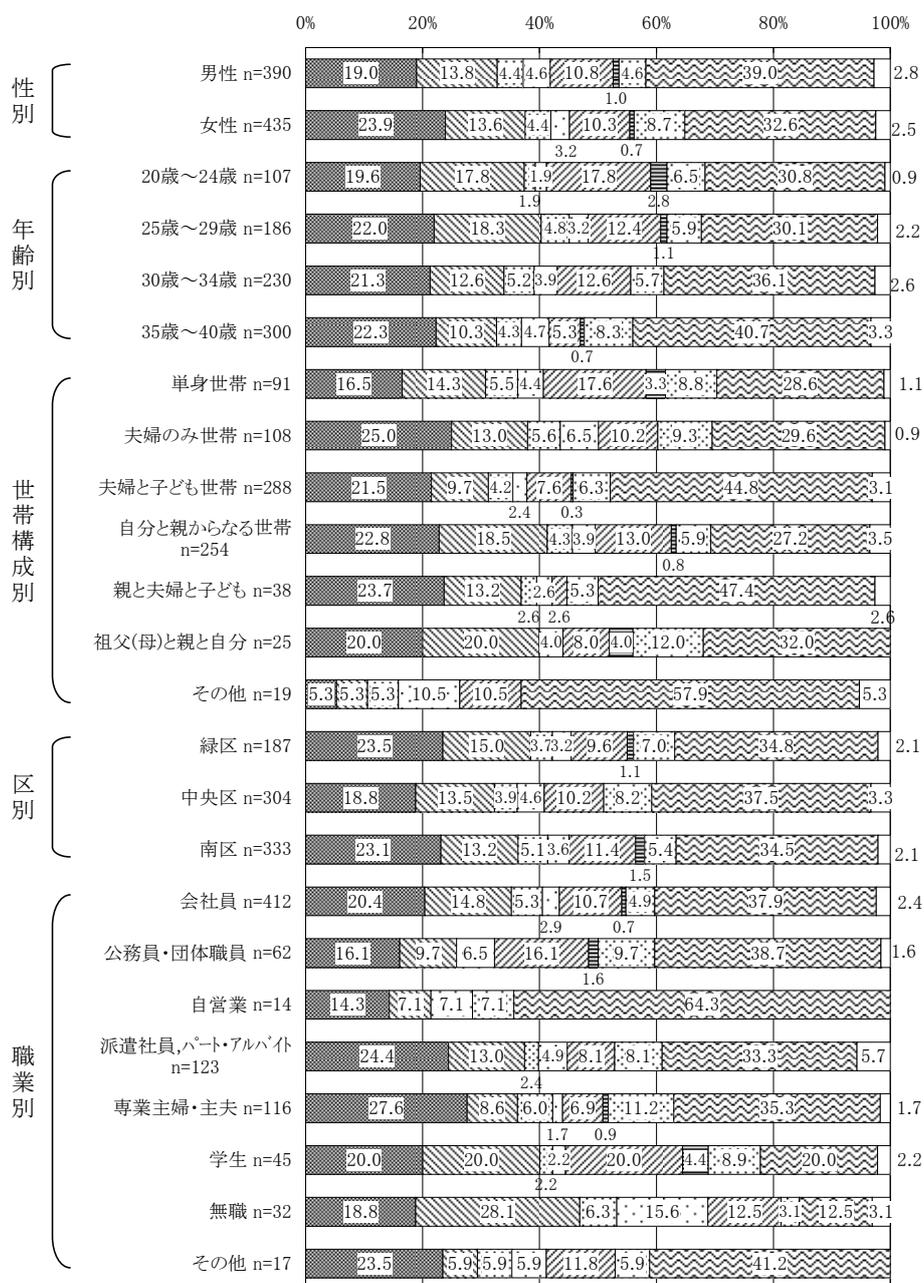
性別でみると、「特に困ったことはなかった」で、「男性」(39.0%)が「女性」(32.6%)を上回っています。

年齢別でみると、「20歳～24歳」の場合、「面接や適性検査の仕方がわからない」(17.8%)の比率が他の年齢に比べ、高くなっています。

世帯構成別でみると、「単身世帯」の場合、「面接や適性検査の仕方がわからない」(17.6%)の比率が他の世帯に比べ、高くなっています。

区別では、各項目に大きな差異はみられません。

職業別でみると、「専業主婦・主夫」や「派遣社員、パート・アルバイト」の場合、「自分にあった仕事がわからない」の比率(それぞれ24.4%、27.6%)が他の職業に比べて高くなっています。

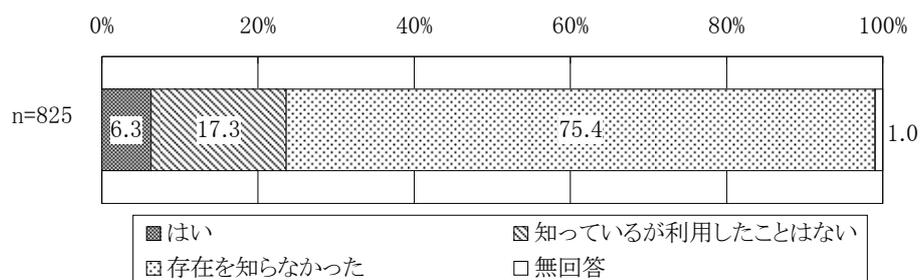


- 自分にあつた仕事がわからない
- 企業活動内容がわからない
- 面接や適性検査の仕方がわからない
- その他
- 無回答
- 自分は何がしたいかわからない
- 相談先がない
- 仕事とはそもそも何のためにやるのかわからない
- 特に困ったことはなかった

(14) 相模原市就職支援センターの利用の有無

問23 あなたは相模原市就職支援センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

相模原市就職支援センターの利用について聞いた結果、「はい」(6.3%)、「知っているが利用したことはない」(17.3%)、「存在を知らなかった」(75.4%)となっています。



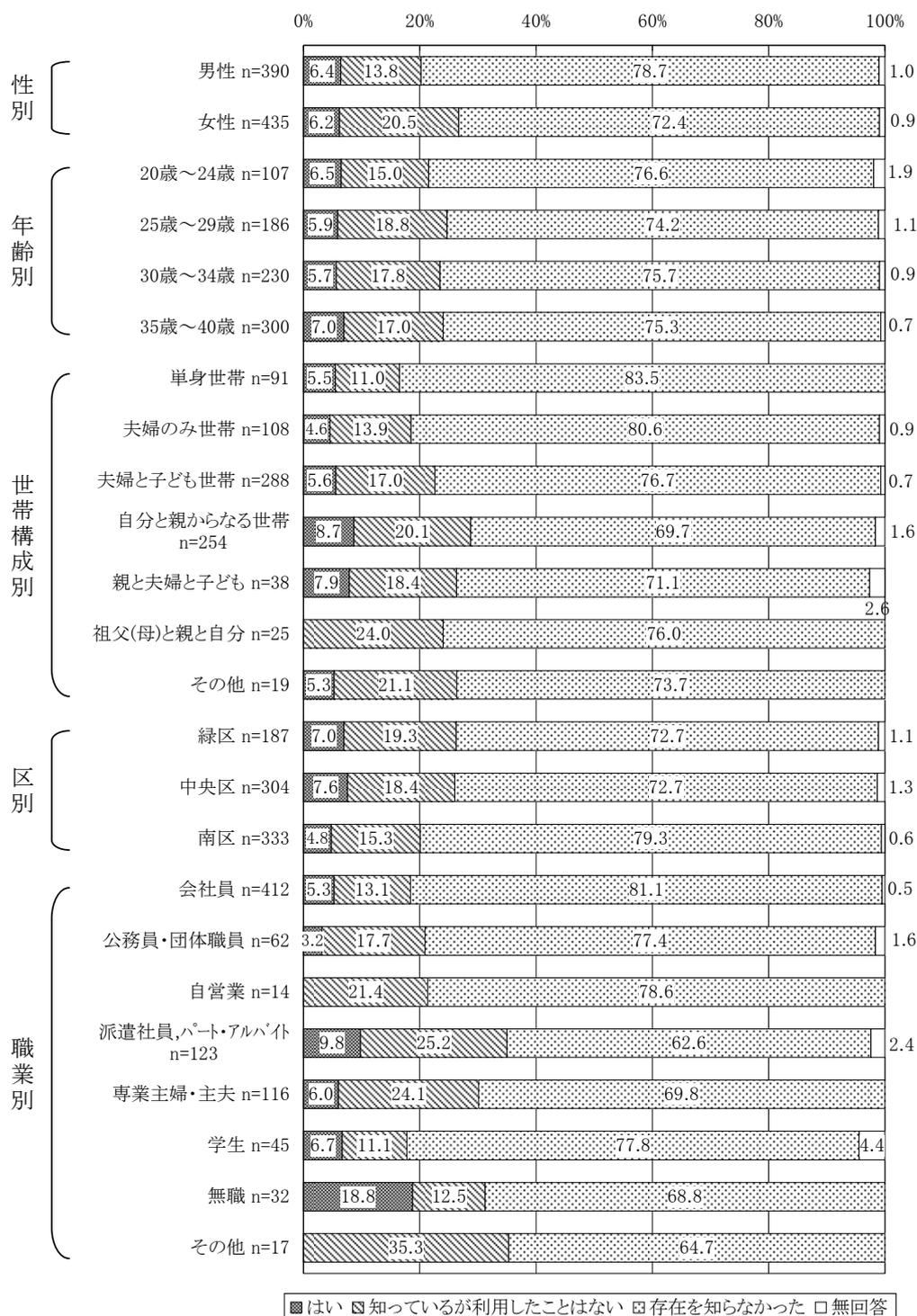
○クロス集計

性別では、認知度（「はい」と「知っているが利用したことはない」をあわせた割合）は、「女性」のほうが「男性」を上回っています。

年齢別では、各項目に大きな差異はみられません。

世帯構成別でみると、「存在を知らなかった」は、「単身世帯」（83.5%）と「夫婦のみ世帯」（80.6%）で8割台と、他の世帯に比べて高くなっています。

職業別でみると、認知度の高い職業から、「派遣社員、パート・アルバイト」（35.0%）、「無職」（31.3%）、「専業主婦・主夫」（30.1%）の順となっています。

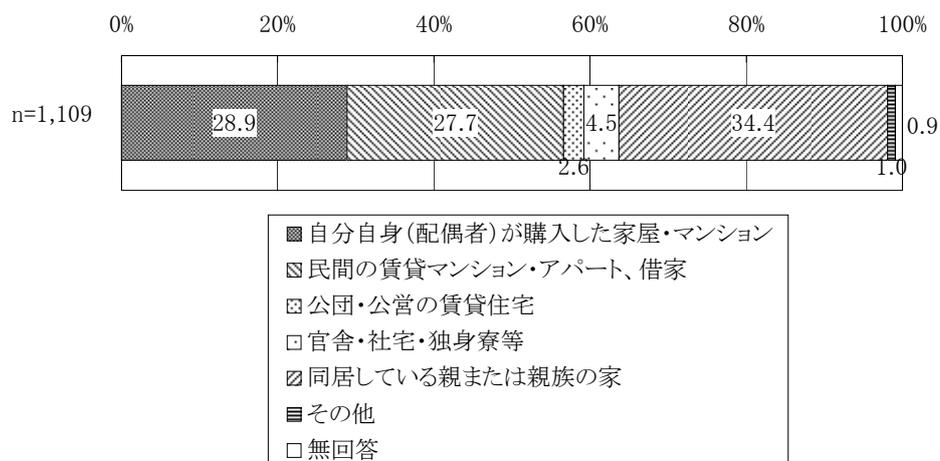


3. お住まいの状況について

(1) 住居形態

問24 あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

住居形態について聞いた結果、「自分自身(配偶者)が購入した家屋・マンション」(28.9%)、「民間の賃貸マンション・アパート、借家」(27.7%)、「公団・公営の賃貸住宅」(2.6%)、「官舎・社宅・独身寮等」(4.5%)、「同居している親または親族の家」(34.4%)となっています。



○クロス集計

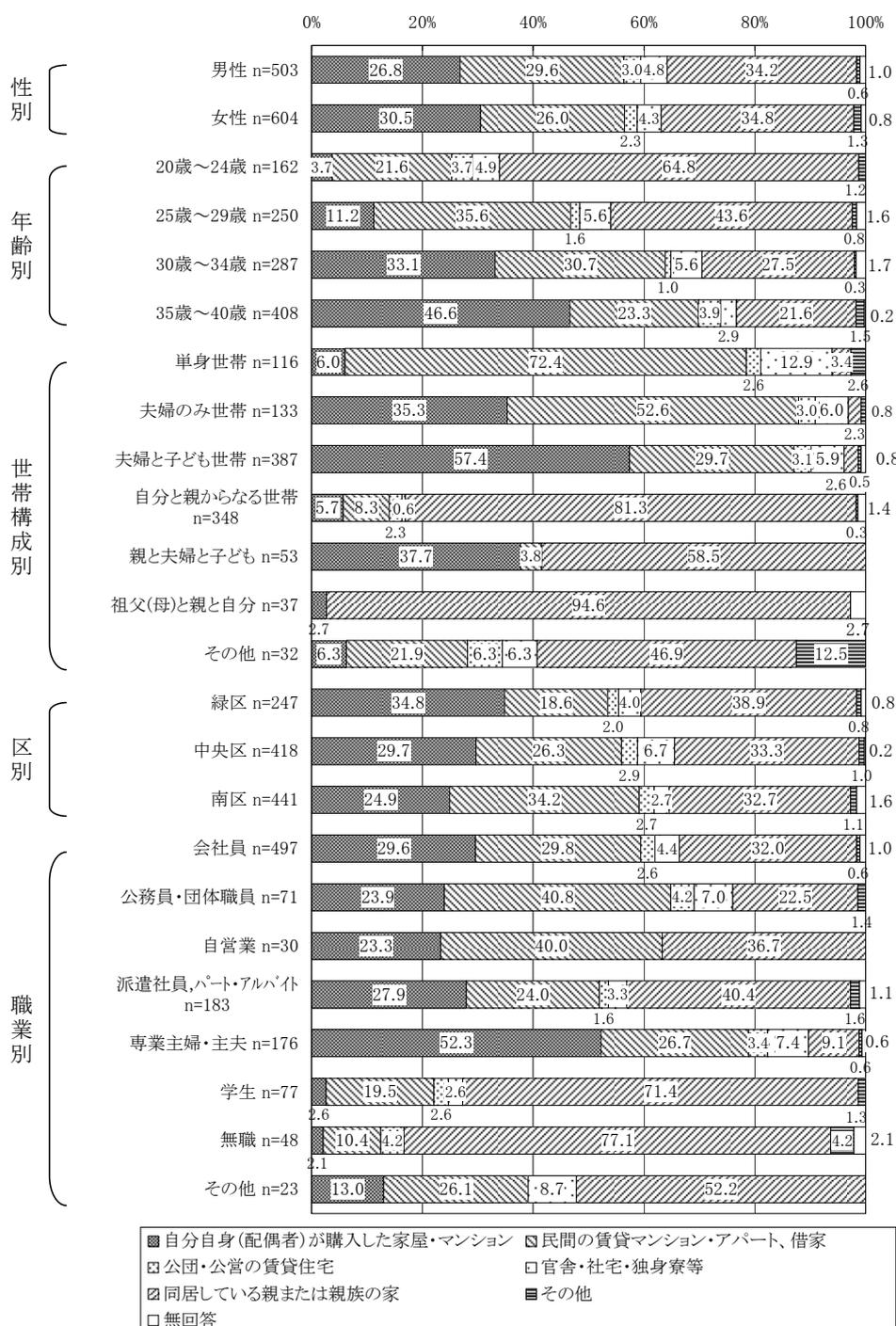
性別では、各項目に大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「自分自身（配偶者）が購入した家屋・マンション」の比率は、年齢があがるほど高くなっています

世帯構成別でみると、「夫婦と子ども世帯」の場合、「自分自身（配偶者）が購入した家屋・マンション」の比率が5割を超えています。

区別でみると、「自分自身（配偶者）が購入した家屋・マンション」の比率は、「緑区」（34.8%）が最も高く、「民間の賃貸マンション・アパート、借家」については、「南区」（34.2%）が最も高くなっています。

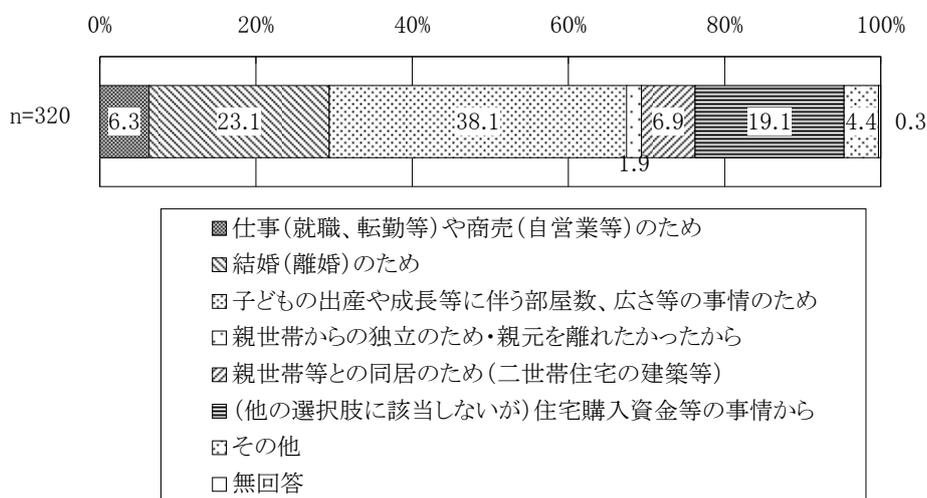
職業別でみると、「自分自身（配偶者）が購入した家屋・マンション」の比率は、「専業主婦・主夫」で5割を超えています。



(2) 現在の場所に住むようになったきっかけ

(問25～問34までは問24で「1. 自分自身（配偶者）が購入した家屋・マンション」に○を付けた方のみの限定質問)
 問25 あなたが現在住んでいる場所（住宅）に住むようになったタイミング・きっかけは何ですか。（○は1つ）

現在の場所に住むようになったきっかけについて聞いた結果、「仕事（就職、転勤等）や商売（自営業等）のため」（6.3%）、「結婚（離婚）のため」（23.1%）、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」（38.1%）、「親世帯からの独立のため・親元を離れたかったから」（1.9%）、「親世帯等との同居のため（二世帯住宅の建築等）」（6.9%）、「（他の選択肢に該当しないが）住宅購入資金等の事情から（金利・税制面のメリットや頭金が貯まったから等）」（19.1%）となっています。



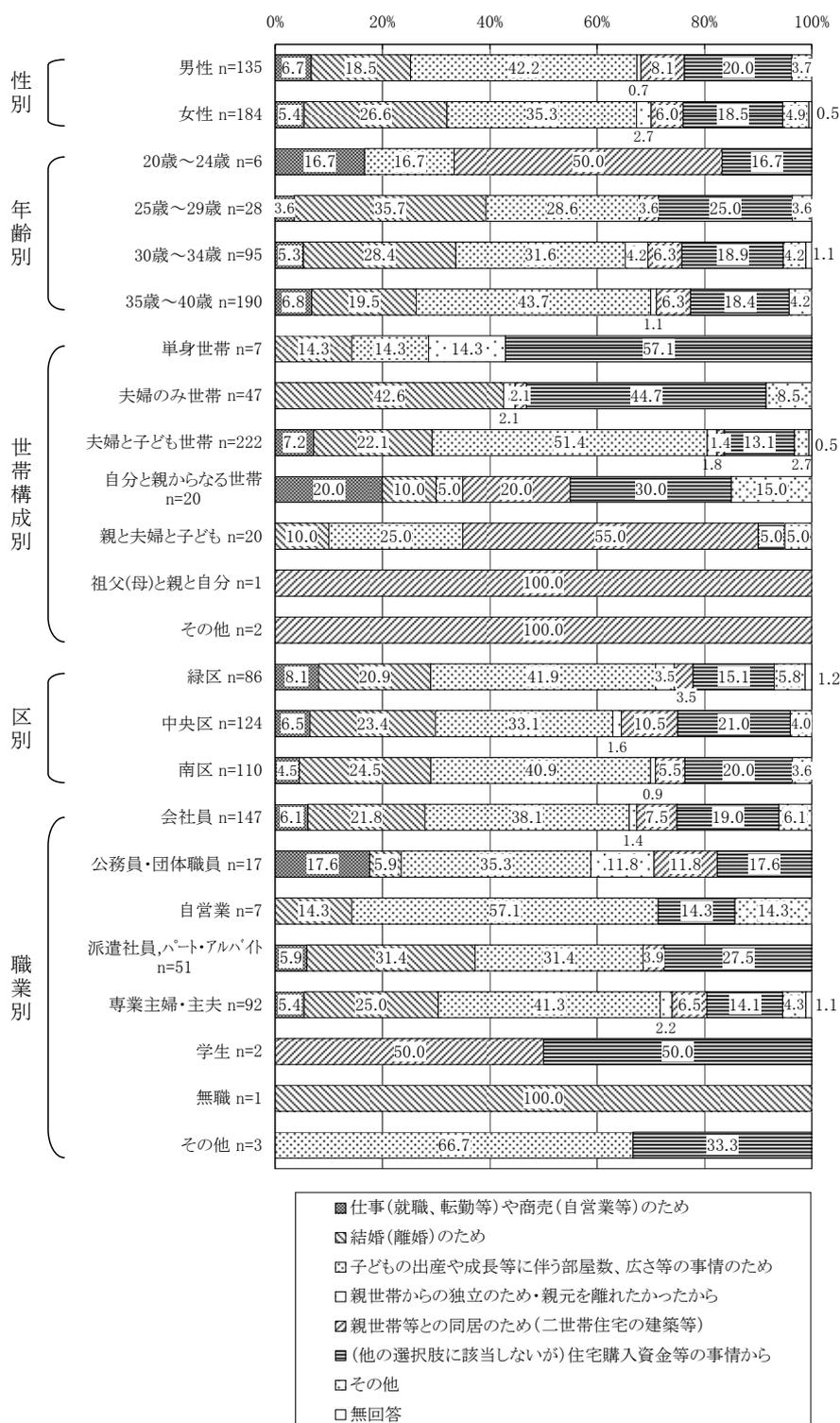
○クロス集計

性別でみると、男性の場合、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」が「女性」を上回り、また、女性の場合では「結婚（離婚）のため」が「男性」を上回っています。

年齢別でみると、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」の比率は、年齢があがるほど、高くなっています。

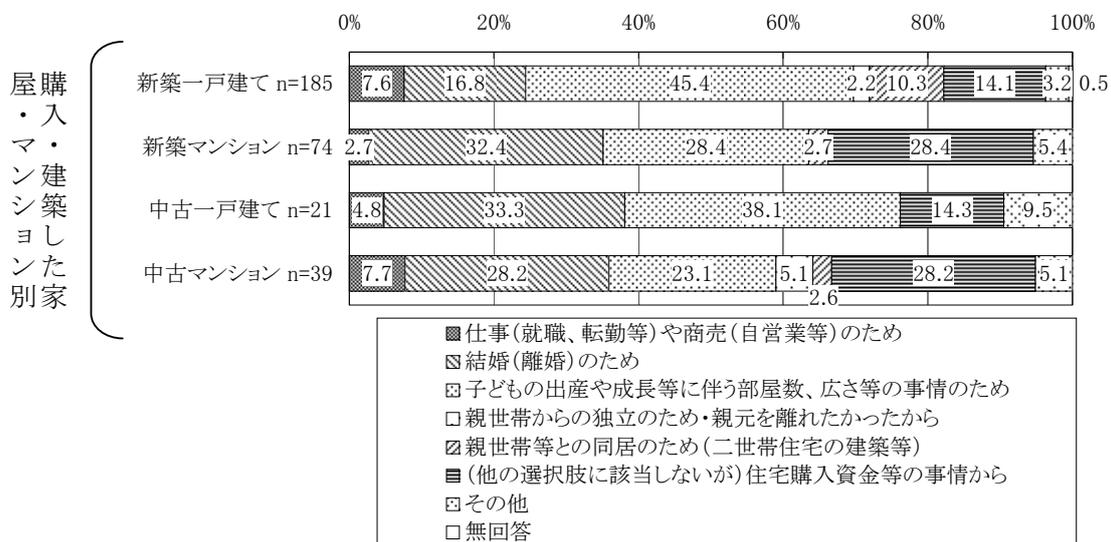
区別でみると、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」の比率は、緑区（41.9%）や南区（40.9%）で高くなっています。

職業別でみると、会社員や専業主婦・主夫の場合、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」の比率が高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

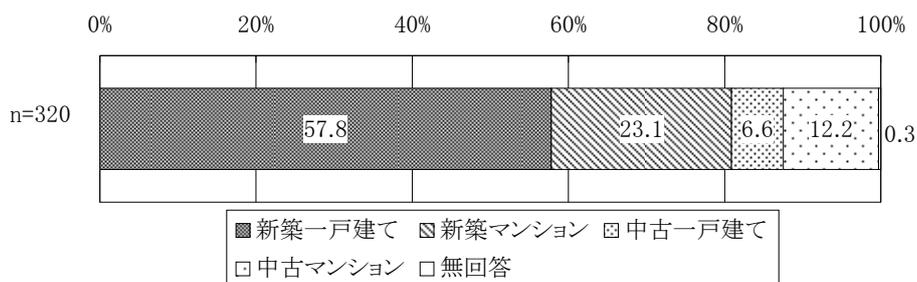
購入・建築した家屋・マンション別でみると、「新築一戸建て」や「中古一戸建て」の場合では、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」の比率が最も高くなっています。「新築マンション」や「中古マンション」の場合では、「結婚（離婚）のため」の比率が最も高く、「（他の選択肢に該当しないが）住宅購入資金等の事情から」の比率も高くなっています。



(3) 購入・建築した家屋・マンション

問26 あなたが購入・建築した家屋・マンションは次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

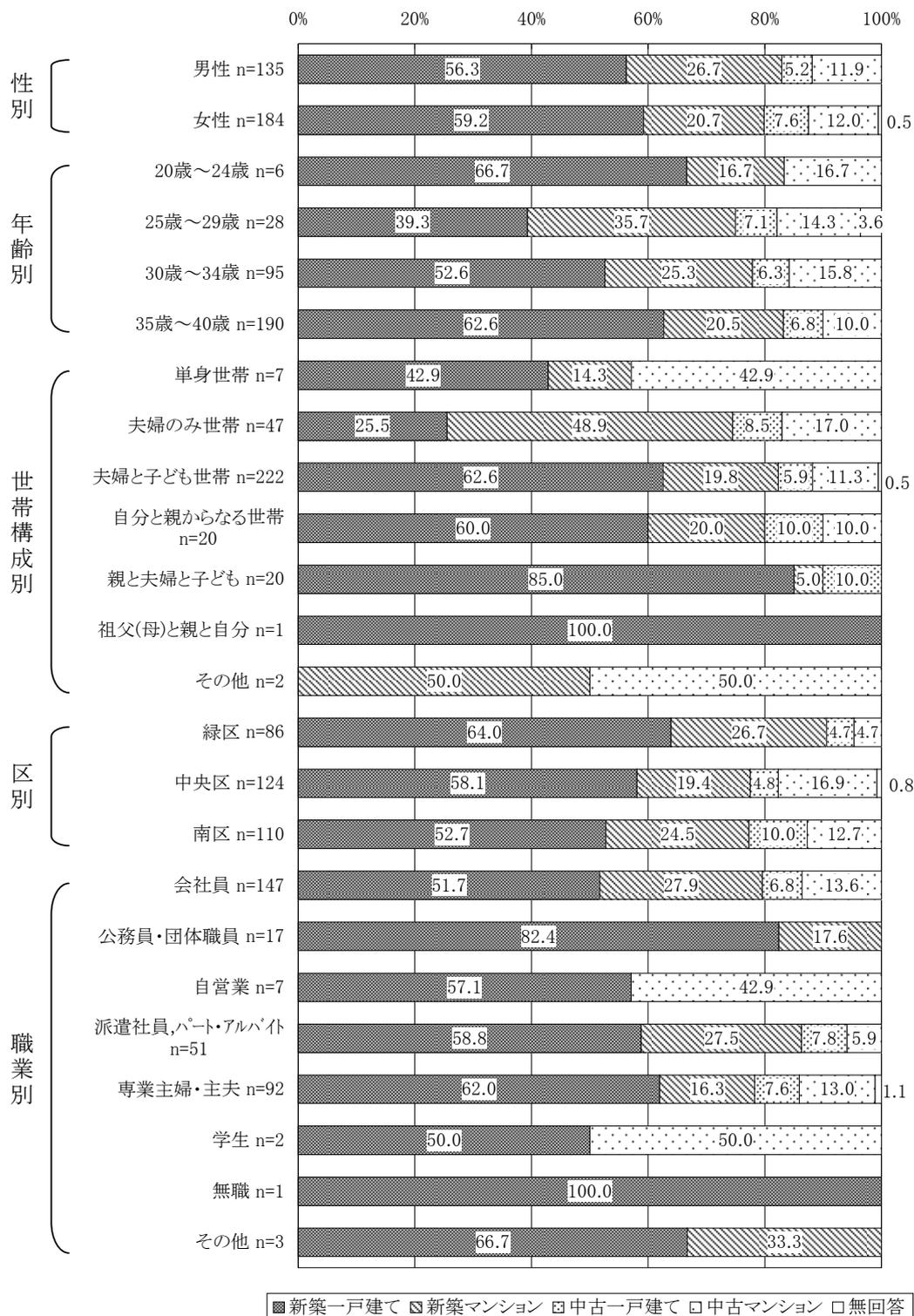
購入・建築した家屋・マンションについて聞いた結果、「新築一戸建て」(57.8%)、「新築マンション」(23.1%)、「中古一戸建て」(6.6%)、「中古マンション」(12.2%)となっています。



○クロス集計

性別でみると、「新築マンション」で、「男性」(26.7%)が「女性」(20.7%)を上回っています。
 年齢別でみると、「新築一戸建て」の比率は、年齢があがるほど高くなっています。

区別でみると、「新築一戸建て」の比率は、上位から「緑区」(64.0%)、「中央区」(58.1%)、「南区」(52.7%)の順となっています。

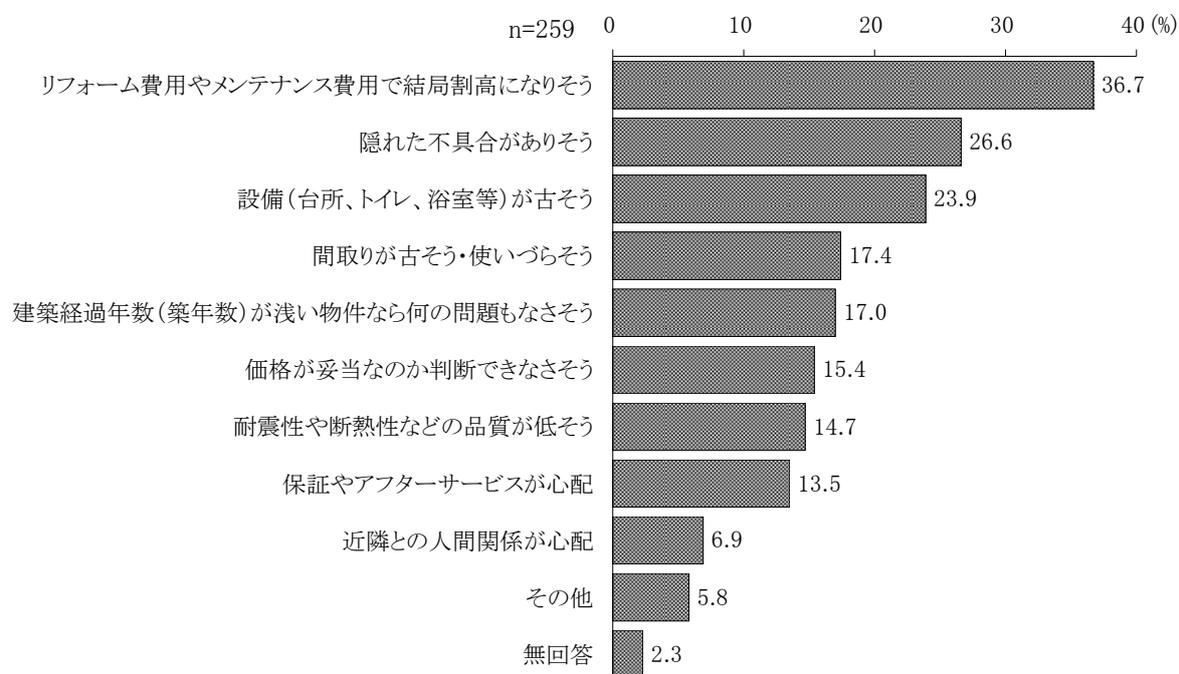


(4) 中古住宅のイメージ

(問26で「1. 新築一戸建て」「2. 新築マンション」に○を付けた方だけの限定質問)

問27 中古住宅のイメージはどのようなものですか。(○は2つまで)

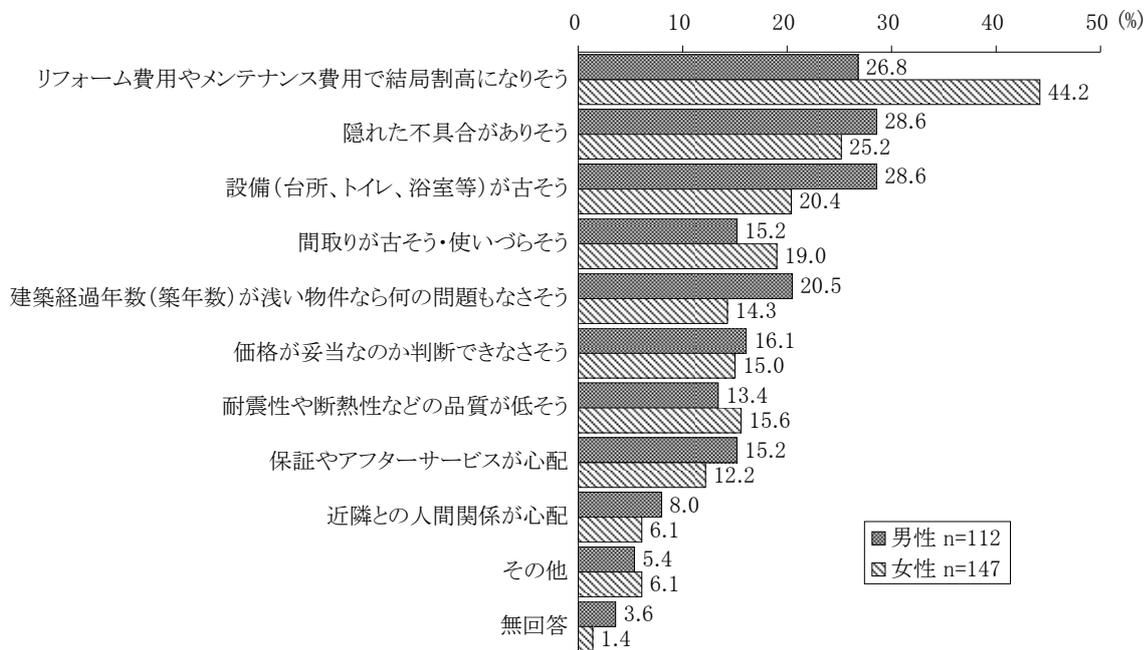
中古住宅のイメージについて聞いた結果、「リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になりそう」(36.7%)、「隠れた不具合がありそう」(26.6%)、「設備(台所、トイレ、浴室等)が古そう」(23.9%)、「間取りが古そう・使いづらそう」(17.4%)、「建築経過年数(築年数)が浅い物件なら何の問題もなさそう」(17.0%)、「価格が妥当なのか判断できなさそう」(15.4%)、「耐震性や断熱性などの品質が低そう」(14.7%)、「保証やアフターサービスが心配」(13.5%)、「近隣との人間関係が心配」(6.9%)となっています。



○クロス集計

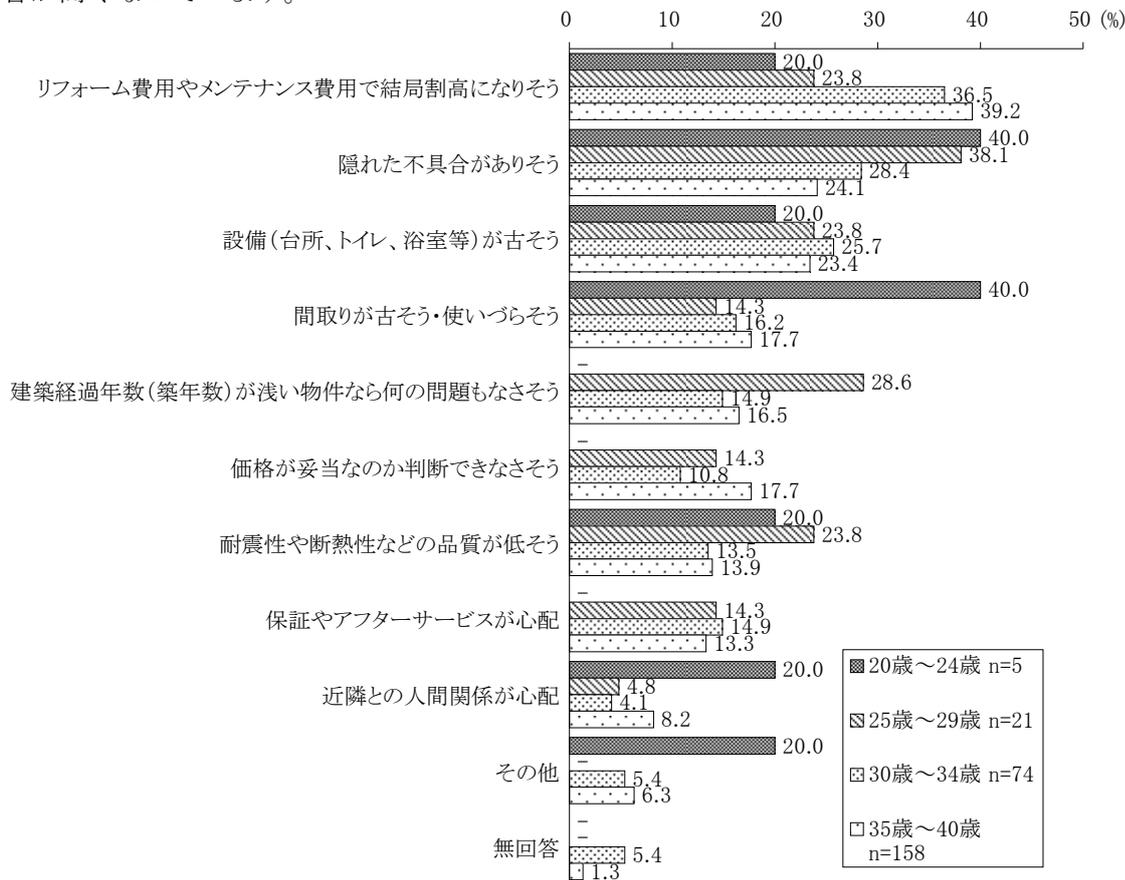
【性別】

性別でみると、男女差の大きい項目として「リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になりそう」があげられ、「女性」が「男性」より17ポイント上回っています。



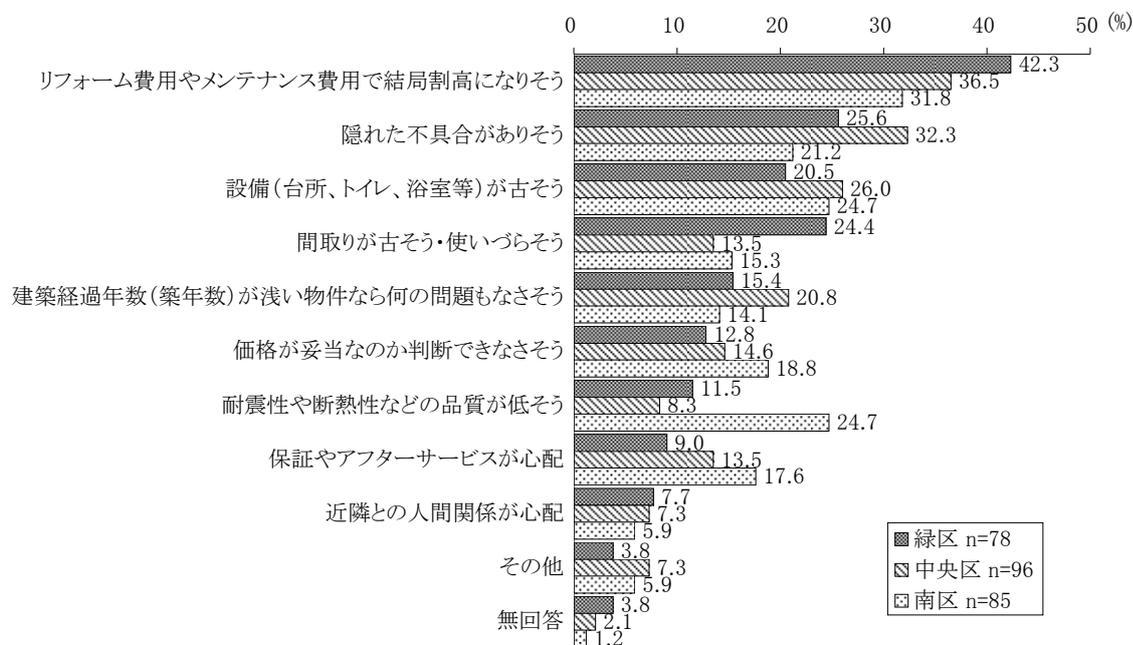
【年齢別】

年齢別でみると、「リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になりそう」では、年齢が上がるほど、その割合も高くなっており、また、「隠れた不具合がありそう」では、年齢が下がるほど、その割合が高くなっています。



【区別】

区別でみると、「リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になりそう」では「緑区」が最も高く、「隠れた不具合がありそう」では「中央区」が最も高くなっています。また、「価格が妥当なのか判断できなさそう」と「耐震性や断熱性などの品質が低そう」、「保証やアフターサービスが心配」では「南区」が高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【世帯構成別・職業別】

(%)

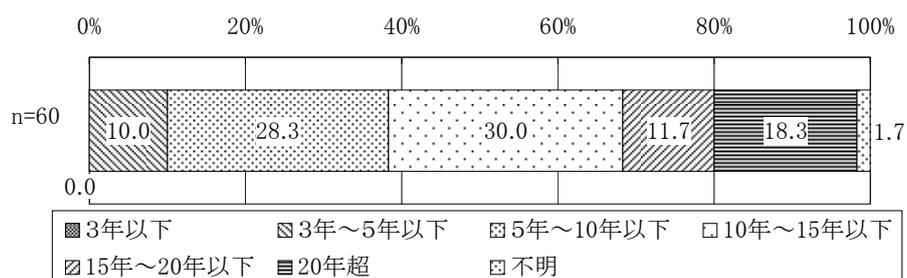
		回答者数(人)	リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になりそう	隠れた不具合がありそう	設備(台所、トイレ、浴室等)が古そう	間取りが古そう・使いづらそう	建築経過年数(築年数)が浅い物件なら何の問題もなさそう	価格が妥当なのか判断できなさそう	耐震性や断熱性などの品質が低そう	保証やアフターサービスが心配	近隣との人間関係が心配	その他	無回答
全 体		259	36.7	26.6	23.9	17.4	17.0	15.4	14.7	13.5	6.9	5.8	2.3
問4 世帯構成別	単身世帯	4	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	夫婦のみ世帯	35	28.6	25.7	37.1	22.9	5.7	11.4	22.9	8.6	5.7	8.6	2.9
	夫婦と子ども世帯	183	37.2	27.9	21.3	15.8	19.1	17.5	13.7	13.7	7.7	6.0	2.2
	自分と親からなる世帯	16	31.3	25.0	18.8	6.3	31.3	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3
	親と夫婦(自分)と子ども	18	50.0	16.7	27.8	27.8	-	16.7	22.2	16.7	5.6	-	-
	祖父(母)と親と自分	1	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
問7 職業別	会社員	117	29.1	29.1	27.4	17.9	21.4	12.8	9.4	13.7	6.8	7.7	2.6
	公務員・団体職員	17	29.4	23.5	35.3	17.6	11.8	17.6	29.4	11.8	-	5.9	-
	自営業(自由業・農業を含む)	4	25.0	-	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	派遣社員、パート・アルバイト	44	43.2	27.3	25.0	9.1	20.5	9.1	18.2	13.6	11.4	4.5	2.3
	専業主婦・主夫	72	47.2	23.6	15.3	19.4	8.3	23.6	16.7	15.3	5.6	2.8	2.8
	学生	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無職	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-

(5) 購入当時の中古住宅の建築経過年数

(問26で「3. 中古一戸建て」「4. 中古マンション」に○を付けた方だけの限定質問)

問28 購入当時の中古住宅の建築経過年数(築年数)はどれくらいでしたか？(○は1つ)

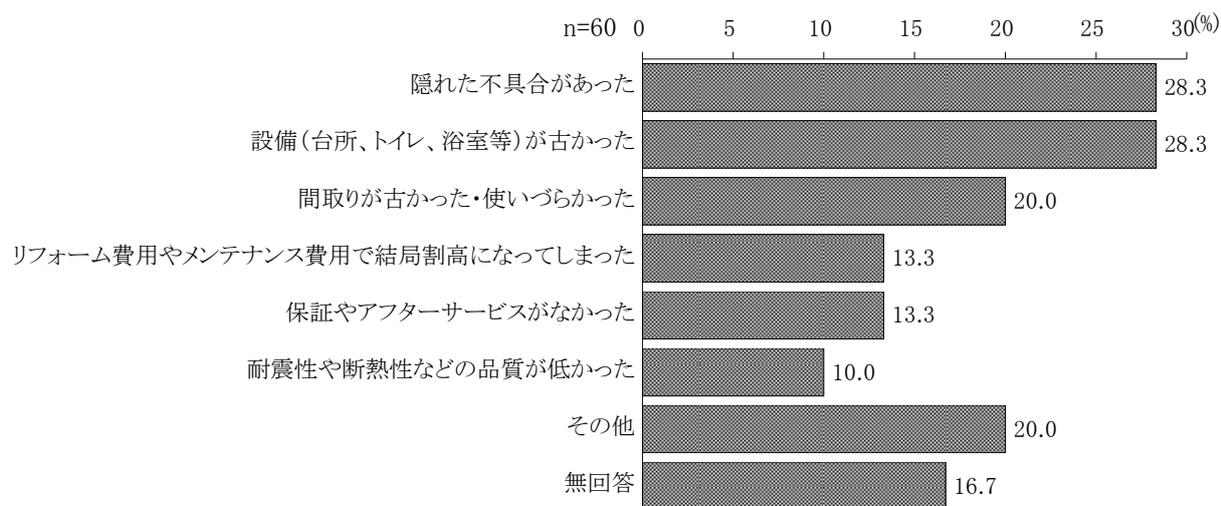
購入当時の中古住宅の建築経過年数について聞いた結果、「3年以下」(0.0%)、「3年～5年以下」(10.0%)、「5年～10年以下」(28.3%)、「10年～15年以下」(30.0%)、「15年～20年以下」(11.7%)、「20年超」(18.3%)、「不明」(1.7%)となっています。



(6) 購入した中古住宅に関する評価

問29 購入した中古住宅に関する評価はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

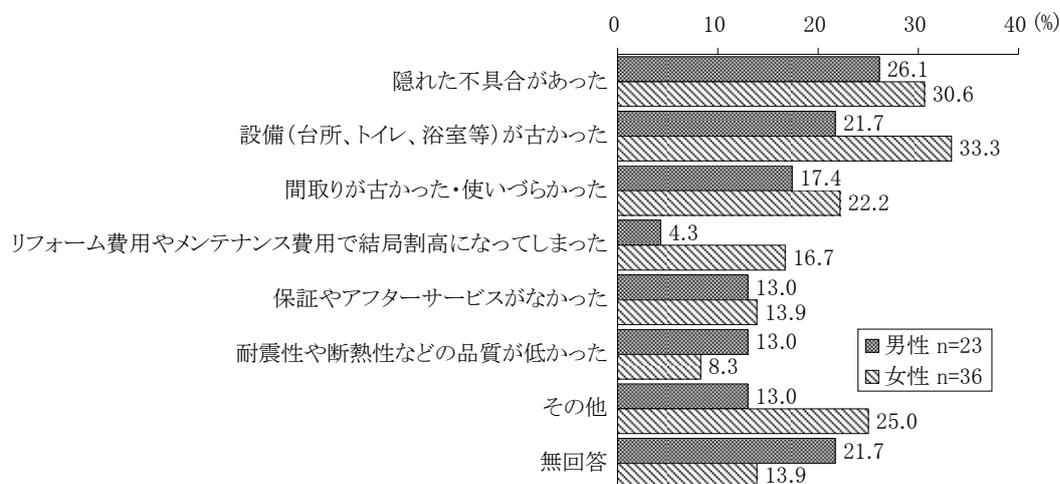
購入した中古住宅に関する評価について聞いた結果、「隠れた不具合があった」(28.3%)、「設備(台所、トイレ、浴室等)が古かった」(28.3%)、「間取りが古かった・使いづらかった」(20.0%)、「リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になってしまった」(13.3%)、「保証やアフターサービスがなかった」(13.3%)、「耐震性や断熱性などの品質が低かった」(10.0%)となっています。



○クロス集計

【性別】

性別でみると、ほぼすべての選択肢で「女性」が「男性」を上回っています。



【購入当時の中古住宅の建築経過年数別】

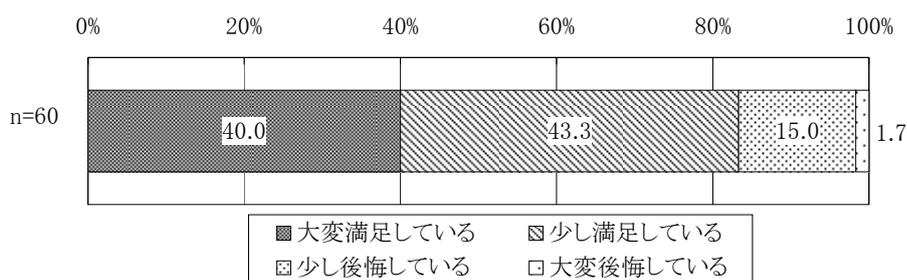
(%)

		回答者数(人)	隠れた不具合があった	設備(台所、トイレ、浴室等)が古かった	間取りが古かった・使いづらかった	リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になってしまった	保証やアフターサービスがなかった	耐震性や断熱性などの品質が低かった	その他	無回答
全体		60	28.3	28.3	20.0	13.3	13.3	10.0	20.0	16.7
問28 購入当時の中古住宅の建築経過年数別	3年以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	3年～5年以下	6	33.3	16.7	-	-	50.0	33.3	-	50.0
	5年～10年以下	17	35.3	17.6	29.4	5.9	11.8	5.9	23.5	11.8
	10年～15年以下	18	44.4	22.2	16.7	5.6	-	11.1	27.8	16.7
	15年～20年以下	7	-	42.9	-	28.6	-	14.3	-	28.6
	20年超	11	9.1	54.5	27.3	36.4	27.3	-	27.3	-
	不明	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-

(7) 中古住宅を購入し、住んでみた満足度

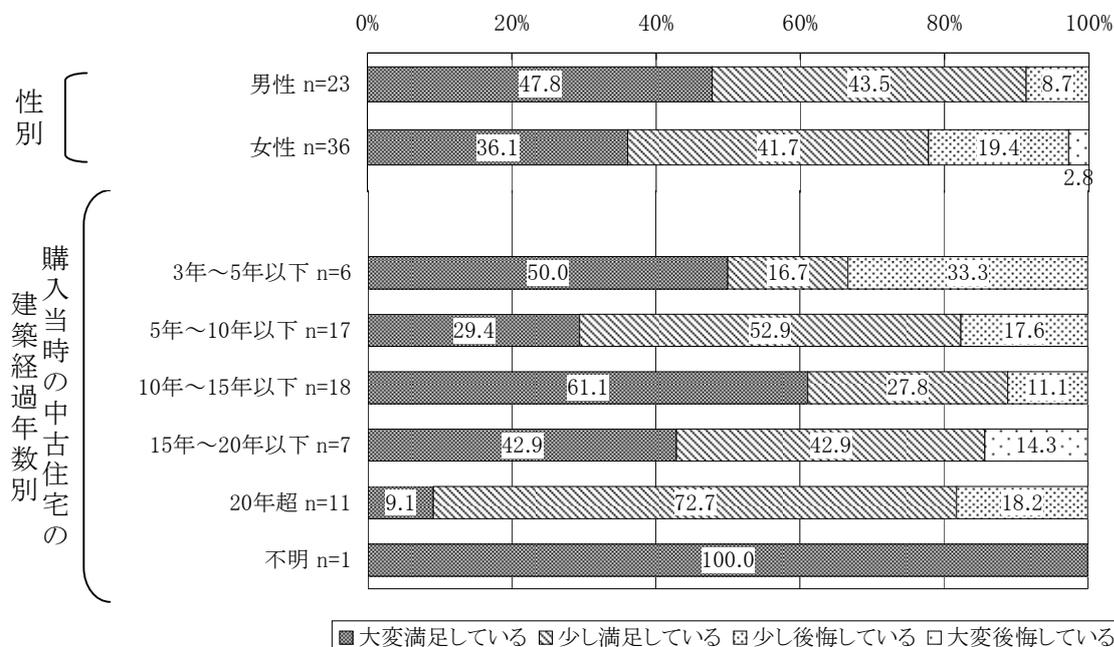
問30 中古住宅を購入し、住んでみた満足度はどのようなものですか。(○は1つ) 理由もお聞かせください。

中古住宅を購入し、住んでみた満足度について聞いた結果、「大変満足している」(40.0%)、「少し満足している」(43.3%)、「少し後悔している」(15.0%)、「大変後悔している」(1.7%)となっています。



○クロス集計

性別でみると、満足(「大変満足している」「少し満足している」をあわせた割合)の比率は、「男性」(91.3%)が「女性」(77.8%)を上回っています。



○理由（主なもの）

1 大変満足している人の理由

- ・価格は安く、使い勝手も良く、駐車場スペースが2台あること。
- ・都心に比べ、安く購入できたので満足しています。
- ・駅から近い。管理がしっかりしてキレイ。
- ・築浅物件だったこととリフォーム済みで購入したので新築のような感じです。
- ・駅から近く、買い物も行きやすい。中古でも特に住みづらい面も無く暮らしやすいから。
- ・購入価格の割に住みやすいし、管理がしっかりしている。
- ・ペットが居るため新築よりも神経質にならなくて良い。
- ・エアコン、カーテン、証明、家具の一部を前の住人から譲っていただき割安感があつた。築五年であるが十分キレイでとても満足している。
- ・新築マンションを買って高くつくなら中古（でも、とてもキレイ）のマンションを買った方が得。最近の新築マンションは作りがイマイチで、壁も床もしっかりしていなくて残念。
- ・一流ハウスメーカーの築浅物件を格安で手に入れられた。
- ・新築より安く良い場所を選べた。

2 少し満足している人の理由

- ・躯体そのものが丈夫だったので、中を少し改装するのにお金はかかったが満足している。
- ・買い物、駅からの距離については大変満足。
- ・税制のメリットを受けられない（年式が古い為）のには大変不満。
- ・値段の割には良かった。
- ・日当たり最高。でも水まわりは床もふくめ、ガタが早くきてビックリした。
- ・設備は良いが、間取りが使いづらかった。
- ・間取りは狭いが、今の所はこの広さで問題ない為。
- ・小さい子供が床などを傷つけてもあまり気にならない。
- ・リフォームで好きなようにできたから。
- ・中古住宅故に気兼ねなく使えるし、特別古くもなく割りと快適に過ごせる。

3 少し後悔している人の理由

- ・中古のほうが新築より価格設定が割高。
- ・もともと土地に古い家がついていて建てかえるつもりで購入しました。
- ・不具合が多い。
- ・駅まで思ったより遠かった。
- ・子どもが出来たらせまかった。
- ・キレイな方のマンションだと思うが、部屋が狭くて残念。

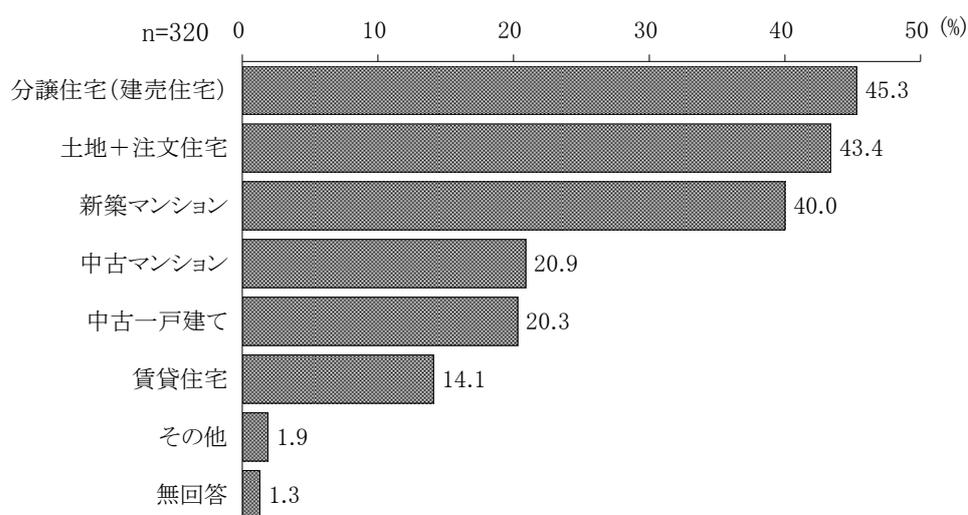
4 大変後悔している人の理由

- ・駅から遠い。

(8) 選択肢として検討した住宅の種類

問3 1 現在のお住まいを購入・建築する前に、どの種類の住宅を選択肢として検討しましたか。(あてはまるものすべてに○)

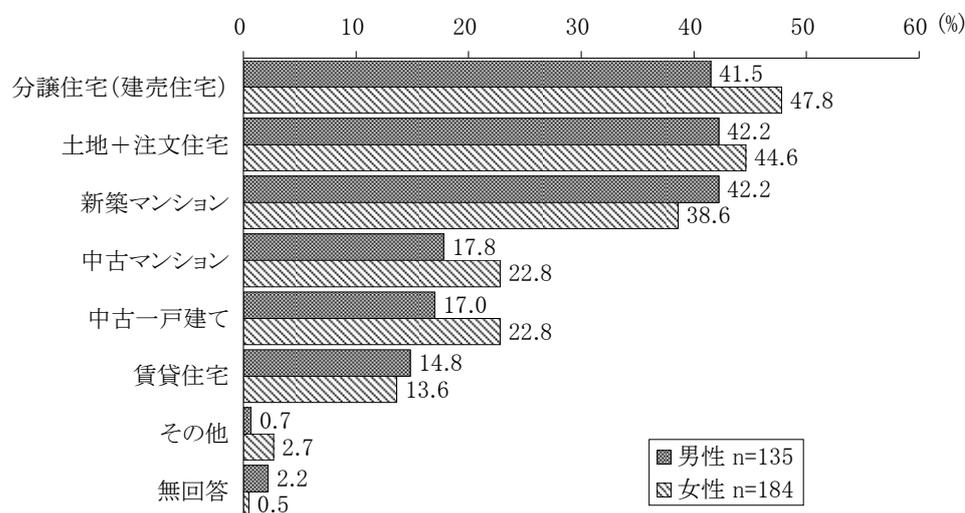
選択肢として検討した住宅の種類について聞いた結果、「分譲住宅（建売住宅）」(45.3%)、「土地+注文住宅」(43.4%)、「新築マンション」(40.0%)、「中古マンション」(20.9%)、「中古一戸建て」(20.3%)、「賃貸住宅」(14.1%)となっています。



○クロス集計

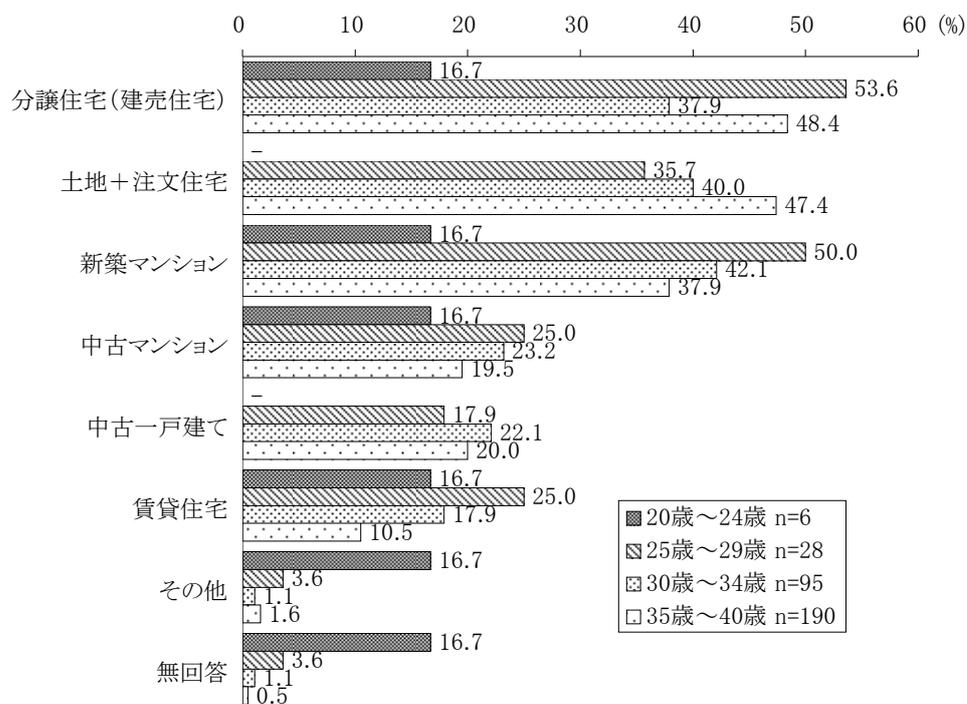
【性別】

性別で見ると、「新築マンション」「賃貸住宅」を除き、多くの選択肢で「女性」が「男性」を上回っています。



【年齢別】

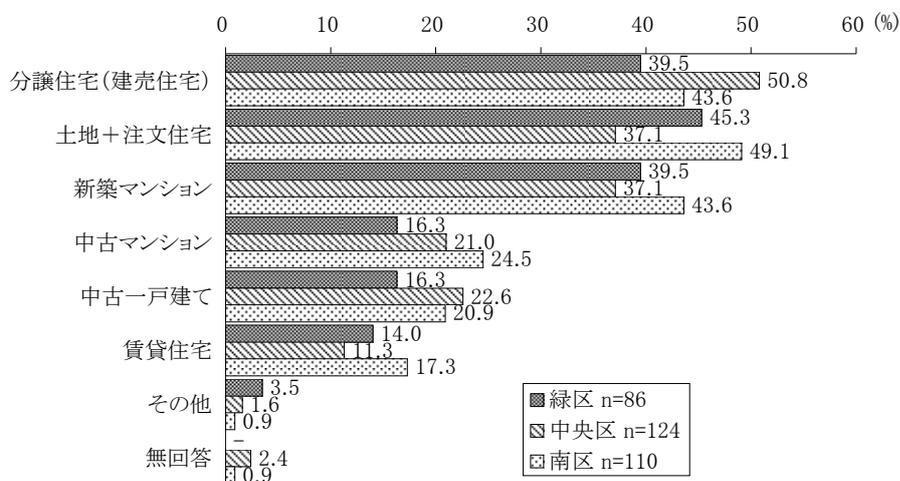
年齢別で見ると、「25歳～29歳」の場合では、「分譲住宅（建売住宅）」（53.6%）や「新築マンション」（50.0%）の比率が高く、「35歳～40歳」の場合では、「分譲住宅（建売住宅）」（48.4%）や「土地+注文住宅」（47.4%）の比率が高くなっています。また、「土地+注文住宅」（47.4%）の比率は、年齢があがるほど、高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

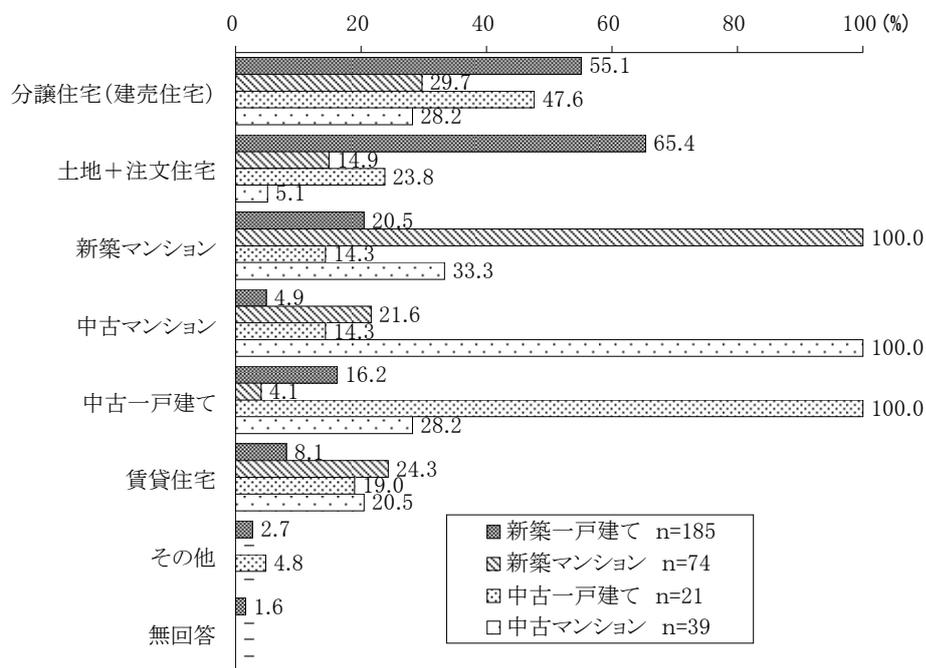
【区別】

区別でみると、「緑区」や「南区」の場合では、「土地+注文住宅」（それぞれ45.3%、49.1%）の比率が高く、「中央区」の場合では「分譲住宅（建売住宅）」（50.8%）の比率が高くなっています。



【購入・建築した家屋・マンション別】

購入・建築した家屋・マンション別でみると、「新築一戸建て」を購入した人の20.5%が「新築マンション」も1つの選択肢としていたのに対し、「新築マンション」を購入した人の29.7%が「分譲住宅（建売住宅）」も1つの選択肢としていました。



【世帯構成別・職業別】

世帯構成別でみると、「分譲住宅（建売住宅）」では「夫婦と子ども世帯」、「土地＋注文住宅」では「親と夫婦（自分）と子ども」が、「新築マンション」と「中古マンション」では「夫婦のみ世帯」がそれぞれ高くなっています。

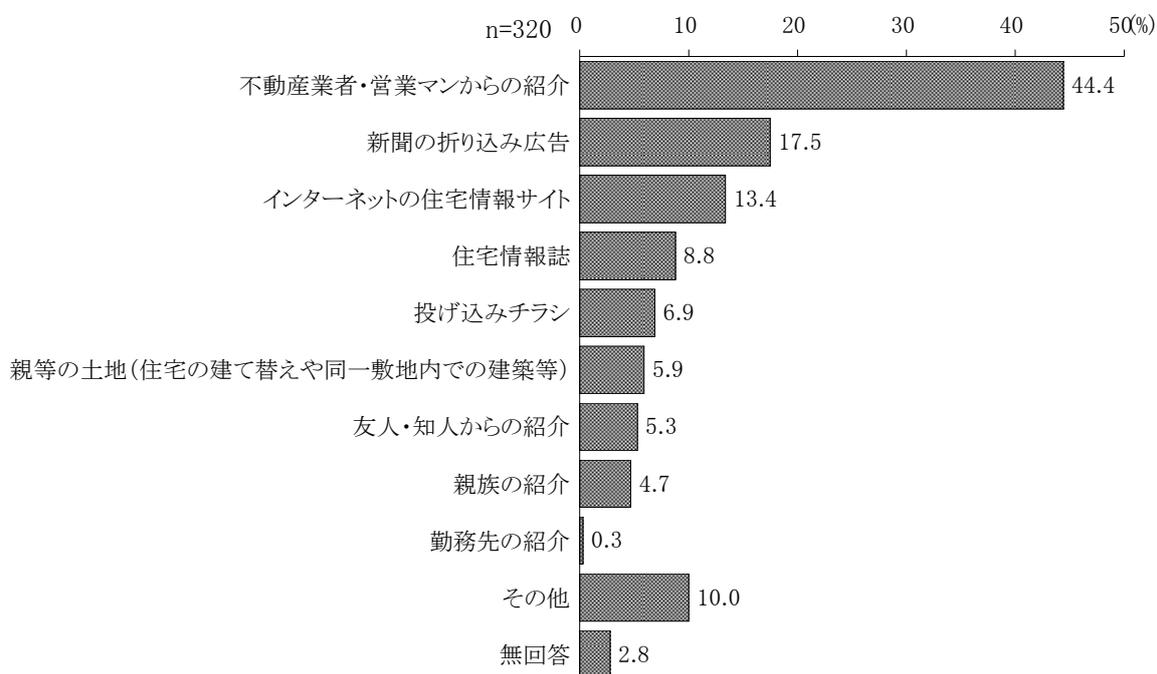
(%)

		回答者数(人)	土地＋注文住宅	分譲住宅(建売住宅)	新築マンション	中古一戸建て	中古マンション	賃貸住宅	その他	無回答
全 体		320	43.4	45.3	40.0	20.3	20.9	14.1	1.9	1.3
問 4 世 帯 構 成 別	単身世帯	7	-	42.9	28.6	14.3	57.1	14.3	-	-
	夫婦のみ世帯	47	21.3	36.2	63.8	23.4	31.9	21.3	-	-
	夫婦と子ども世帯	222	49.5	50.5	39.2	20.3	18.5	13.1	1.4	0.5
	自分と親からなる世帯	20	25.0	25.0	20.0	15.0	20.0	20.0	10.0	10.0
	親と夫婦（自分）と子ども	20	65.0	35.0	20.0	25.0	10.0	5.0	5.0	5.0
	祖父（母）と親と自分	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
問 7 職 業 別	会社員	147	39.5	44.9	41.5	19.0	19.7	16.3	0.7	0.7
	公務員・団体職員	17	82.4	35.3	29.4	17.6	11.8	5.9	-	-
	自営業（自由業・農業を含む）	7	28.6	57.1	28.6	14.3	42.9	14.3	-	-
	派遣社員、パート・アルバイト	51	39.2	43.1	41.2	27.5	17.6	9.8	3.9	2.0
	専業主婦・主夫	92	48.9	48.9	40.2	18.5	25.0	14.1	2.2	1.1
	学生	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	無職	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他	3	-	66.7	66.7	66.7	-	33.3	-	-

(9) 購入した土地やマンションを知ったきっかけ

問32 あなたが購入した土地やマンションを知ったきっかけはどれですか。住宅メーカーを知ったきっかけではなく、場所（立地）についてお答えください。（〇は2つまで）

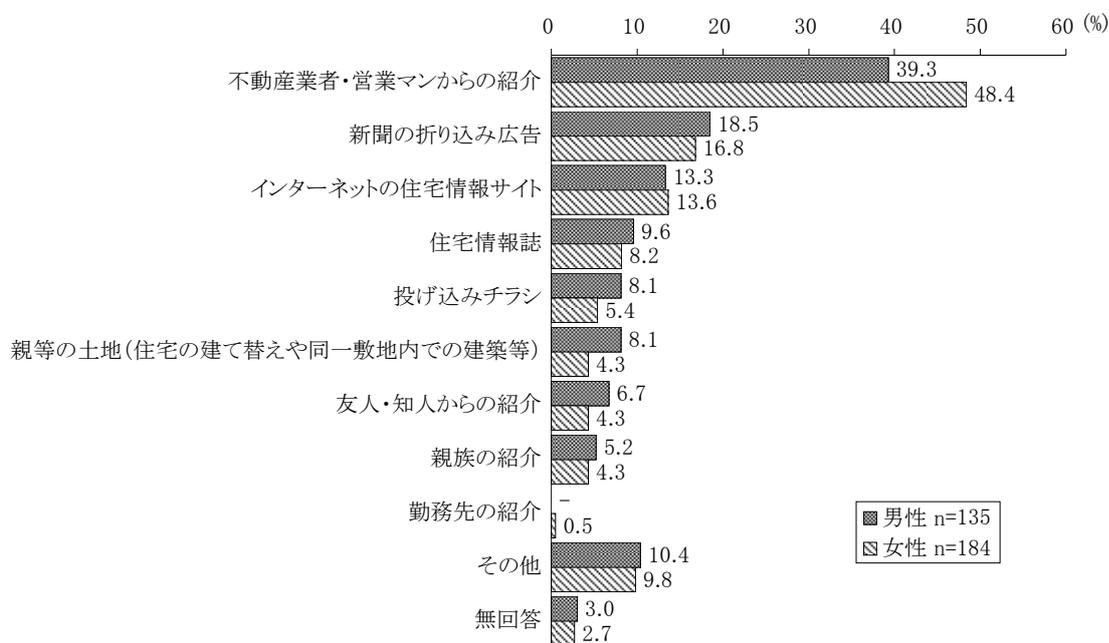
購入した土地やマンションを知ったきっかけについて聞いた結果、「不動産業者・営業マンからの紹介」(44.4%)、「新聞の折り込み広告」(17.5%)、「インターネットの住宅情報サイト」(13.4%)、「住宅情報誌」(8.8%)、「投げ込みチラシ」(6.9%)、「親等の土地（住宅の建て替えや同一敷地内での建築等）」(5.9%)、「友人・知人からの紹介」(5.3%)、「親族の紹介」(4.7%)、「勤務先の紹介」(0.3%)となっています。



○クロス集計

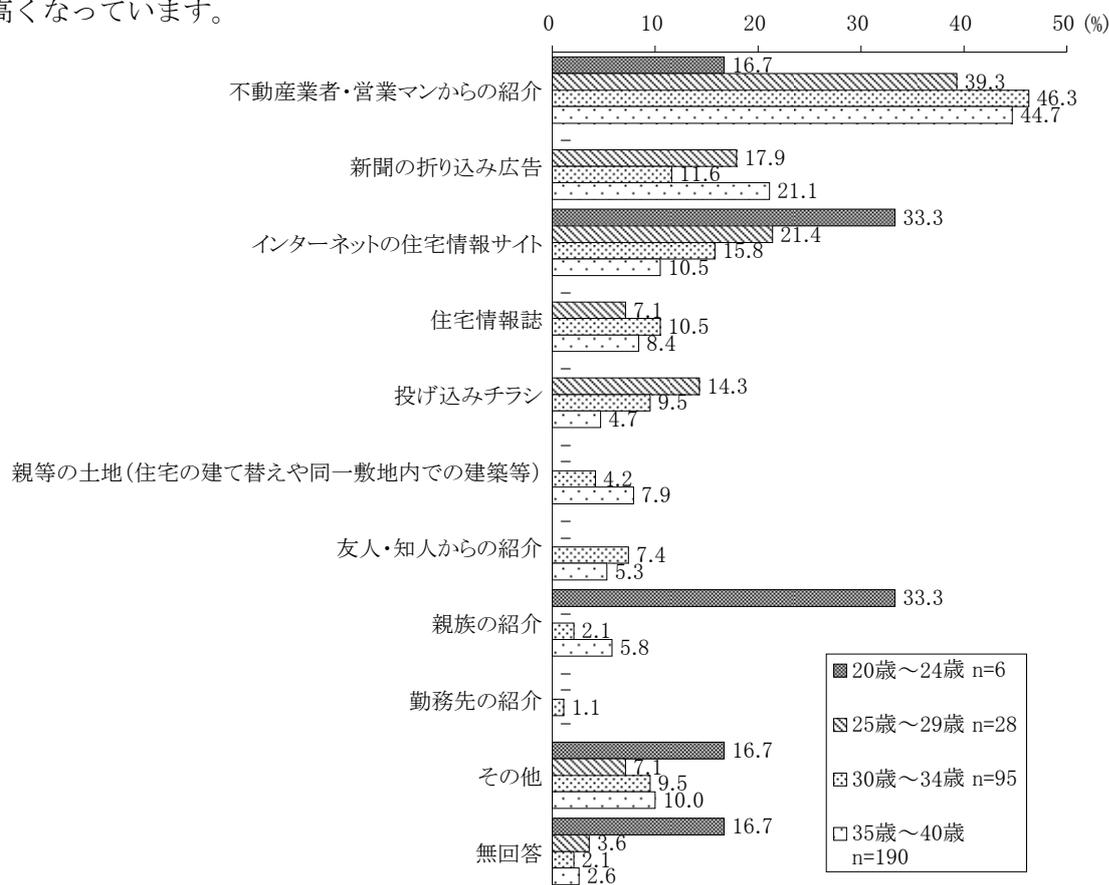
【性別】

性別でみると、男女差の大きい項目として「不動産業者・営業マンからの紹介」があげられ、「女性」が「男性」より9ポイント上回っています。



【年齢別】

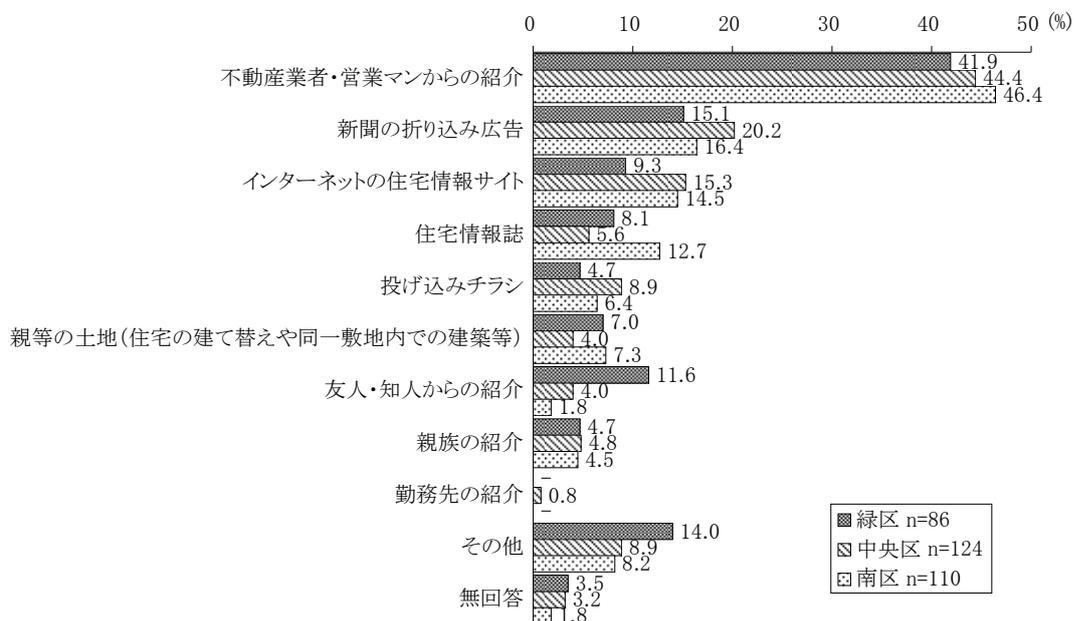
年齢別でみると、「不動産業者・営業マンからの紹介」では、20代に比べて、「30歳～40歳」のほうが高くなっています。一方、「インターネットの住宅情報サイト」では、年齢が下がるほど、その割合が高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

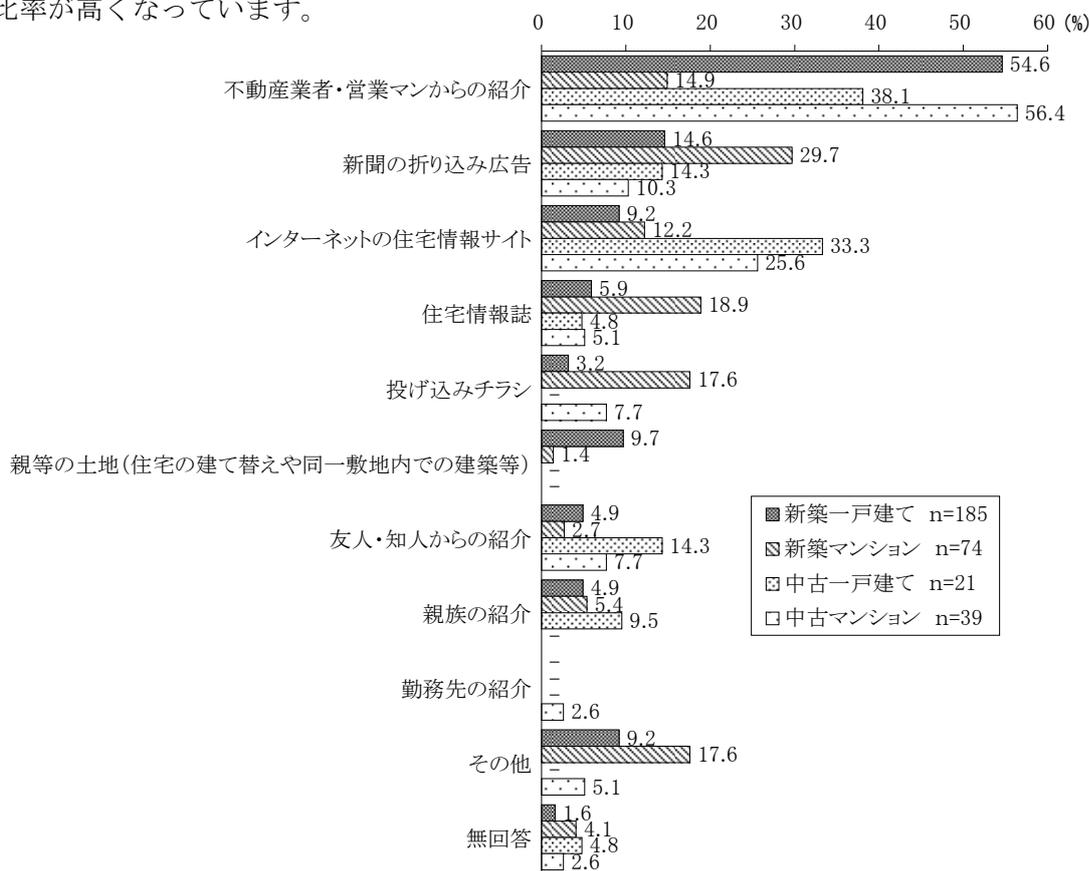
【区別】

区別でみると、「不動産業者・営業マンからの紹介」では全ての区で4割台となっています。また、「住宅情報誌」では「南区」が、「友人・知人からの紹介」では「緑区」が高くなっています。



【購入・建築した家屋・マンション別】

購入・建築した家屋・マンション別でみると、「新築一戸建て」や「中古マンション」の場合では「不動産業者・営業マンからの紹介」(それぞれ54.6%、56.4%)の比率が非常に高く、5割を超えています。また、「新築マンション」の場合では「新聞の折り込み広告」(29.7%)、「中古一戸建て」の場合では「不動産業者・営業マンからの紹介」(38.1%)や「インターネットの住宅情報サイト」(33.3%)の比率が高くなっています。



【世帯構成別・職業別】

世帯構成別で見ると、「不動産業者・営業マンからの紹介」で、最も比率が高かったのは、「夫婦と子ども世帯」(46.8%)で、「住宅情報誌」では「夫婦のみ世帯」が高くなっています。

(%)

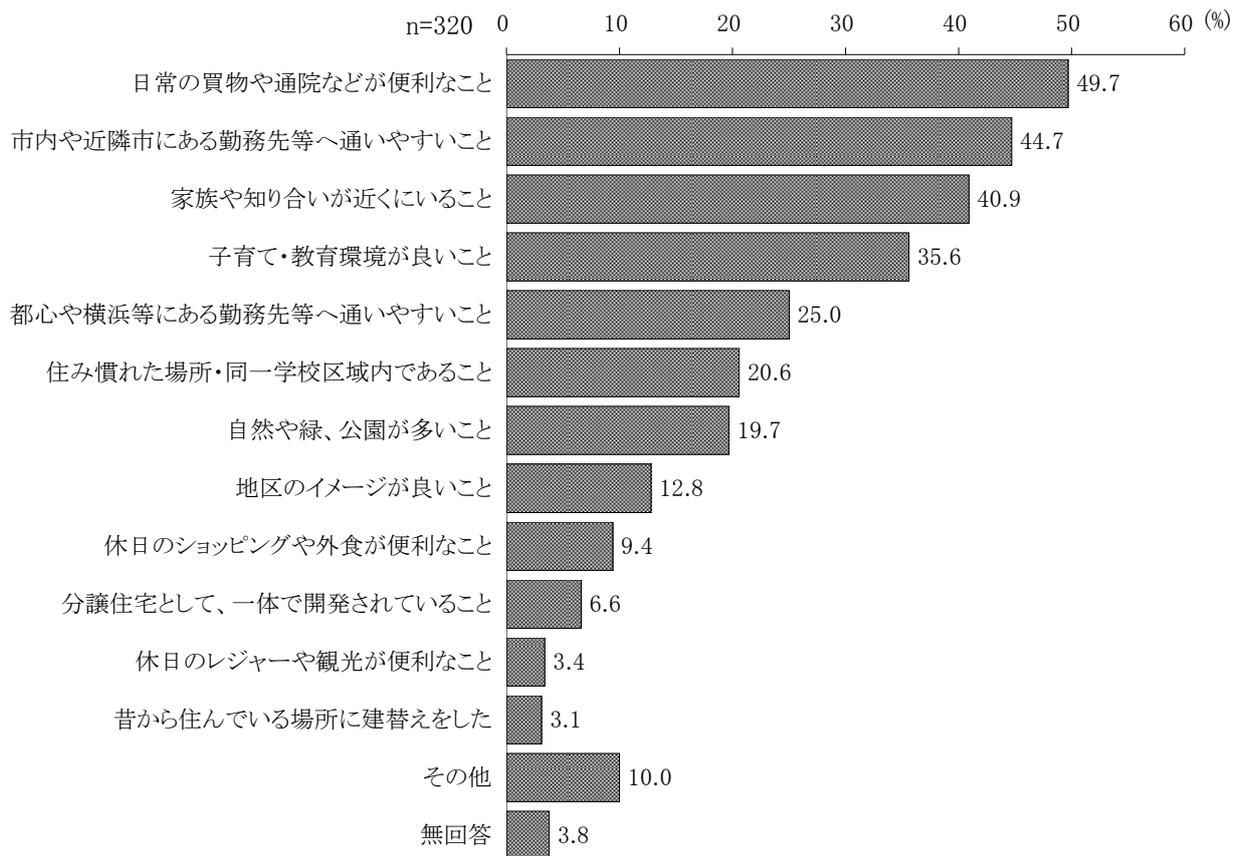
		回答者数(人)	不動産業者・営業マンからの紹介	新聞の折り込み広告	インターネットの住宅情報サイト	住宅情報誌	投げ込みチラシ	親等の土地(住宅の建て替えや同一敷地内での建築等)	友人・知人からの紹介	親族の紹介	勤務先の紹介	その他	無回答	
全 体		320	44.4	17.5	13.4	8.8	6.9	5.9	5.3	4.7	0.3	10.0	2.8	
問4 世帯構成別	単身世帯	7	28.6	28.6	28.6	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	
	夫婦のみ世帯	47	44.7	8.5	17.0	25.5	6.4	-	-	2.1	-	10.6	2.1	
	夫婦と子ども世帯	222	46.8	18.9	13.5	6.3	7.7	4.1	6.3	4.5	0.5	10.8	2.3	
	自分と親からなる世帯	20	30.0	25.0	10.0	5.0	5.0	-	10.0	10.0	-	10.0	10.0	
	親と夫婦(自分)と子ども	20	30.0	15.0	5.0	5.0	-	50.0	-	5.0	-	-	5.0	
	祖父(母)と親と自分	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	その他	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
問7 職業別	会社員	147	45.6	16.3	13.6	8.8	8.8	5.4	6.8	4.8	-	11.6	1.4	
	公務員・団体職員	17	17.6	23.5	23.5	17.6	-	17.6	5.9	-	-	5.9	-	
	自営業(自由業・農業を含む)	7	42.9	28.6	-	-	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	
	派遣社員、パート・アルバイト	51	43.1	19.6	11.8	13.7	3.9	3.9	3.9	7.8	-	11.8	5.9	
	専業主婦・主夫	92	48.9	15.2	13.0	5.4	6.5	5.4	3.3	4.3	1.1	8.7	3.3	
	学生	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	無職	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(10) 住まいの場所を選ぶ際に重視したもの

問33 あなたがお住まいの場所を選ぶ際に、重視したものを優先順位の高いものから順に3つ選び、下の枠内（第1～3位）に番号（1～13のいずれか）をご記入ください。なお、購入価格に関することについては順位から除いてお考えください。（番号に○は付けしないでください）

住まいの場所を選ぶ際に重視したものについて聞いた結果、「日常の買物や通院などが便利なこと」（49.7%）、「市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと」（44.7%）、「家族や知り合いが近くにいること」（40.9%）、「子育て・教育環境が良いこと」（35.6%）、「都心や横浜等にある勤務先等へ通いやすいこと」（25.0%）、「住み慣れた場所・同一学校区域内であること」（20.6%）、「自然や緑、公園が多いこと」（19.7%）、「地区のイメージが良いこと」（12.8%）、「休日のショッピングや外食が便利なこと」（9.4%）、「分譲住宅として、一体で開発されていること」（6.6%）、「休日のレジャーや観光が便利なこと」（3.4%）、「昔から住んでいる場所に建替えをした」（3.1%）となっています。

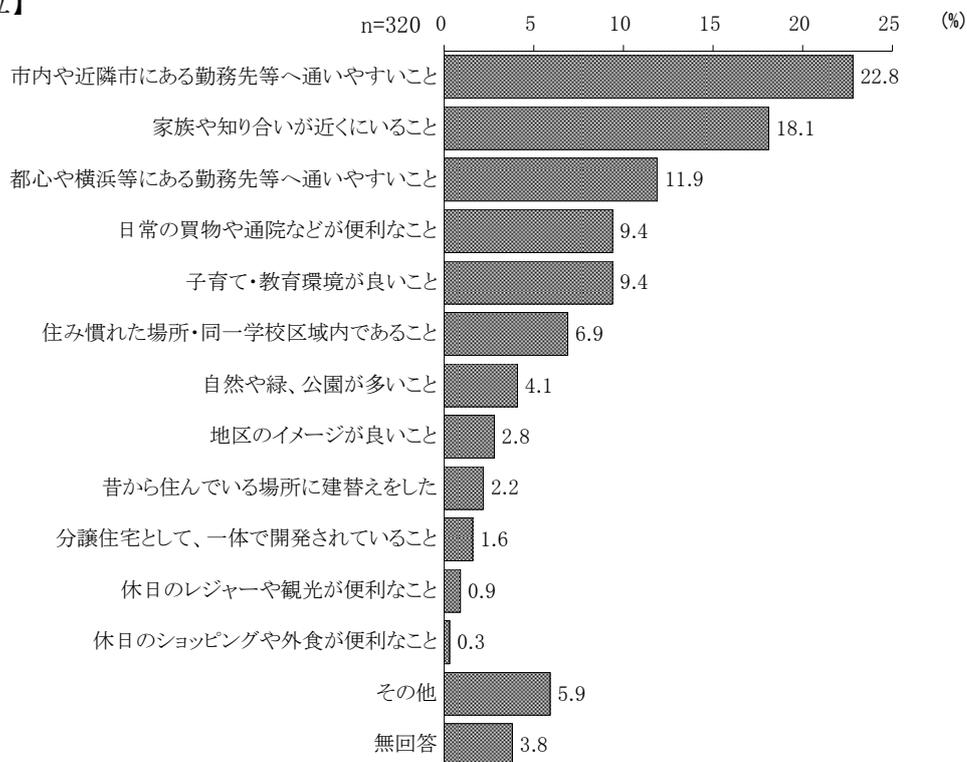
【3つまでのマルチアンサーとして集計】



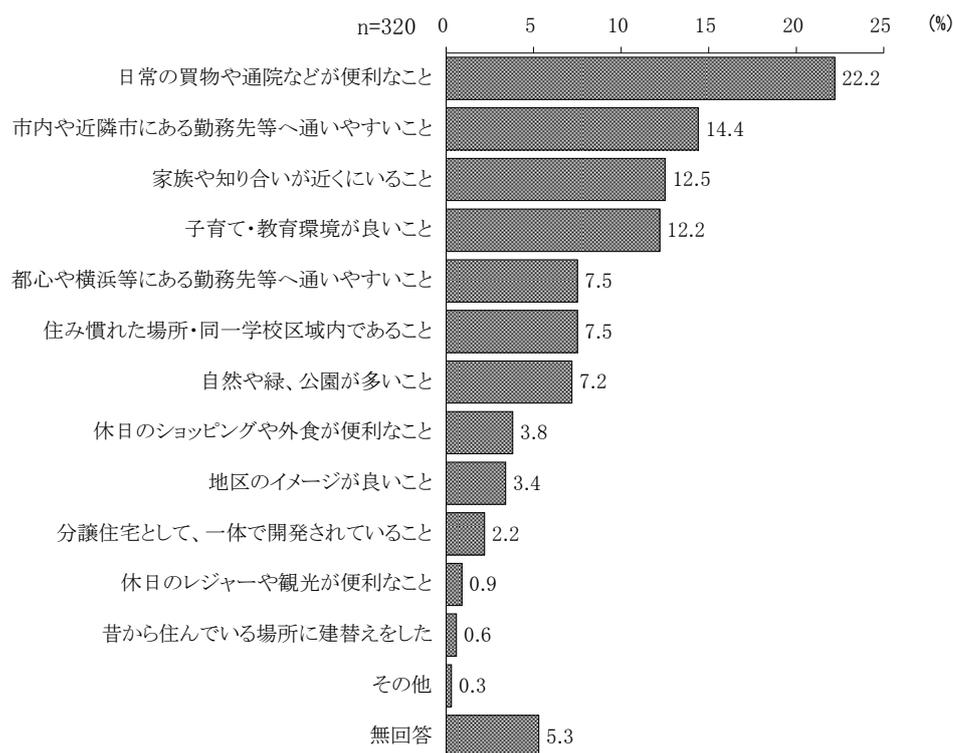
1番重視したものの比率では、「市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと」(22.8%)が最も高くなっています。

2番目、3番目に重視したものの比率では、ともに「日常の買物や通院などが便利なこと」(それぞれ22.2%、18.1%)が最も高くなっています。

【第1位】

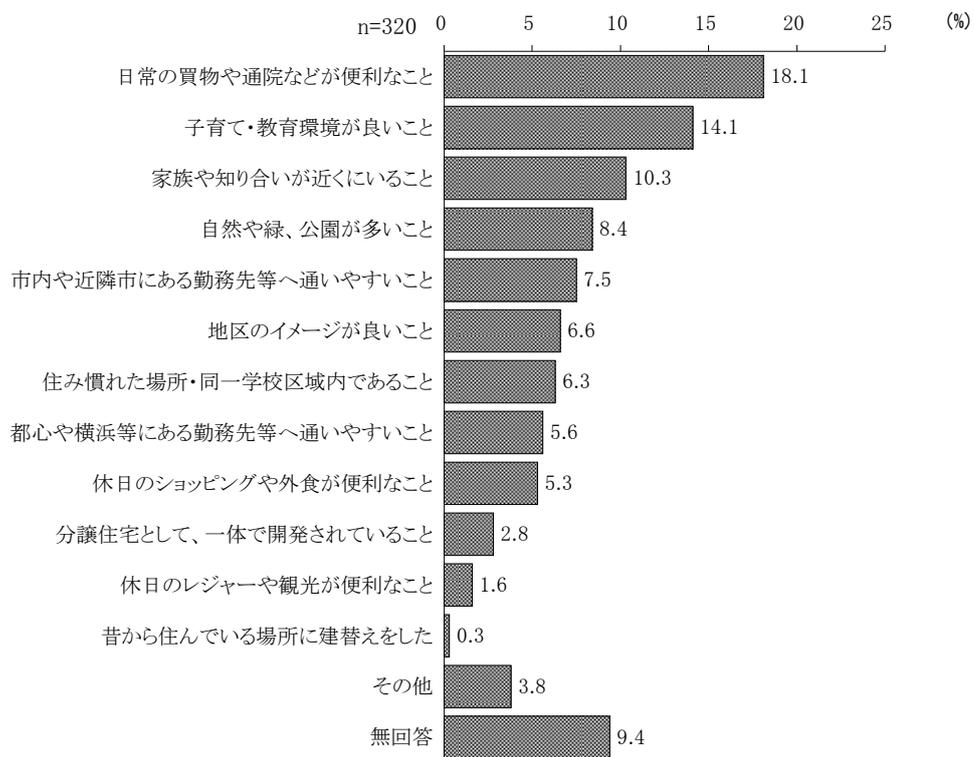


【第2位】



第2章 調査結果の詳細

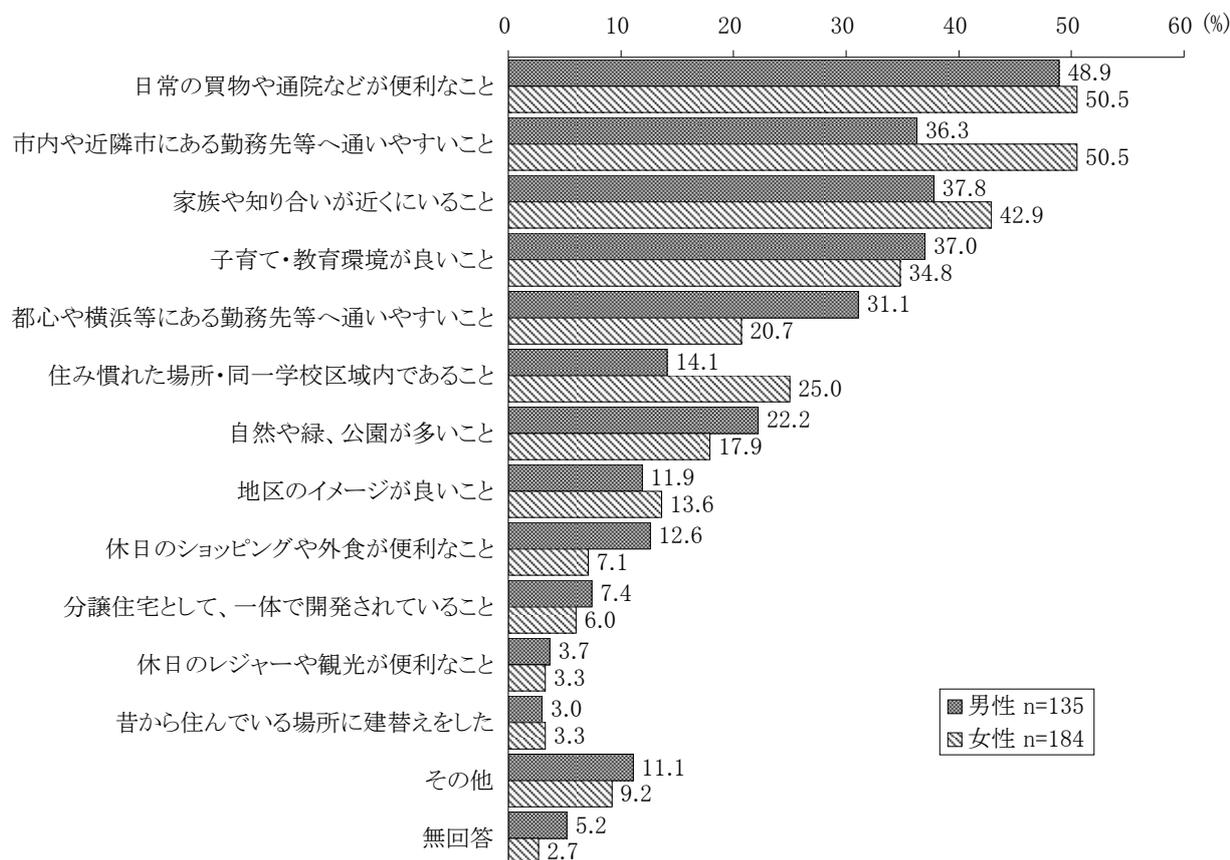
【第3位】



○クロス集計（3つまでのマルチアンサーとして集計）

【性別】

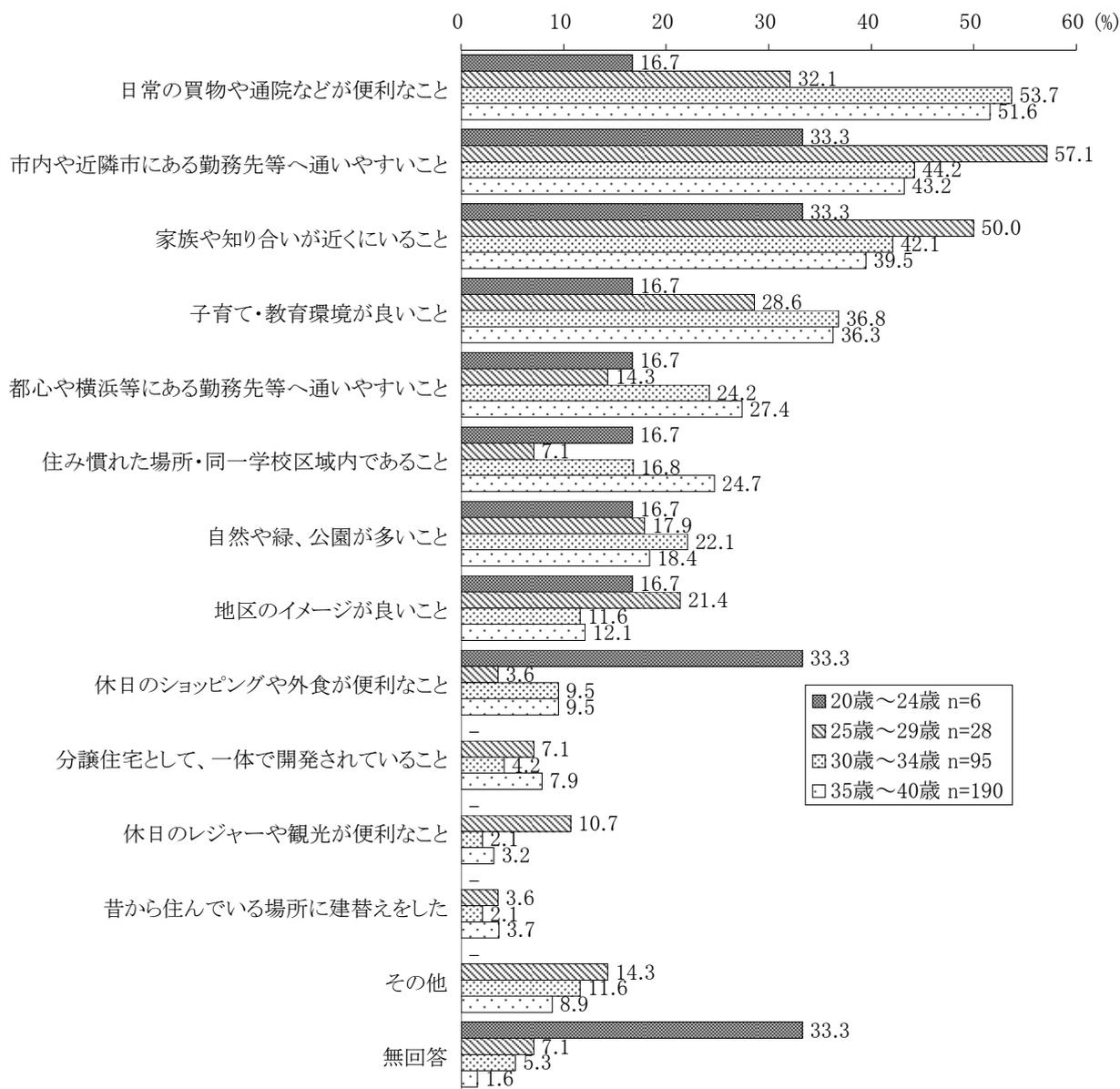
性別でみると、「市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと」（14ポイント差）と「住み慣れた場所・同一学校区域内であること」（10ポイント差）については、「女性」が「男性」を上回り、「都心や横浜等にある勤務先等へ通いやすいこと」（11ポイント差）については「男性」が「女性」を上回っています。



第2章 調査結果の詳細

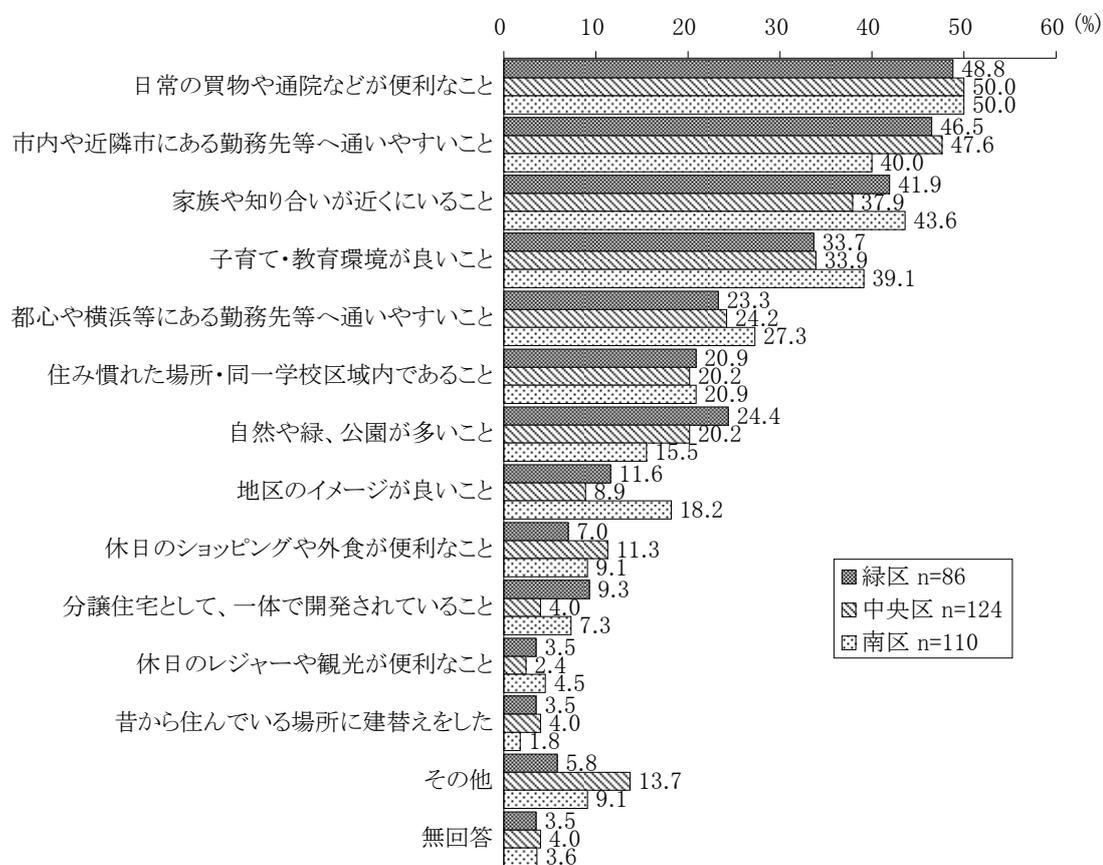
【年齢別】

年齢別でみると、「30歳～34歳」や「35歳～40歳」の場合では「日常の買物や通院などが便利なこと」（それぞれ53.7%、51.6%）の比率が高く、「25歳～29歳」の場合では「市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと」（57.1%）や「家族や知り合いが近くにいること」（50.0%）の比率が高くなっています。



【区別】

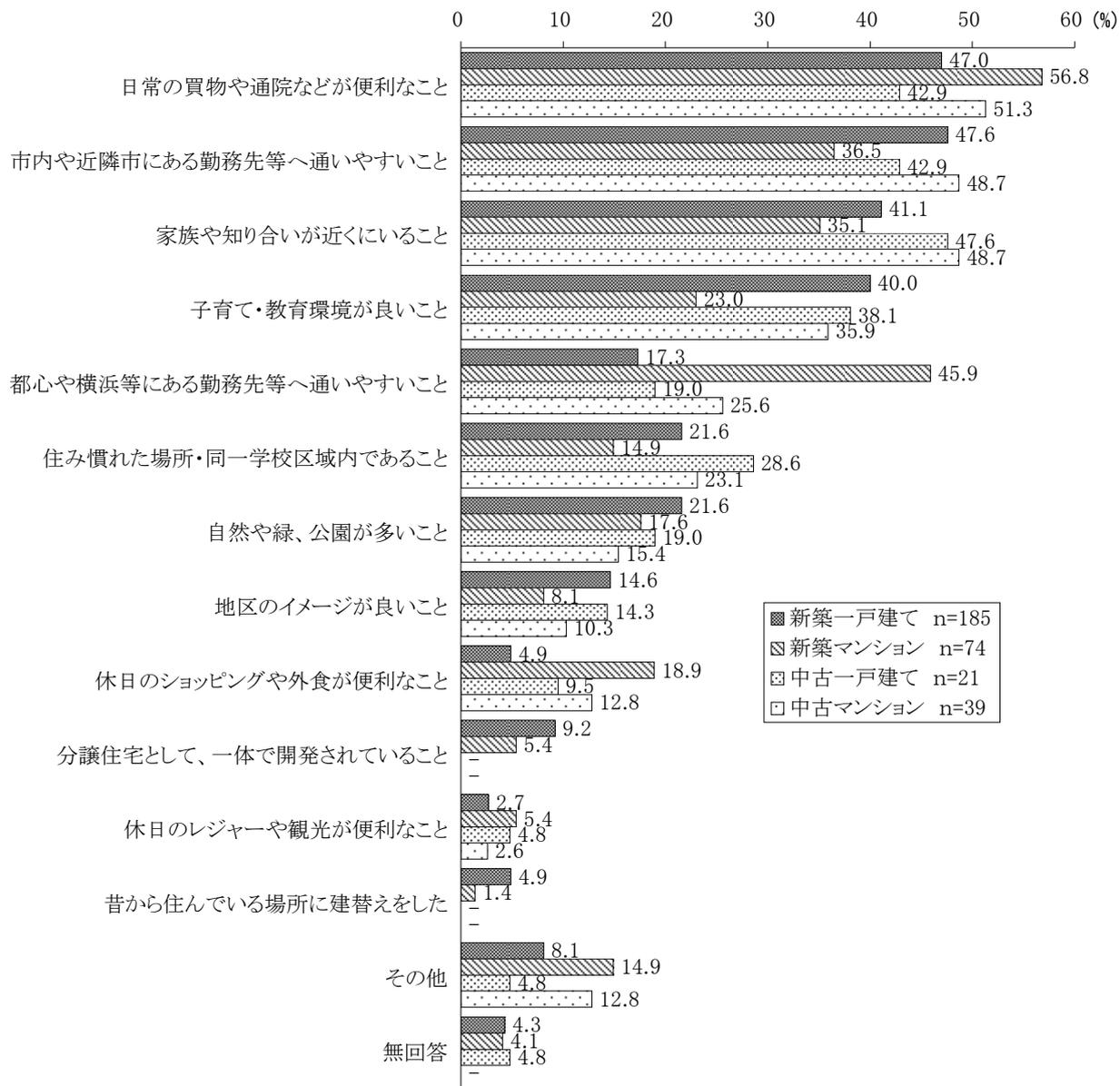
区別でみると、「緑区」、「中央区」、「南区」とも「日常の買物や通院などが便利なこと」の比率が最も高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【購入・建築した家屋・マンション別】

購入・建築した家屋・マンション別でみると、「日常の買物や通院などが便利なこと」では、マンションを購入した人でその割合が高く、「市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと」では、「新築一戸建て」や「中古マンション」を購入した人でその割合が高くなっています。また、「家族や知り合いが近くにいること」では、「中古一戸建て」や「中古マンション」といった中古物件を購入した人、「子育て・教育環境が良いこと」では一戸建て物件を購入した人、「都心や横浜等にある勤務先等へ通いやすいこと」では「新築マンション」の割合が高くなっています。



【世帯構成別・職業別】

世帯構成別でみると、「日常の買物や通院などが便利なこと」と「休日のショッピングや外出が便利なこと」では、「夫婦のみ世帯」の比率が高くなっています。また、「子育て・教育環境が良いこと」と「住み慣れた場所・同一学校区域内であること」では、「夫婦と子ども世帯」の比率が高くなっています。

(%)

		回答者数(人)	日常の買物や通院などが便利なこと	市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと	家族や知り合いが近くに居ること	子育て・教育環境が良いこと	都心や横浜等にある勤務先等へ通いやすいこと	住み慣れた場所・同一学校区域内であること	自然や緑、公園が多いこと
全 体		320	49.7	44.7	40.9	35.6	25.0	20.6	19.7
問 4 世 帯 構 成 別	単身世帯	7	42.9	57.1	71.4	28.6	57.1	14.3	-
	夫婦のみ世帯	47	61.7	31.9	36.2	6.4	46.8	8.5	14.9
	夫婦と子ども世帯	222	50.5	45.9	41.0	44.1	19.8	23.4	21.2
	自分と親からなる世帯	20	35.0	50.0	30.0	-	35.0	15.0	20.0
	親と夫婦(自分)と子ども	20	30.0	40.0	50.0	50.0	10.0	20.0	25.0
	祖父(母)と親と自分	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-
	その他	2	50.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-
問 7 職 業 別	会社員	147	51.7	43.5	36.7	35.4	29.3	15.0	22.4
	公務員・団体職員	17	41.2	47.1	52.9	35.3	17.6	11.8	5.9
	自営業(自由業・農業を含む)	7	57.1	28.6	57.1	57.1	-	71.4	-
	派遣社員、パート・アルバイト	51	37.3	45.1	45.1	33.3	21.6	29.4	25.5
	専業主婦・主夫	92	56.5	47.8	41.3	37.0	23.9	21.7	15.2
	学生	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	無職	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	その他	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3

第2章 調査結果の詳細

【世帯構成別・職業別】続き

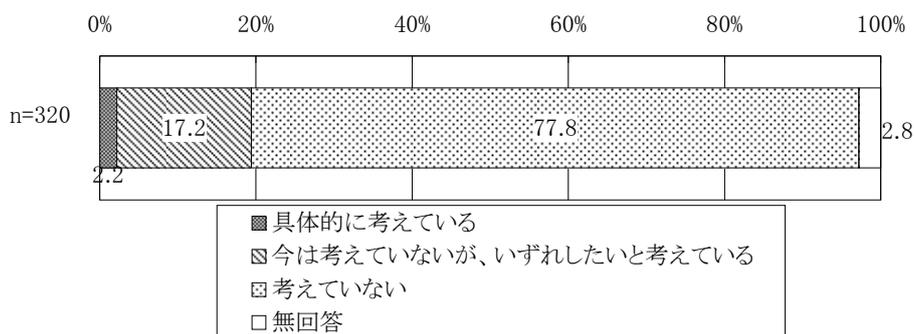
(%)

		回答者数(人)	地区のイメージが良いこと	休日のショッピングや外食が便利なこと	分譲住宅として、一体で開発されていること	休日のレジャーや観光が便利なこと	昔から住んでいる場所に建替えをした	その他	無回答
全 体		320	12.8	9.4	6.6	3.4	3.1	10.0	3.8
問 4 世帯 構成 別	単身世帯	7	-	14.3	-	14.3	-	-	-
	夫婦のみ世帯	47	10.6	27.7	6.4	4.3	-	21.3	4.3
	夫婦と子ども世帯	222	14.0	5.4	7.7	3.6	1.8	8.6	2.3
	自分と親からなる世帯	20	15.0	15.0	-	-	5.0	10.0	20.0
	親と夫婦(自分)と子ども	20	10.0	5.0	5.0	-	25.0	5.0	5.0
	祖父(母)と親と自分	1	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	-	-	-	-	-	-	-
問 7 職 業 別	会社員	147	12.2	12.2	6.8	3.4	2.0	13.6	2.7
	公務員・団体職員	17	-	-	5.9	5.9	17.6	5.9	11.8
	自営業(自由業・農業を含む)	7	14.3	14.3	-	-	-	-	-
	派遣社員、パート・アルバイト	51	9.8	5.9	5.9	2.0	3.9	3.9	7.8
	専業主婦・主夫	92	18.5	7.6	6.5	3.3	2.2	9.8	1.1
	学生	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	無職	1	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	その他	3	-	-	-	-	-	-	-

(11) 今後の住み替えの意向

問34 今後住み替えること（引越し等）をお考えですか（転勤等自己都合でない場合は除く）。（○は1つ）「1. 具体的に考えている」と「2. 今は考えていないが、いずれしたいと考えている」に該当する方は、その理由もお聞かせください。

今後の住み替えの意向について聞いた結果、「具体的に考えている」(2.2%)、「今は考えていないが、いずれしたいと考えている」(17.2%)、「考えていない」(77.8%)となっています。



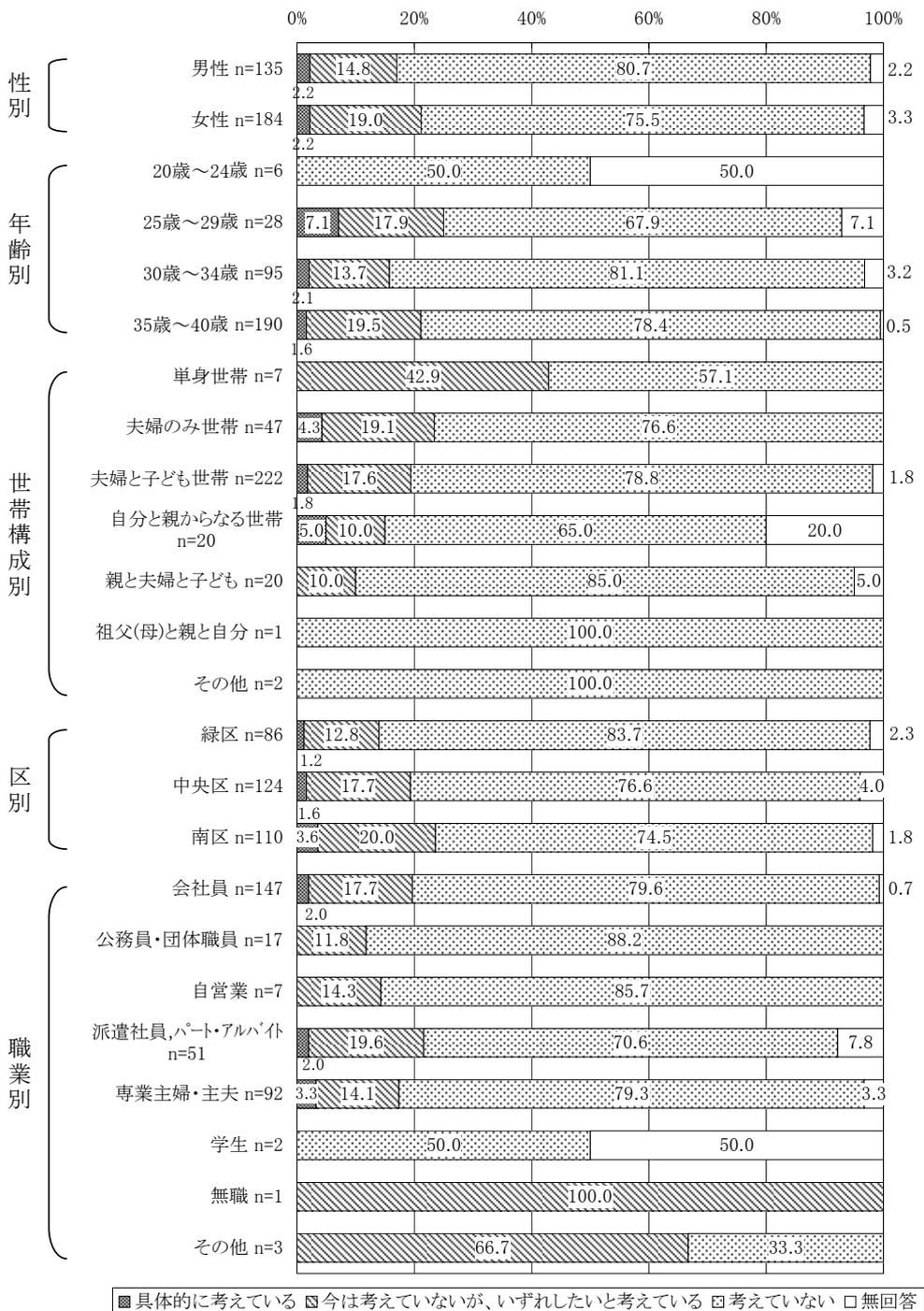
○クロス集計

性別でみると、住み替えを考えている（「具体的に考えている」「今は考えていないが、いずれしたいと考えている」をあわせた割合）は、「女性」（21.2%）が「男性」（17.0%）を若干上回っています。

年齢別でみると、住み替えを考えている比率は、「25歳～29歳」の場合で25.0%となっています。

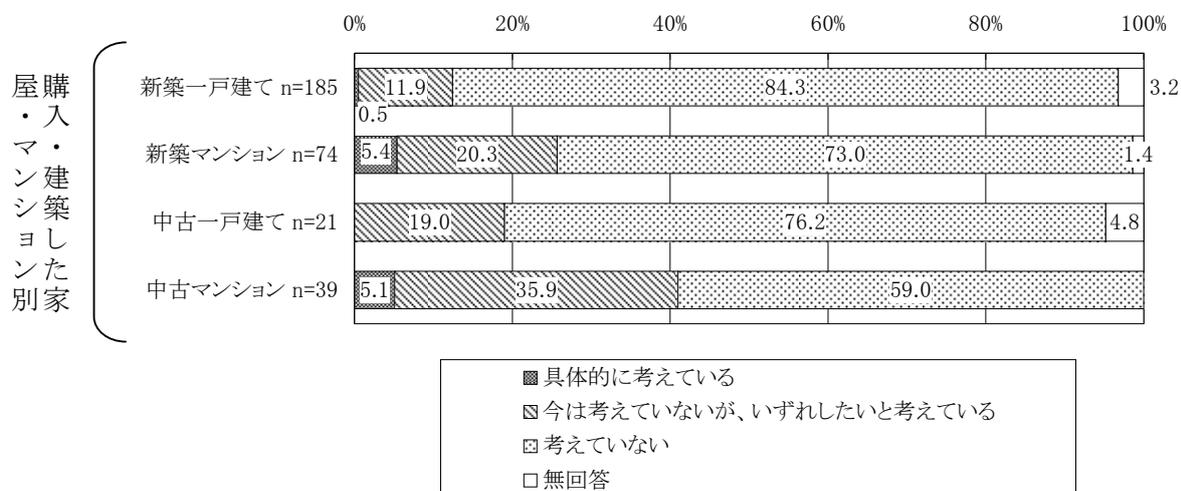
世帯構成別でみると、住み替えを考えている比率は、「夫婦のみ世帯」の場合で23.4%となっています。

区別でみると、住み替えを考えている比率は、「南区」（23.6%）、「中央区」（19.3%）、「緑区」（14.0%）の順となっています。



■具体的に考えている □今は考えていないが、いずれしたいと考えている □考えていない □無回答

購入・建築した家屋・マンション別でみると、今後の住み替え意向（「具体的に考えている」「今は考えていないが、いずれしたいと考えている」をあわせた合計）は、「中古マンション」の場合で41.0%と最も高くなっています。



○理由（主なもの）

1 具体的に考えている人の理由

- ・戸建てが欲しい。
- ・子供の成長で部屋が足りず収納も足りない。
- ・相模原市より東京・町田の方が福利厚生が良いから。町田の方が栄えているから。

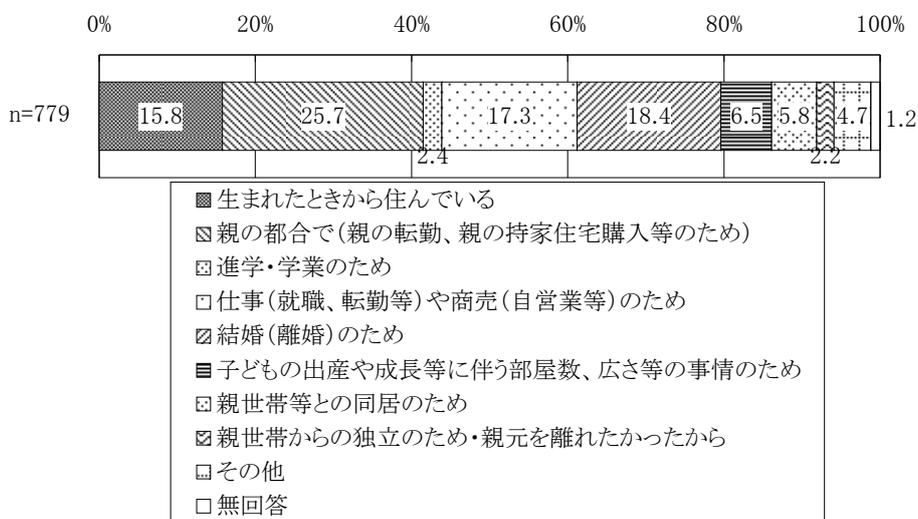
2 今は考えていないが、いずれしたいと考えている人の理由

- ・子供の成長とともに間取りの広いところに引っ越したいから。
- ・子育て支援が充実してない。
- ・子供の地元は相模原だが夫婦は県外なので子供が独立したら九州に帰ろうと考えている。
- ・資金と子供の進学によって。
- ・新築一戸建てに将来住みたい。
- ・老後は庭のある戸建てが良い。
- ・いずれ親が年をとったら親との同居を考えているため
- ・今の所、問題はないのですが、親の健康や同居なども視野に入れて。
- ・近くに米軍の基地があるので心配だから。
- ・田舎で生活してみたいのと実家に帰るかもしれないため。
- ・実家で新居を建てるかもしれない。
- ・住んでみて通勤や行政・福祉サービスが思ったより良くなかったので東京都に住み替えたい。
- ・もっと自然が豊かな場所に住みたい。
- ・畑付きの家が良いから。
- ・他の土地に住んでみたい（海の側）。
- ・交通の便が悪い為。
- ・実家から遠い。
- ・エレベーターがないのはきつい。

(12) 現在の場所に住むようになったきっかけ

問35 あなたが現在住んでいる場所（住宅）に住むようになったタイミング・きっかけは何ですか。（○は1つ）

現在の場所に住むようになったきっかけについて聞いた結果、「生まれたときから住んでいる」（15.8%）、「親の都合で（親の転勤、親の持家住宅購入等のため）」（25.7%）、「進学・学業のため」（2.4%）、「仕事（就職、転勤等）や商売（自営業等）のため」（17.3%）、「結婚（離婚）のため」（18.4%）、「子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため」（6.5%）、「親世帯等との同居のため」（5.8%）、「親世帯からの独立のため・親元を離れたかったから」（2.2%）となっています。



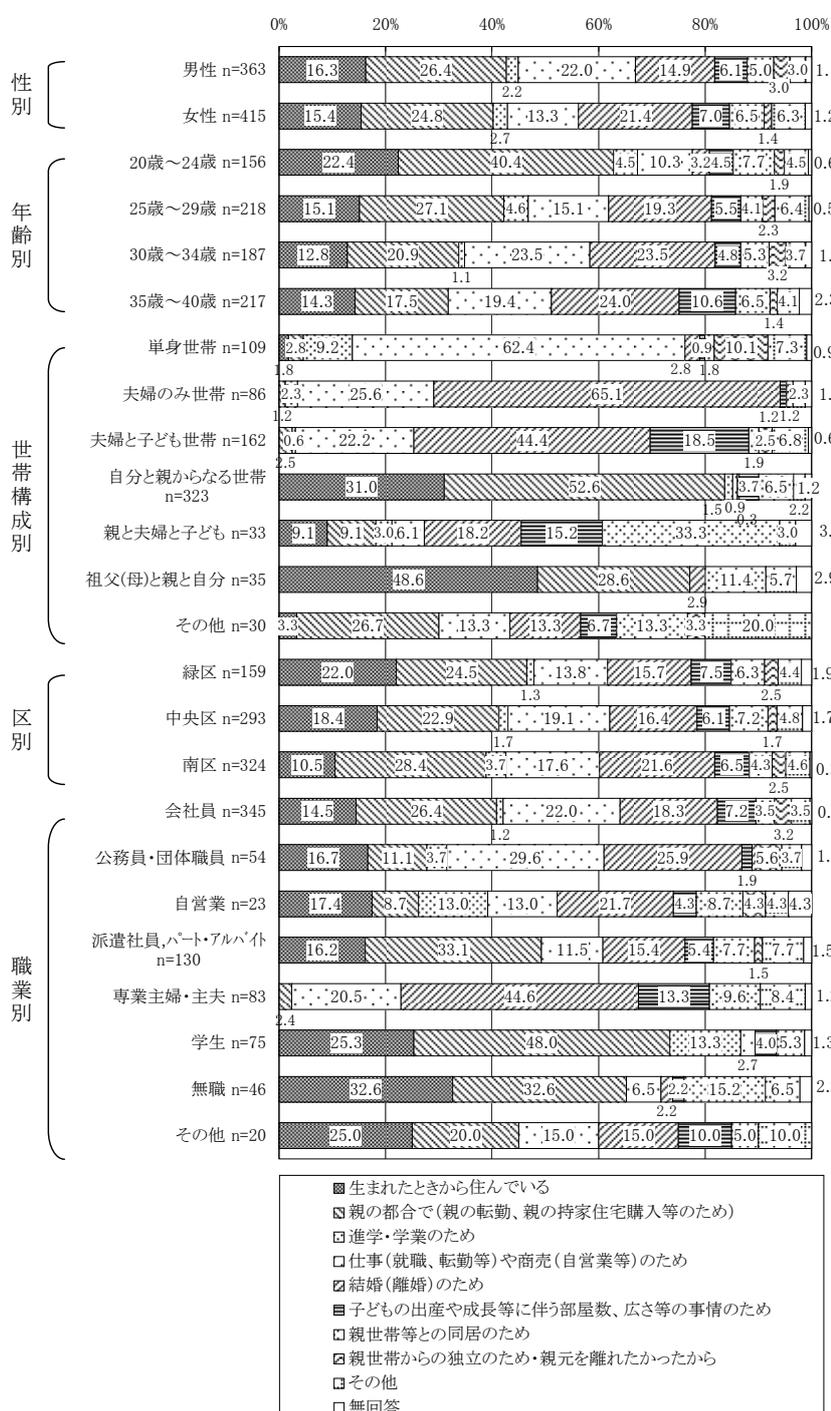
○クロス集計

性別でみると、「仕事（就業、転勤等）や商売（自営業等）のため」の比率は、男性のほうが高く、また、「結婚（離婚）のため」の比率は、女性のほうが高くなっています。

年齢別でみると、「20歳～24歳」の場合、「親の都合で（親の転勤、親の持家住宅購入等のため）」（40.4%）の比率が最も高くなりますが、年齢があがるとともに、「仕事（就業、転勤等）や商売（自営業等）のため」や「結婚（離婚）のため」の比率が高くなっています。

世帯構成別でみると、「単身世帯」の場合、「仕事（就業、転勤等）や商売（自営業等）のため」の比率（62.4%）が最も高く、「夫婦のみ世帯」と「夫婦と子どもの世帯」では、「結婚（離婚）のため」が最も高くなっています。

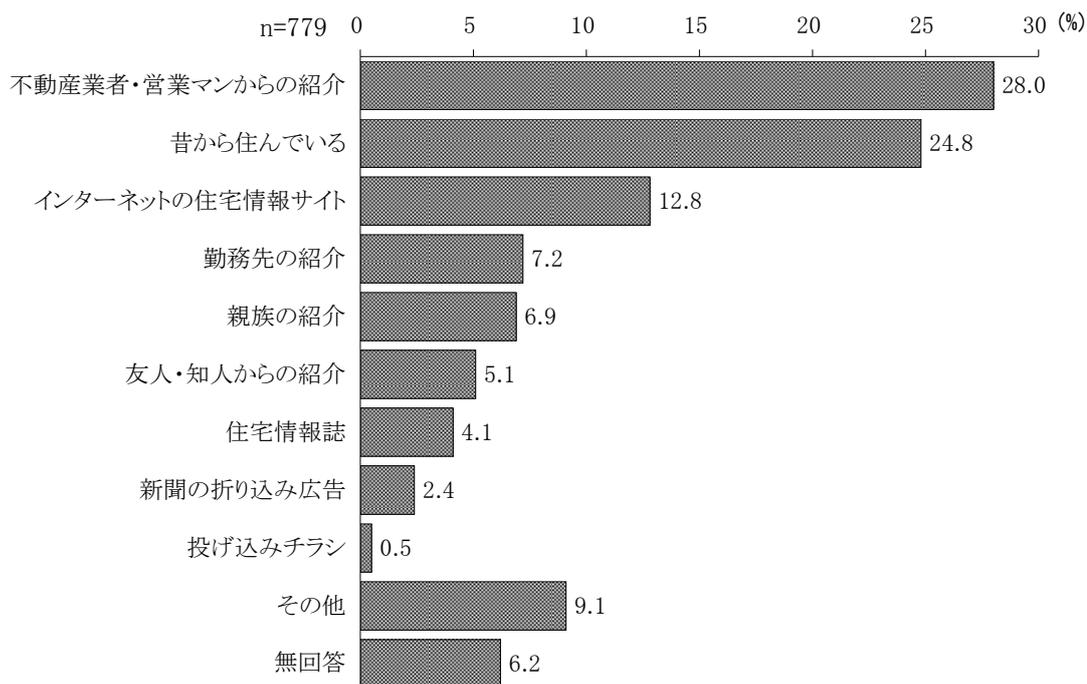
職業別でみると、「親の都合で（親の転勤、親の持家住宅購入等のため）」で、最も比率が高かったのは、「学生」（48.0%）、次いで「派遣社員、パート・アルバイト」（33.1%）、「無職」（32.6%）となっています。



(13) 現在住んでいる住宅を知ったきっかけ

問36 あなたが現在住んでいる住宅を知ったきっかけは何ですか。(〇は2つまで)

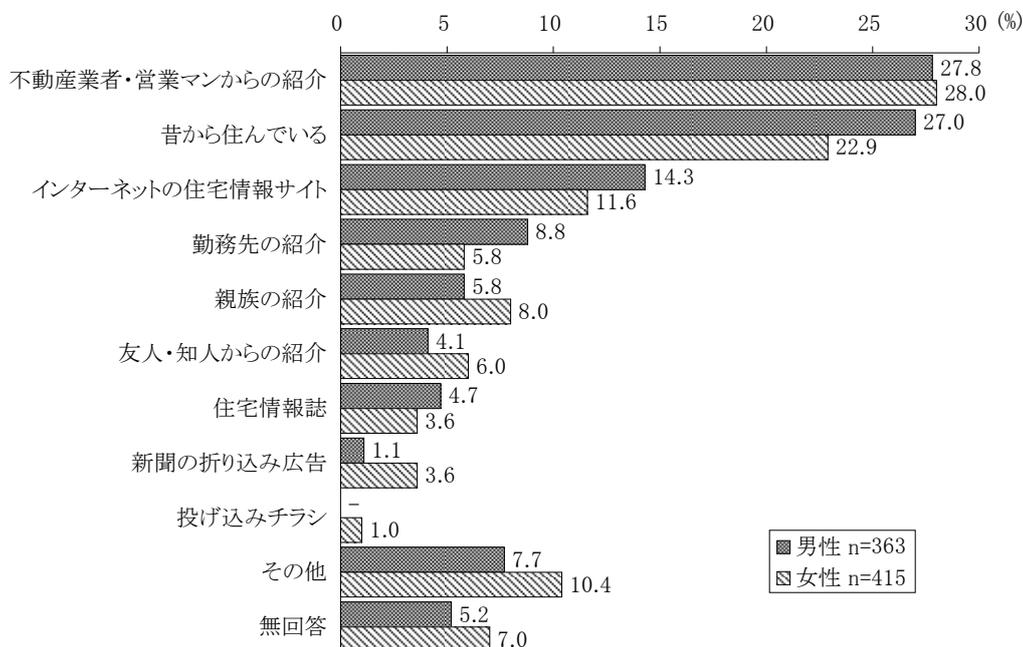
現在住んでいる住宅を知ったきっかけについて聞いた結果、「不動産業者・営業マンからの紹介」(28.0%)、「昔から住んでいる」(24.8%)、「インターネットの住宅情報サイト」(12.8%)、「勤務先の紹介」(7.2%)、「親族の紹介」(6.9%)、「友人・知人からの紹介」(5.1%)、「住宅情報誌」(4.1%)、「新聞の折り込み広告」(2.4%)、「投げ込みチラシ」(0.5%)となっています。



○クロス集計

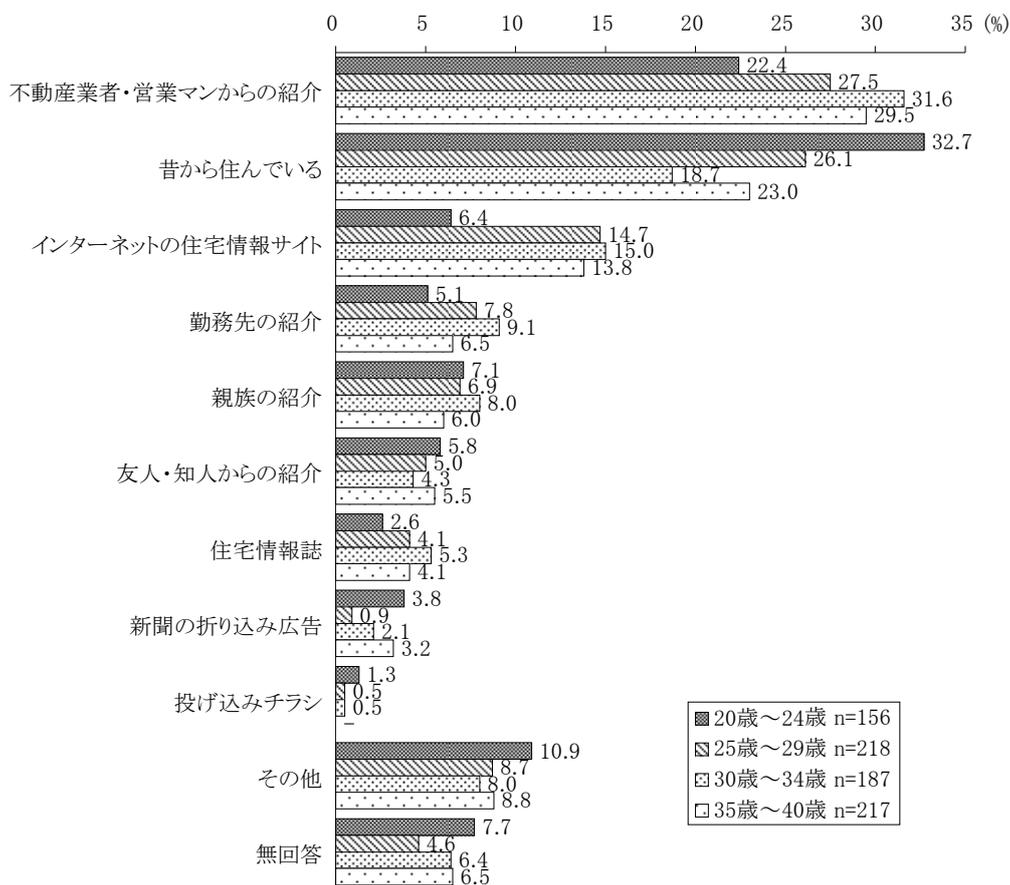
【性別】

性別でみると、「昔から住んでいる」「インターネットの住宅情報サイト」「勤務先の紹介」「住宅情報誌」で、「男性」が「女性」を上回っています。



【年齢別】

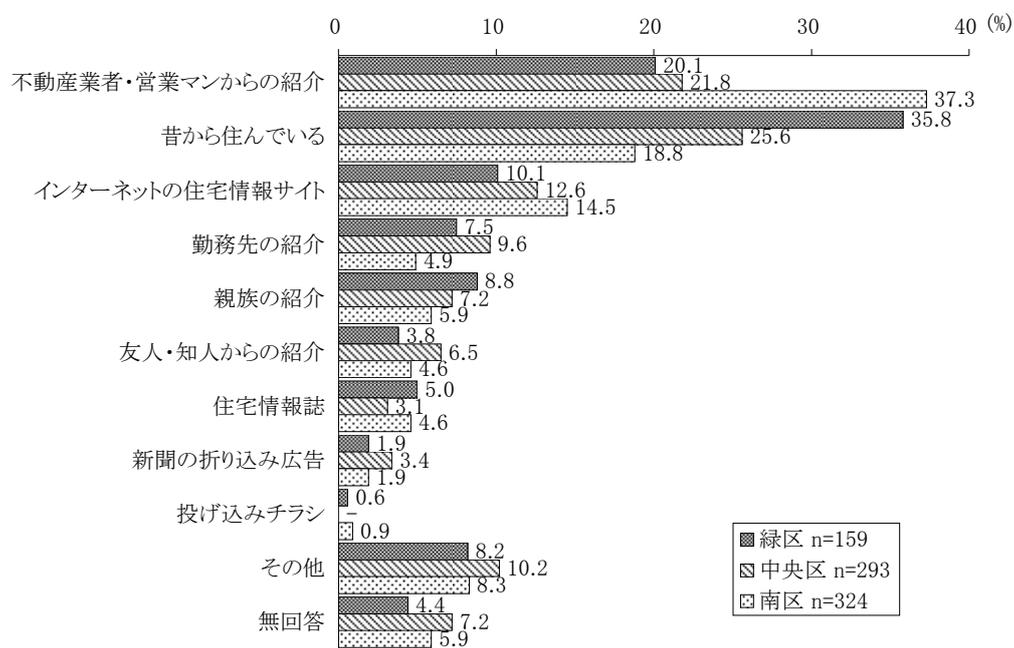
年齢別でみると、「不動産業者・営業マンからの紹介」では、20代よりも「30歳～40歳」のほうが高く、また、「昔から住んでいる」では、「20歳～24歳」(32.7%)が最も高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【区別】

区別でみると、「不動産業者・営業マンからの紹介」では、「南区」(37.3%)が最も高く、また、「昔から住んでいる」では、「緑区」(35.8%)が最も高くなっています。



【世帯構成別・職業別】

世帯構成別でみると、「不動産業者・営業マンからの紹介」では、「単身世帯」(44.0%)や「夫婦のみ世帯」(45.3%)の割合が高くなっています。また、「昔から住んでいる」では、「祖父(母)と親と自分」(77.1%)と「自分と親からなる世帯」(42.7%)の割合が高くなっています。

職業別でみると、「不動産業者・営業マンからの紹介」では、「会社員」(30.4%)や「公務員・団体職員」(35.2%)、「自営業」(30.4%)、「専業主婦・主夫」(33.7%)で3割台、「インターネットの住宅情報サイト」では「会社員」(14.2%)と「公務員・団体職員」(22.2%)、「専業主婦・主夫」(14.5%)の割合が高くなっています。

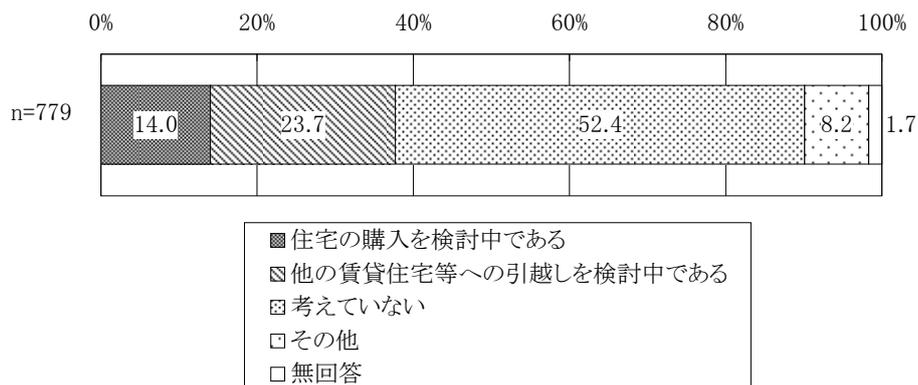
(%)

		回答者数(人)	不動産業者・営業マンからの紹介	昔から住んでいる	インターネットの情報サイト	勤務先の紹介	親族の紹介	友人・知人からの紹介	住宅情報誌	新聞の折り込み広告	投げ込みチラシ	その他	無回答
全 体		779	28.0	24.8	12.8	7.2	6.9	5.1	4.1	2.4	0.5	9.1	6.2
問4 世帯構成別	単身世帯	109	44.0	1.8	27.5	13.8	2.8	7.3	4.6	-	-	4.6	0.9
	夫婦のみ世帯	86	45.3	1.2	30.2	11.6	4.7	4.7	5.8	-	-	10.5	1.2
	夫婦と子ども世帯	162	39.5	3.7	19.8	14.2	14.2	7.4	4.3	1.2	-	4.3	1.9
	自分と親からなる世帯	323	17.6	42.7	1.9	1.2	5.6	3.1	2.8	5.0	1.2	12.1	10.5
	親と夫婦(自分)と子ども	33	9.1	39.4	3.0	-	12.1	6.1	6.1	-	-	12.1	18.2
	祖父(母)と親と自分	35	-	77.1	-	-	2.9	5.7	-	-	-	8.6	8.6
	その他	30	23.3	20.0	16.7	13.3	3.3	6.7	13.3	3.3	-	10.0	-
問7 職業別	会社員	345	30.4	25.5	14.2	7.8	6.1	4.9	3.5	2.6	0.6	7.8	4.1
	公務員・団体職員	54	35.2	16.7	22.2	9.3	5.6	3.7	3.7	-	-	3.7	7.4
	自営業(自由業・農業を含む)	23	30.4	26.1	8.7	-	4.3	13.0	4.3	-	-	-	17.4
	派遣社員、パート・アルバイト	130	26.9	25.4	13.8	3.1	7.7	3.1	3.8	3.1	-	9.2	10.0
	専業主婦・主夫	83	33.7	10.8	14.5	18.1	13.3	8.4	6.0	1.2	-	7.2	-
	学生	75	16.0	33.3	5.3	1.3	6.7	5.3	5.3	4.0	1.3	16.0	8.0
	無職	46	15.2	37.0	4.3	2.2	-	6.5	6.5	2.2	2.2	19.6	10.9
	その他	20	25.0	25.0	5.0	10.0	15.0	-	-	5.0	-	15.0	5.0

(14) 今後の引越しの予定

問37 今後引越し（住み替えや親元を離れる等）をする予定はありますか。（○は1つ）

今後の引越しの予定について聞いた結果、「住宅の購入を検討中である」（14.0%）、「他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」（23.7%）、「考えていない」（52.4%）となっています。



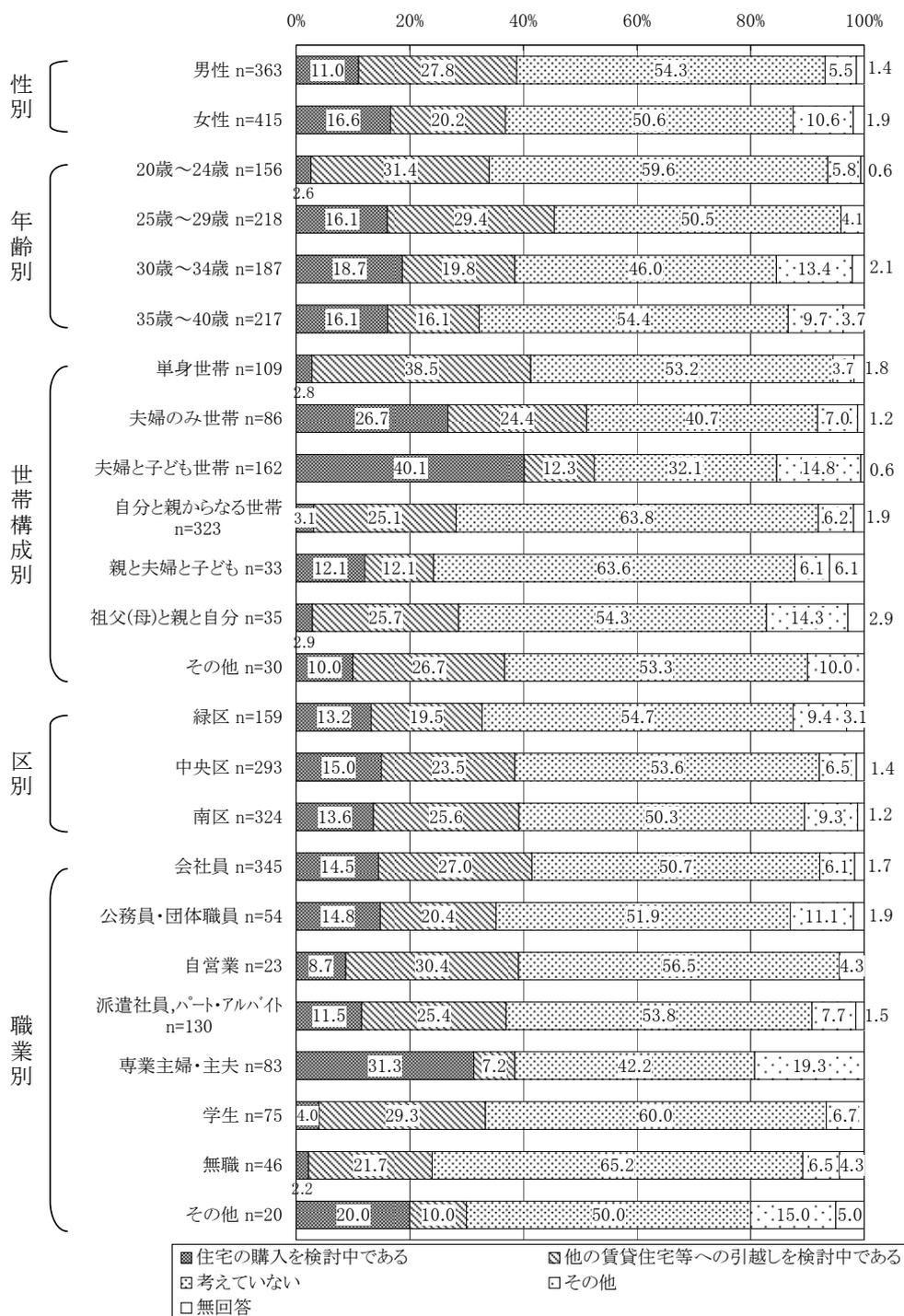
○クロス集計

性別でみると、「他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」で、「男性」(27.8%)が「女性」(20.2%)を上回っています。

年齢別でみると、「住宅の購入を検討中である」の比率は、「20歳～24歳」で2.6%、「25歳～29歳」で16.1%となり、20代後半から急増しています。

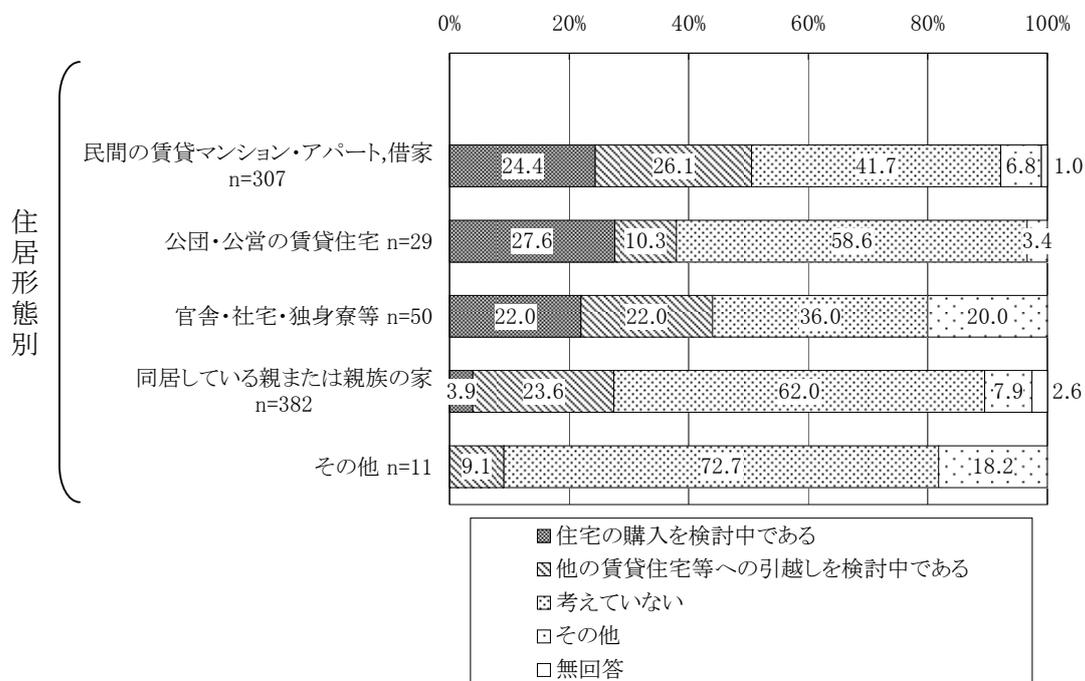
世帯構成別でみると、「夫婦と子ども世帯」の場合、「住宅の購入を検討中である」の比率は40.1%で、他の世帯に比べて高く、「自分と親からなる世帯」の25.1%が「他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」と回答しています。

職業別でみると、専業主婦・主夫の場合、「住宅の購入を検討中である」の比率は31.3%で、他の職業に比べて高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

住居形態別でみると、「考えていない」で、最も比率が高かったのは、「同居している親または親族の家」(62.0%)、次いで「公団・公営の賃貸住宅」(58.6%)となっているのに対し、「民間の賃貸マンション・アパート、借家」の約5割(「住宅の購入を検討中である」(24.4%)と「他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」(26.1%)を合わせた割合)が移動を検討中と回答しています。

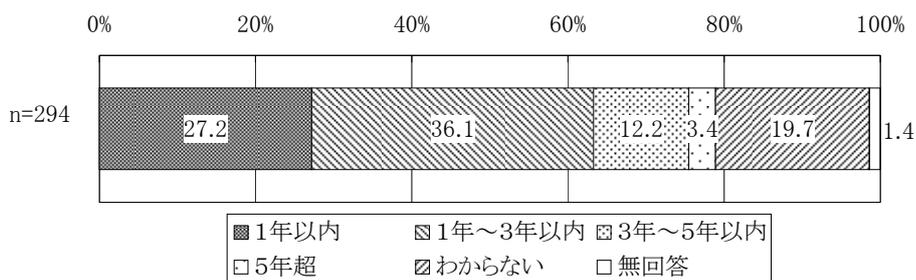


(15) 引越しの予定時期

(問37で「1. 住宅の購入を検討中である」「2. 他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」に○を付けた方のみ限定質問)

問38 引越し(住み替え)の予定は、具体的にはいつごろですか。(○は1つ)

引越しの予定時期について聞いた結果、「1年以内」(27.2%)、「1年～3年以内」(36.1%)、「3年～5年以内」(12.2%)、「5年超」(3.4%)、「わからない」(19.7%)となっています。

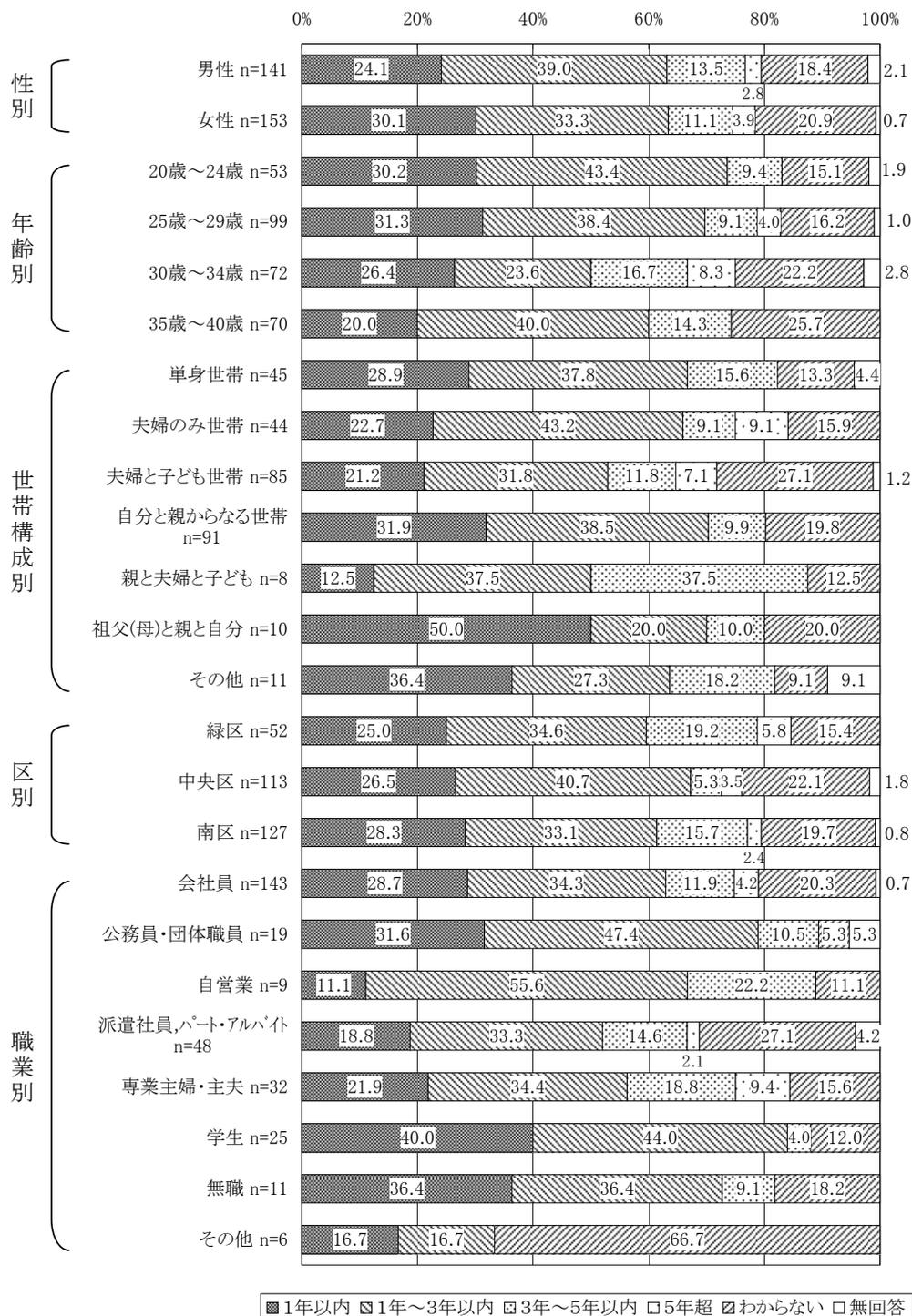


○クロス集計

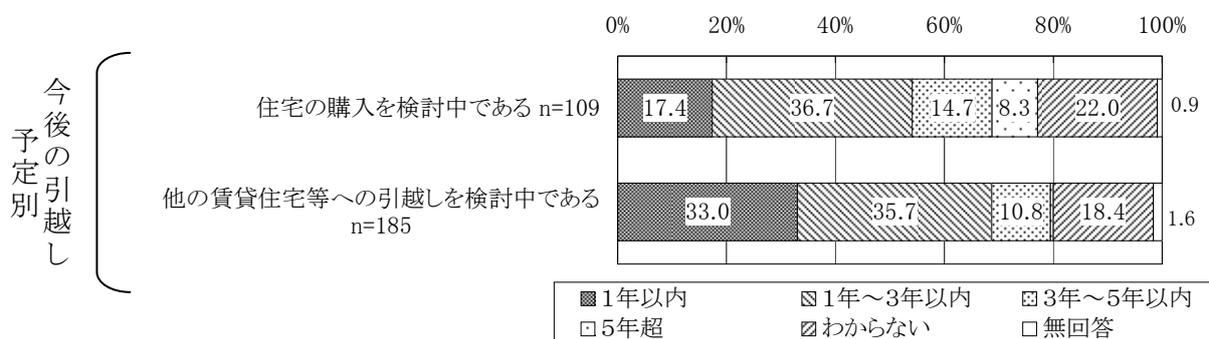
性別でみると、「1年以内」の比率は、「女性」(30.1%)が「男性」(24.1%)を上回っています。

年齢別でみると、3年以内(「1年以内」「1年～3年以内」をあわせた割合)の比率は、20代で7割前後となっており、「30歳～34歳」「35歳～40歳」よりも高くなっています。

世帯構成別でみると、「夫婦と子ども世帯」の場合、3年以内の比率は約5割で、他の世帯よりも低くなっています。また、「単身世帯」と「自分と親からなる世帯」の約3割は「1年以内」と回答しています。



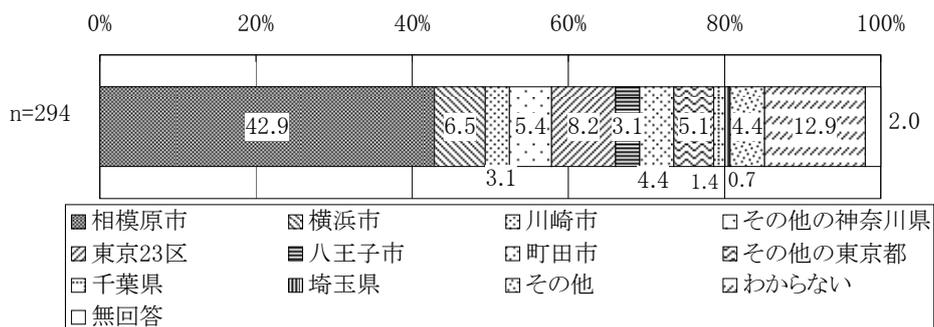
今後の引越し予定別でみると、他の賃貸住宅等への引越しを検討中である場合、3年以内の比率は68.7%となっており、住宅の購入を検討中である場合（54.1%）より高くなっています。



(16) 引越しの候補地

問39 現在検討している引越し(住み替え)先で、最も有力な候補地はどちらですか。(〇は1つ)

引越しの候補地について聞いた結果、「相模原市」(42.9%)、「横浜市」(6.5%)、「川崎市」(3.1%)、「その他の神奈川県」(5.4%)、「東京23区」(8.2%)、「八王子市」(3.1%)、「町田市」(4.4%)、「その他の東京都」(5.1%)、「千葉県」(1.4%)、「埼玉県」(0.7%)、「その他」(4.4%)、「わからない」(12.9%) となっています。

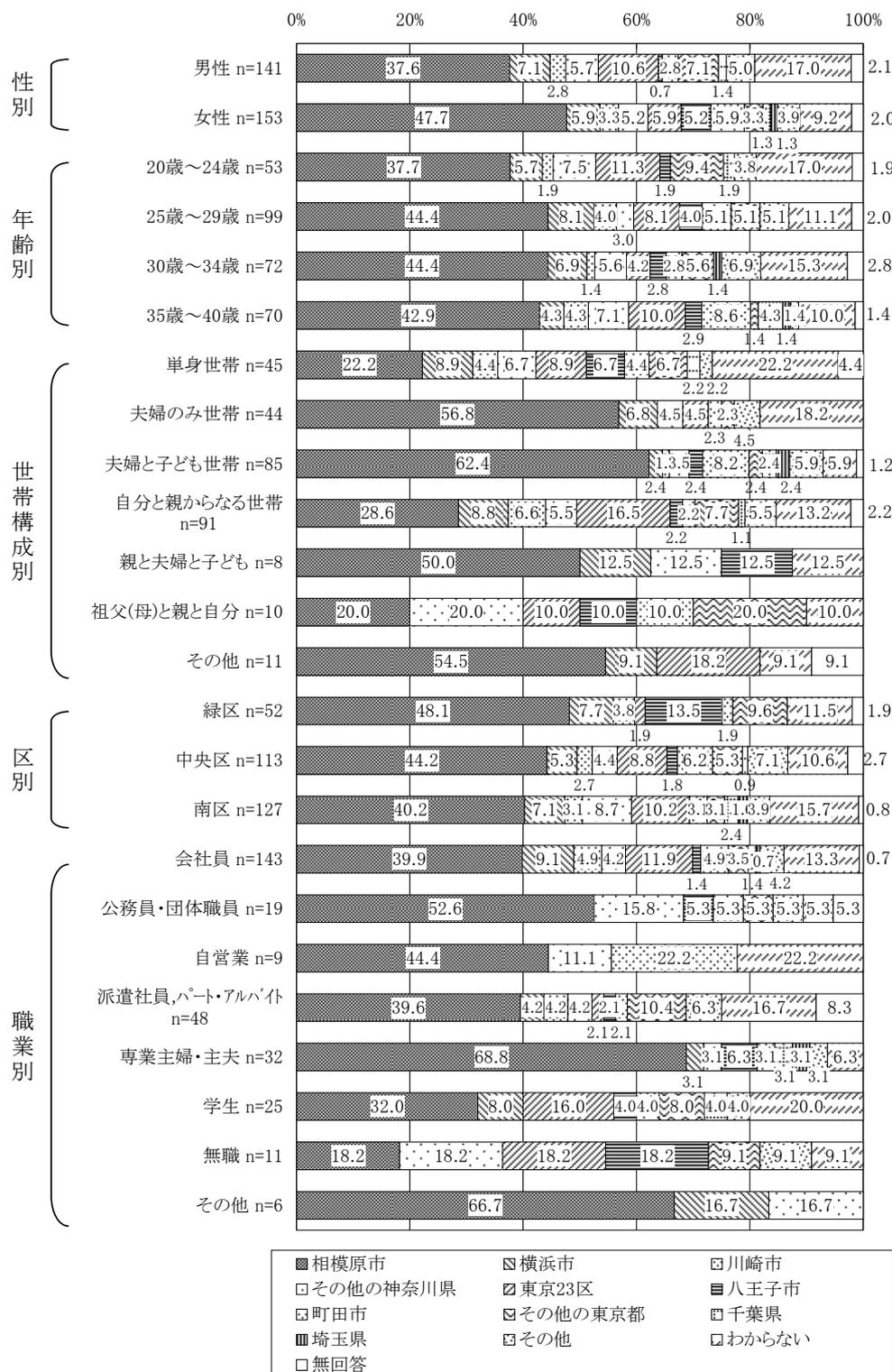


○クロス集計

性別でみると、「相模原市」で、「女性」(47.7%)が「男性」(37.6%)を上回っています。

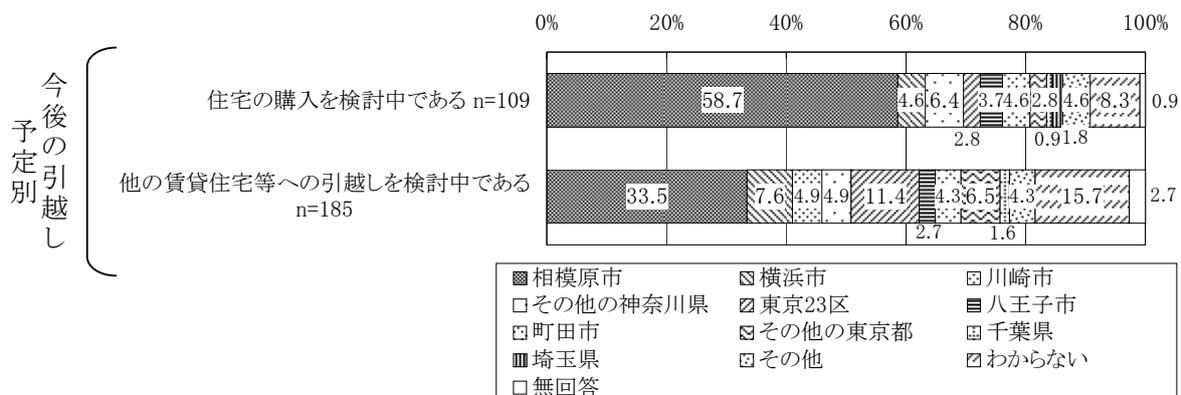
世帯構成別でみると、「相模原市」の比率は、「夫婦と子ども世帯」で62.4%、「夫婦のみ世帯」で56.8%となっており、他の世帯に比べて高くなっています。

区別では、「相模原市」で、最も比率が高かったのは、「緑区」(48.1%)となっています。



第2章 調査結果の詳細

今後の引越し予定別でみると、「相模原市内」の比率は、「住宅の購入を検討中である」(58.7%)のほうが、「他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」(33.5%)より高くなっています。

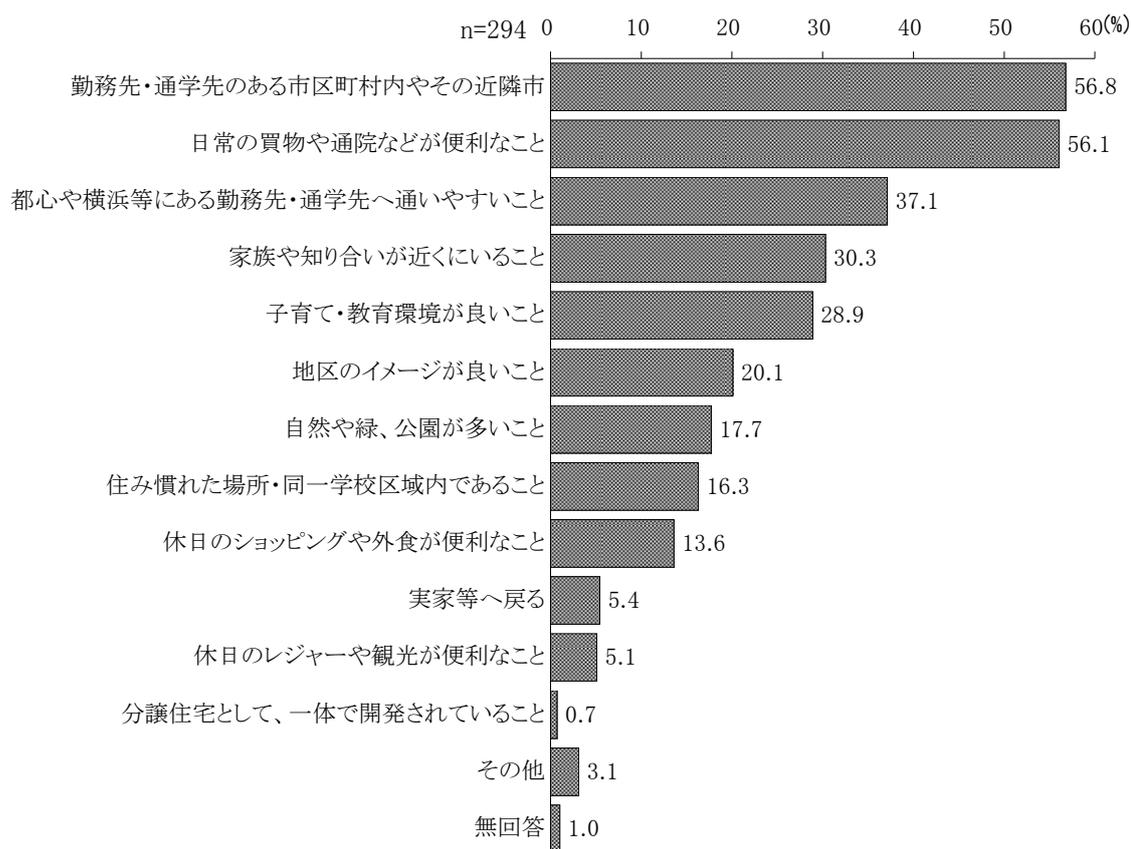


(17) 引越し先を選ぶ理由

問40 引越し先を選ぶ理由で、優先順位の高いものから順に3つ選び、下の枠内（第1～3位）に番号（1～13のいずれか）をご記入ください。なお、購入価格・家賃に関することについては順位から除いてお考えください。（番号に○は付けないでください）

引越し先を選ぶ理由について聞いた結果、「勤務先・通学先のある市区町村内やその近隣市」（56.8%）、「日常の買物や通院などが便利なこと」（56.1%）、「都心や横浜等にある勤務先・通学先へ通いやすいこと」（37.1%）、「家族や知り合いが近くにいること」（30.3%）、「子育て・教育環境が良いこと」（28.9%）、「地区のイメージが良いこと」（20.1%）、「自然や緑、公園が多いこと」（17.7%）、「住み慣れた場所・同一学校区域内であること」（16.3%）、「休日のショッピングや外食が便利なこと」（13.6%）、「実家等へ戻る」（5.4%）、「休日のレジャーや観光が便利なこと」（5.1%）、「分譲住宅として、一体で開発されていること」（0.7%）となっています。

【3つまでのマルチアンサーとして集計】

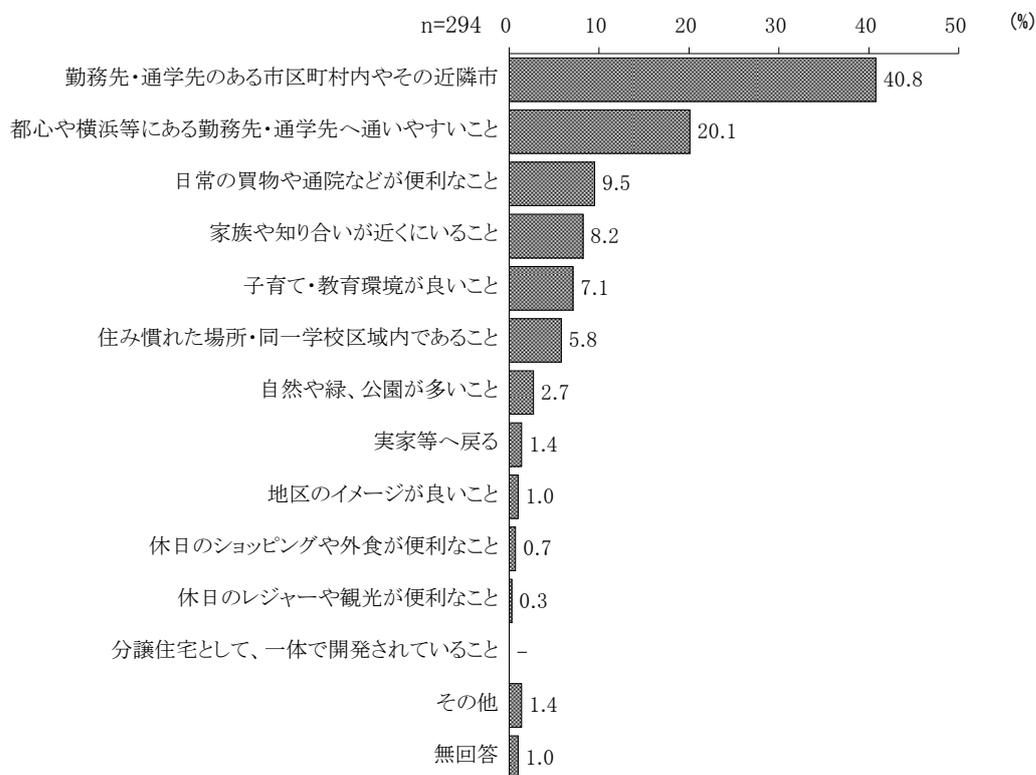


第2章 調査結果の詳細

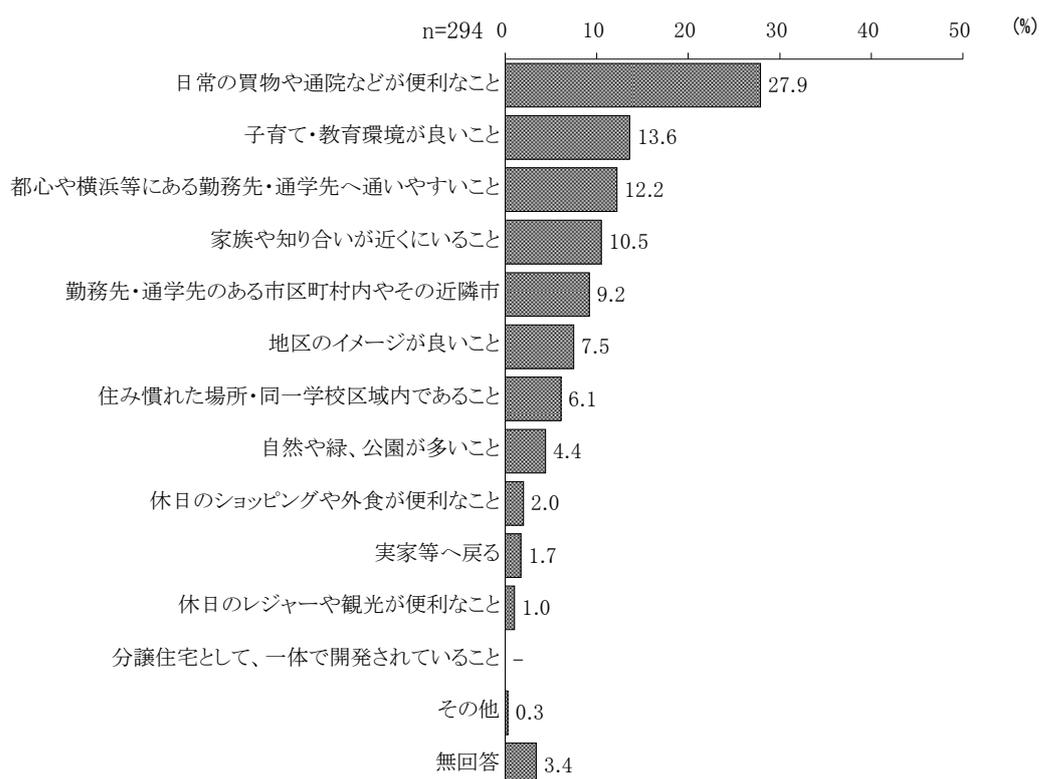
1番重視したものの比率では、「勤務先・通学先のある市区町村内やその近隣市」(40.8%)が最も高くなっています。

2番目、3番目に重視したものの比率では、ともに「日常の買物や通院などが便利なこと」(それぞれ27.9%、18.7%)が最も高くなっています。

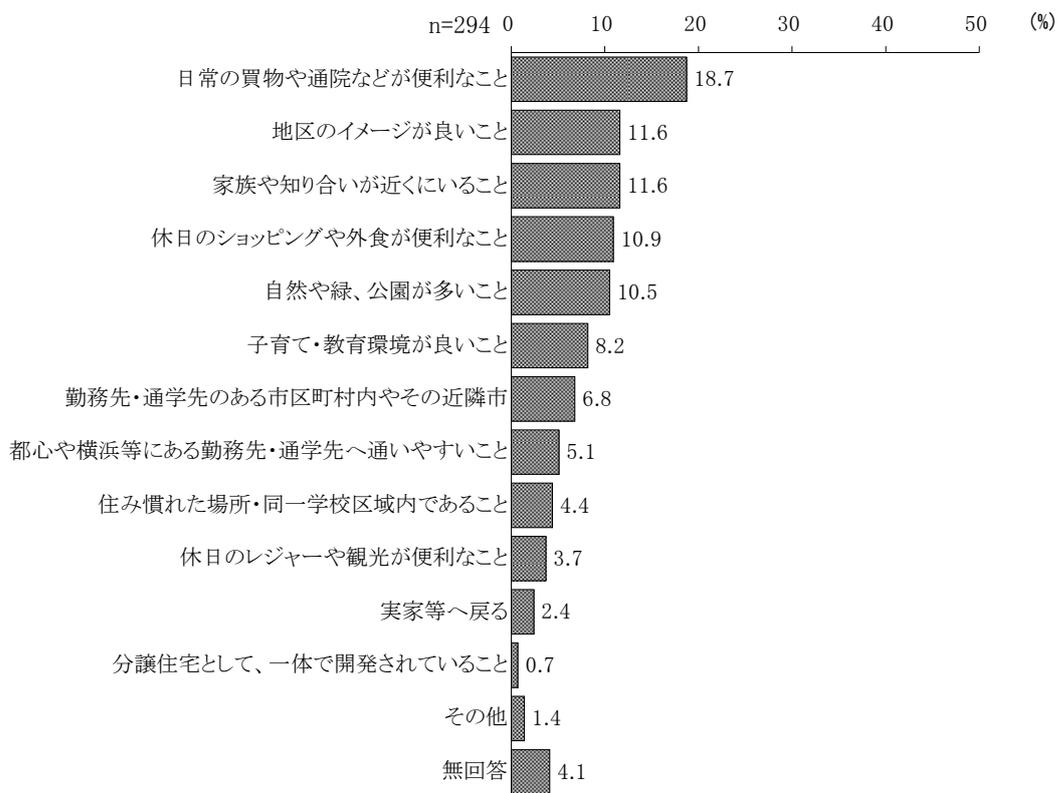
【第1位】



【第2位】



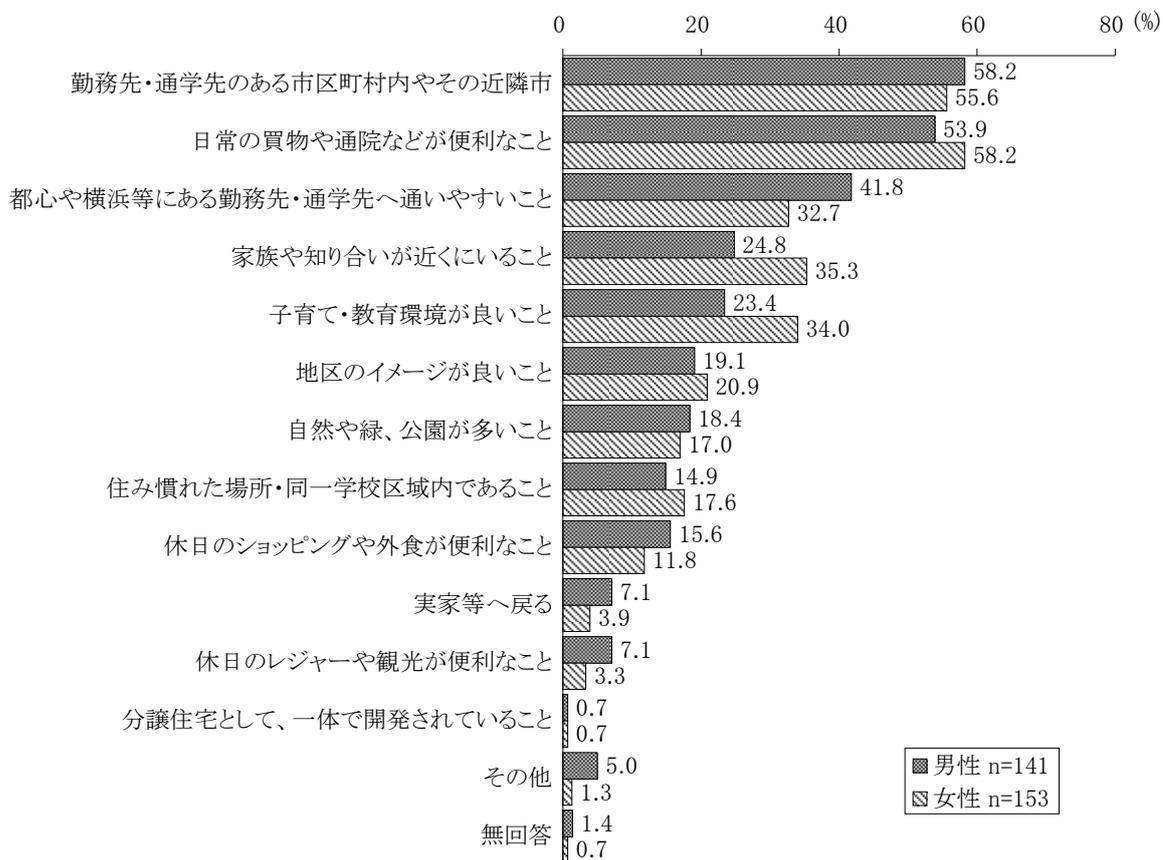
【第3位】



○クロス集計（3つまでのマルチアンサーとして集計）

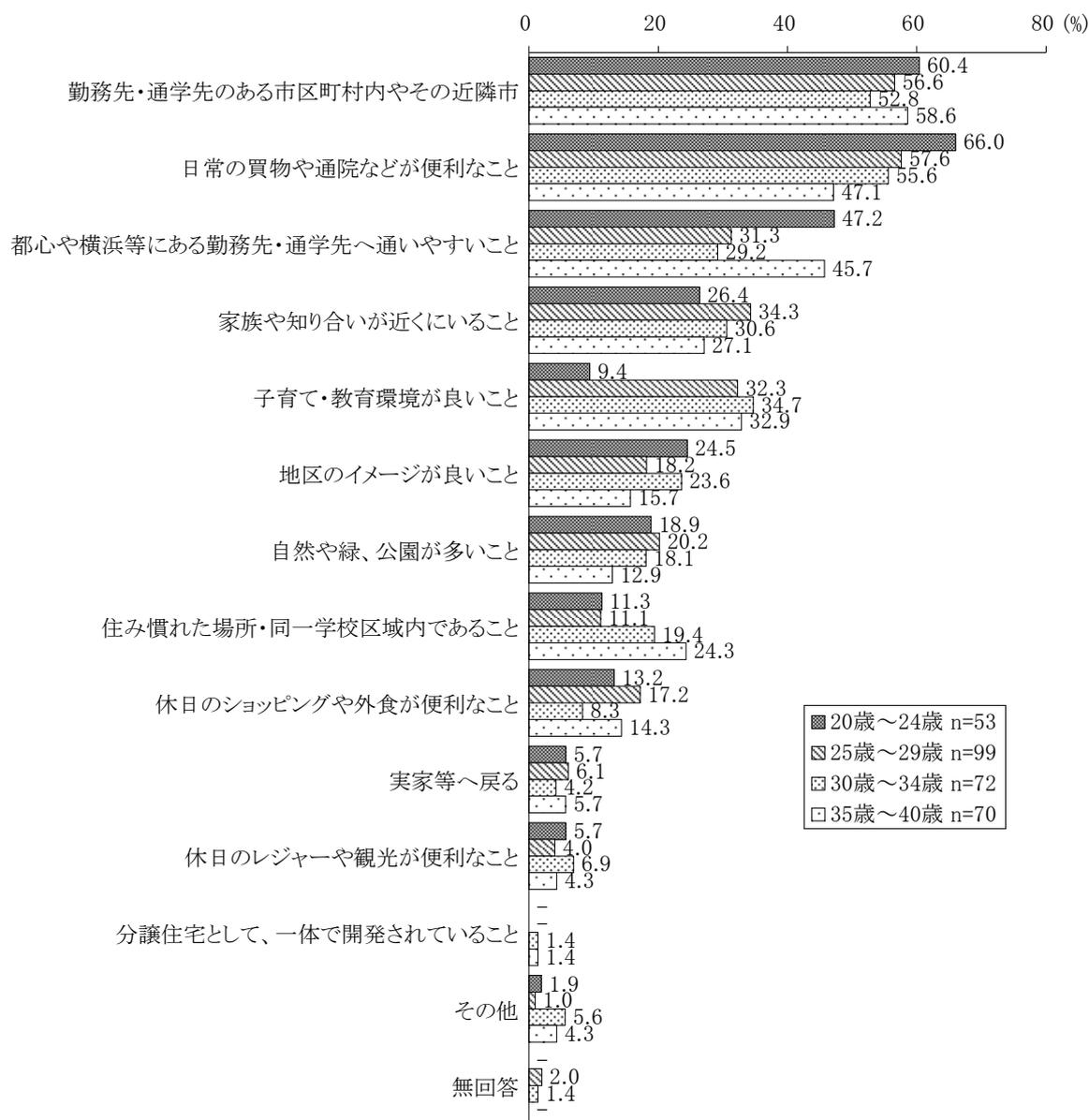
【性別】

性別でみると、「都心や横浜等にある勤務先・通学先へ通いやすいこと」については「男性」が「女性」を、「家族や知り合いが近くにいること」と「子育て・教育環境が良いこと」については「女性」が「男性」を上回っています。



【年齢別】

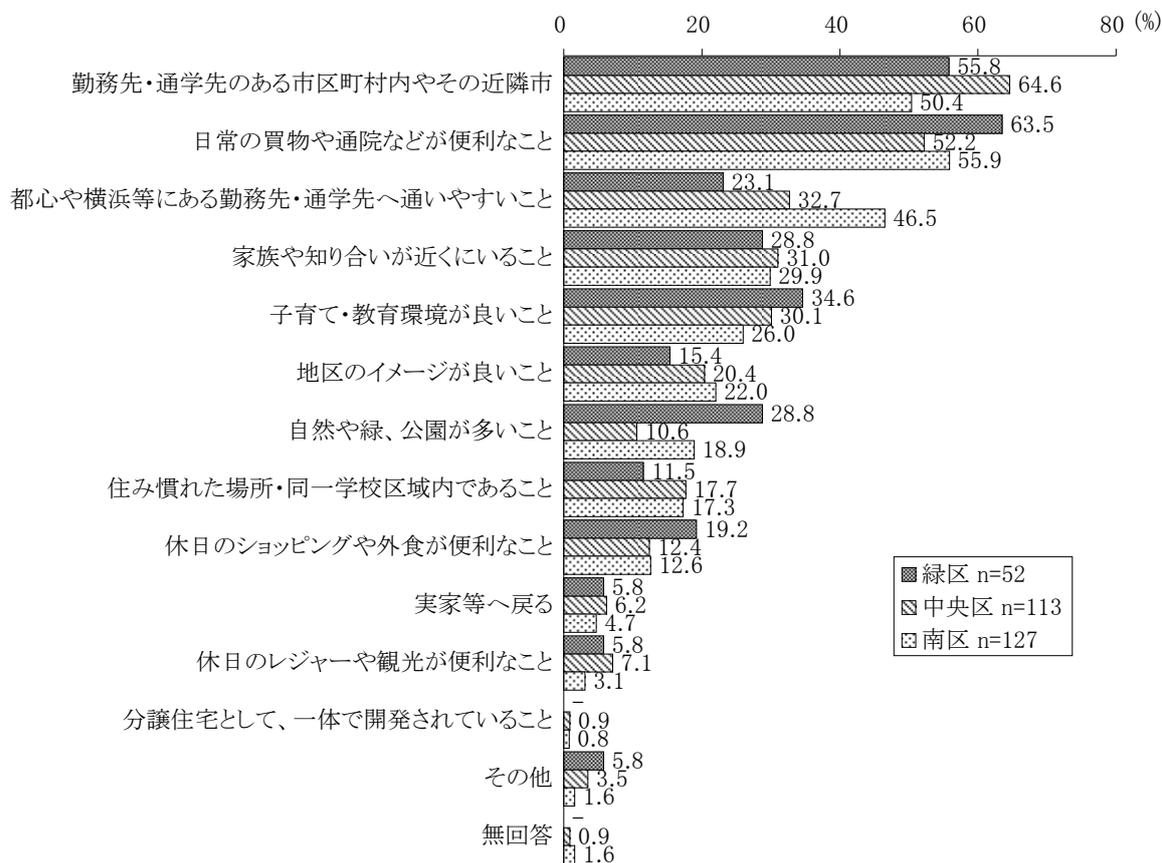
年齢別でみると、「日常の買物や通院などが便利なこと」では、年齢が低いほど、その割合が高くなっています。また、「子育て・教育環境が良いこと」と「住み慣れた場所・同一学校区域内であること」については、「30歳～40歳」が20歳代より高い割合になっています。



第2章 調査結果の詳細

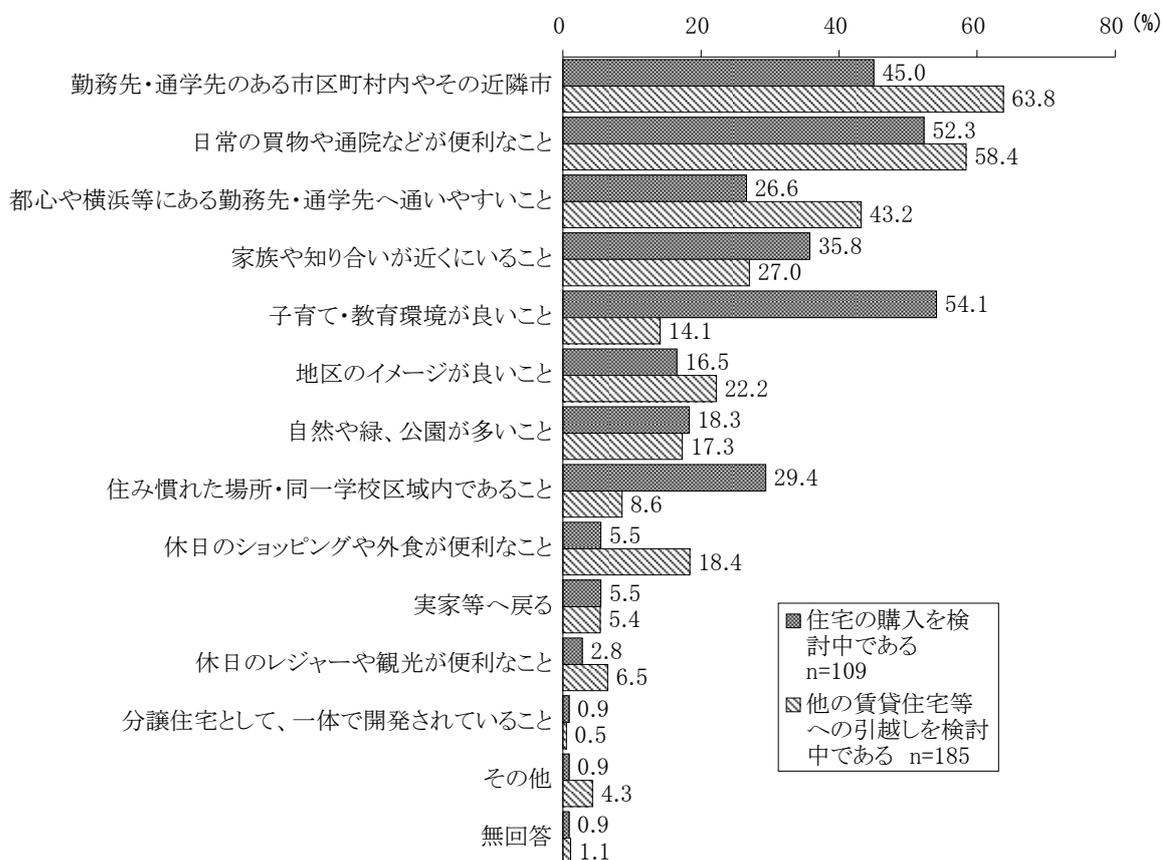
【区別】

区別でみると、「勤務先・通学先のある市区町村内やその近隣市」では、「中央区」(64.6%)が最も高く、「日常の買物や通院などが便利なこと」と「子育て・教育環境が良いこと」では、「緑区」(それぞれ63.5%、34.6%)が最も高くなっています。また、「都心や横浜等にある勤務先・通学先へ通いやすいこと」と「地区のイメージが良いこと」では、「南区」(それぞれ46.5%、22.0%)が高くなっています。



【今後の引越し予定別】

今後の引越し予定別でみると、差の大きな項目に注目したところ、「子育て・教育環境が良いこと」(40ポイント差)と「住み慣れた場所・同一学校区域内であること」(21ポイント差)については、「住宅の購入を検討中である」人の割合が高く、「勤務先・通学先のある市区町村やその近隣市」(19ポイント差)については、「他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」人の割合が高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【世帯構成別・職業別】

世帯構成別でみると、「勤務先・通学先のある市区町村内やその近隣市」では、「単身世帯」(62.2%)や「自分と親からなる世帯」(60.4%)の割合が6割台と高く、「日常の買物や通院などが便利なこと」では「単身世帯」(66.7%)が、「都心や横浜等にある勤務先・通学先へ通いやすいこと」では「単身世帯」(48.9%)と「自分と親からなる世帯」(45.1%)が、「家族や知り合いが近くにいること」と「子育て・教育環境が良いこと」では「夫婦のみ世帯」(それぞれ36.4%、38.6%)と「夫婦と子ども世帯」(それぞれ42.4%、61.2%)が高くなっています。

職業別でみると、「子育て・教育環境が良いこと」では、「専業主婦・主夫」(75.0%)で特に高くなっています。

(%)

		回答者数 (人)	勤務先・通学先のある市区町 村内やその近隣市	日常の買物や通院などが便利 なこと	都心や横浜等にある勤務先・ 通学先へ通いやすいこと	家族や知り合いが近くにいる こと	子育て・教育環境が良いこと	地区のイメージが良いこと	自然や緑、公園が多いこと
全 体		294	56.8	56.1	37.1	30.3	28.9	20.1	17.7
問 4 世 帯 構 成 別	単身世帯	45	62.2	66.7	48.9	13.3	2.2	35.6	20.0
	夫婦のみ世帯	44	54.5	56.8	31.8	36.4	38.6	15.9	15.9
	夫婦と子ども世帯	85	51.8	50.6	24.7	42.4	61.2	8.2	11.8
	自分と親からなる世帯	91	60.4	53.8	45.1	25.3	12.1	26.4	20.9
	親と夫婦(自分)と子ども	8	62.5	87.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5
	祖父(母)と親と自分	10	40.0	50.0	60.0	40.0	-	30.0	30.0
	その他	11	63.6	54.5	36.4	27.3	9.1	9.1	27.3
問 7 職 業 別	会社員	143	60.1	53.1	42.7	30.8	26.6	18.9	13.3
	公務員・団体職員	19	68.4	57.9	31.6	26.3	21.1	36.8	5.3
	自営業(自由業・農業を含む)	9	33.3	66.7	-	22.2	22.2	33.3	55.6
	派遣社員、パート・アルバイト	48	62.5	62.5	25.0	33.3	18.8	22.9	27.1
	専業主婦・主夫	32	37.5	59.4	25.0	37.5	75.0	6.3	18.8
	学生	25	56.0	56.0	64.0	16.0	16.0	32.0	20.0
	無職	11	54.5	54.5	36.4	36.4	9.1	9.1	27.3
	その他	6	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	-	-

【世帯構成別・職業別】 続き

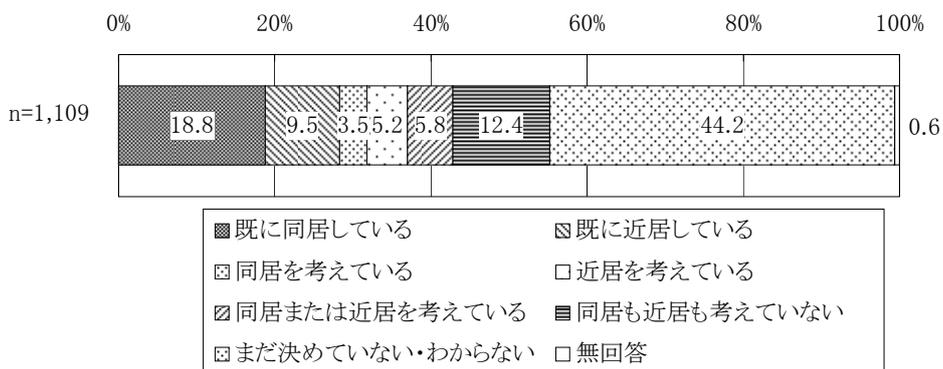
(%)

		回答者数(人)	住み慣れた場所・同一学区内であること	休日のショッピングや外食が便利なこと	実家等へ戻る	休日のレジャーや観光が便利なこと	分譲住宅として、一体で開発されていること	その他	無回答
全 体		294	16.3	13.6	5.4	5.1	0.7	3.1	1.0
問4 世帯構成別	単身世帯	45	4.4	20.0	13.3	8.9	-	4.4	-
	夫婦のみ世帯	44	13.6	18.2	2.3	2.3	-	4.5	-
	夫婦と子ども世帯	85	30.6	2.4	5.9	1.2	1.2	-	1.2
	自分と親からなる世帯	91	9.9	17.6	3.3	6.6	1.1	3.3	2.2
	親と夫婦(自分)と子ども	8	37.5	-	-	12.5	-	12.5	-
	祖父(母)と親と自分	10	10.0	30.0	-	10.0	-	-	-
	その他	11	9.1	18.2	9.1	9.1	-	9.1	-
問7 職業別	会社員	143	16.1	18.2	4.9	2.1	0.7	1.4	1.4
	公務員・団体職員	19	5.3	5.3	15.8	5.3	5.3	15.8	-
	自営業(自由業・農業を含む)	9	22.2	11.1	-	33.3	-	-	-
	派遣社員、パート・アルバイト	48	12.5	14.6	6.3	6.3	-	4.2	-
	専業主婦・主夫	32	28.1	3.1	-	3.1	-	-	-
	学生	25	8.0	12.0	4.0	8.0	-	-	-
	無職	11	18.2	9.1	18.2	18.2	-	9.1	-
	その他	6	50.0	-	-	-	-	16.7	16.7

(18) 両親と同居・近居の予定

問4-1 将来、ご両親と同居（二世帯住宅を含む）または近居（車で10分以内程度のところ）する予定はありますか。（○は1つ）

両親と同居・近居の予定について聞いた結果、「既に同居している」(18.8%)、「既に近居している」(9.5%)、「同居を考えている」(3.5%)、「近居を考えている」(5.2%)、「同居または近居を考えている」(5.8%)、「同居も近居も考えていない」(12.4%)、「まだ決めていない・わからない」(44.2%)となっています。

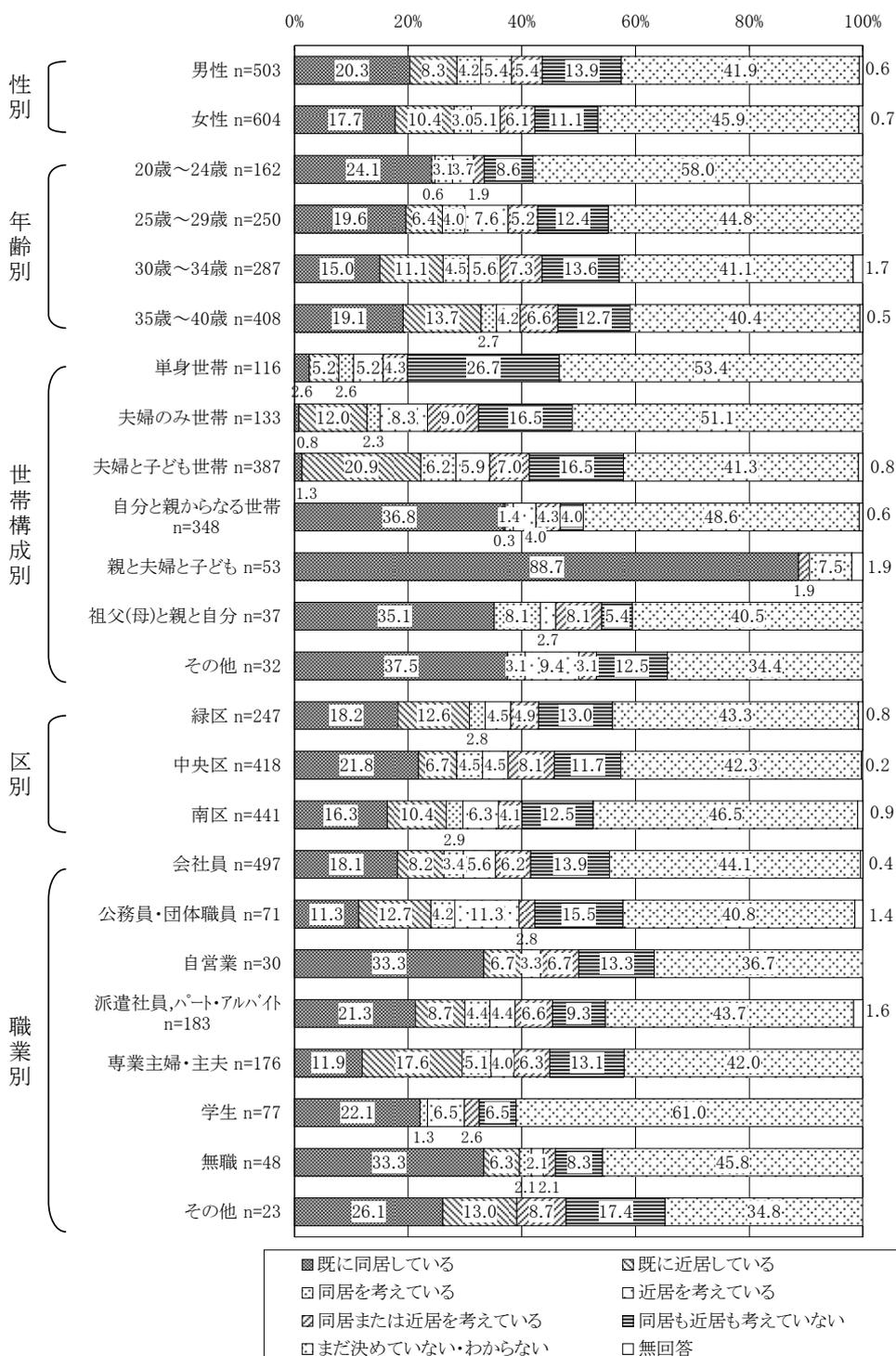


○クロス集計

性別では、各項目に大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「20歳～24歳」の場合、「まだ決めていない・わからない」(58.0%)が5割を超えています、「25歳～29歳」の場合では4割台まで減っています。

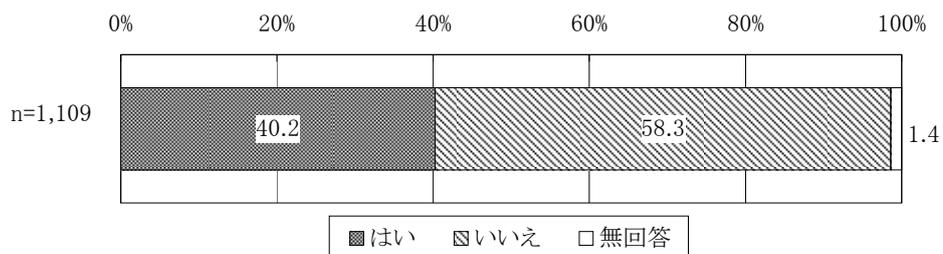
世帯構成別でみると、「夫婦と子ども世帯」の場合、「既に近居している」が20.9%で、他の世帯に比べて高くなっています。



(19) 市内に相続する可能性のある家・土地の有無

問42 将来的に、相模原市内に相続する可能性のある家(土地)はありますか。

市内に相続する可能性のある家・土地の有無について聞いた結果、「はい」(40.2%)、「いいえ」(58.3%)となっています。



○クロス集計

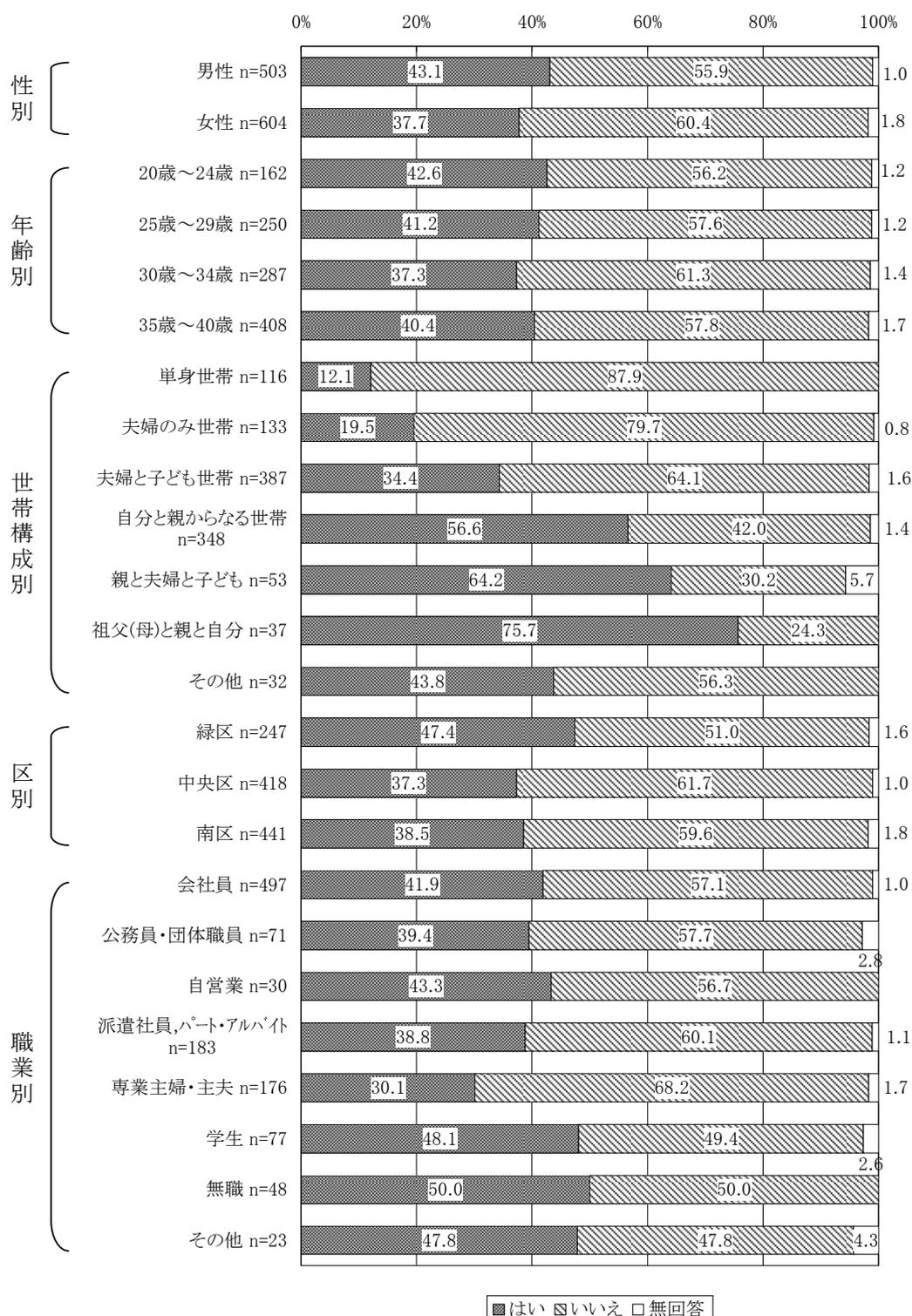
年齢では、各項目に大きな差異はみられません。

性別でみると、「はい」との回答が、「男性」(43.1%)が「女性」(37.7%)を上回っています。

世帯構成別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「単身世帯」(87.9%)、次いで「夫婦のみ世帯」(79.7%)、「夫婦と子ども世帯」(64.1%)となっています。

区別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「中央区」(61.7%)、次いで「南区」(59.6%)、「緑区」(51.0%)となっています。

職業別でみると、「いいえ」との回答で、最も比率が高かったのは、「専業主婦・主夫」(68.2%)、次いで「派遣社員、パート・アルバイト」(60.1%)、「公務員・団体職員」(57.7%)となっています。

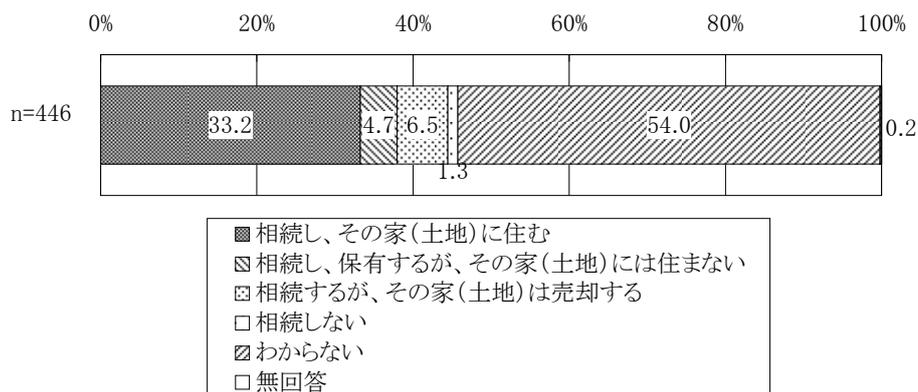


(20) 相続する可能性のある家・土地の活用予定

(問42で「1. はい」に○を付けた方だけの限定質問)

問43 相続する可能性のある家(土地)をどのように活用する予定ですか。(○は1つ)

相続する可能性のある家・土地の活用予定について聞いた結果、「相続し、その家(土地)に住む」(33.2%)、「相続し、保有するが、その家(土地)には住まない」(4.7%)、「相続するが、その家(土地)は売却する」(6.5%)、「相続しない」(1.3%)、「わからない」(54.0%)となっています。

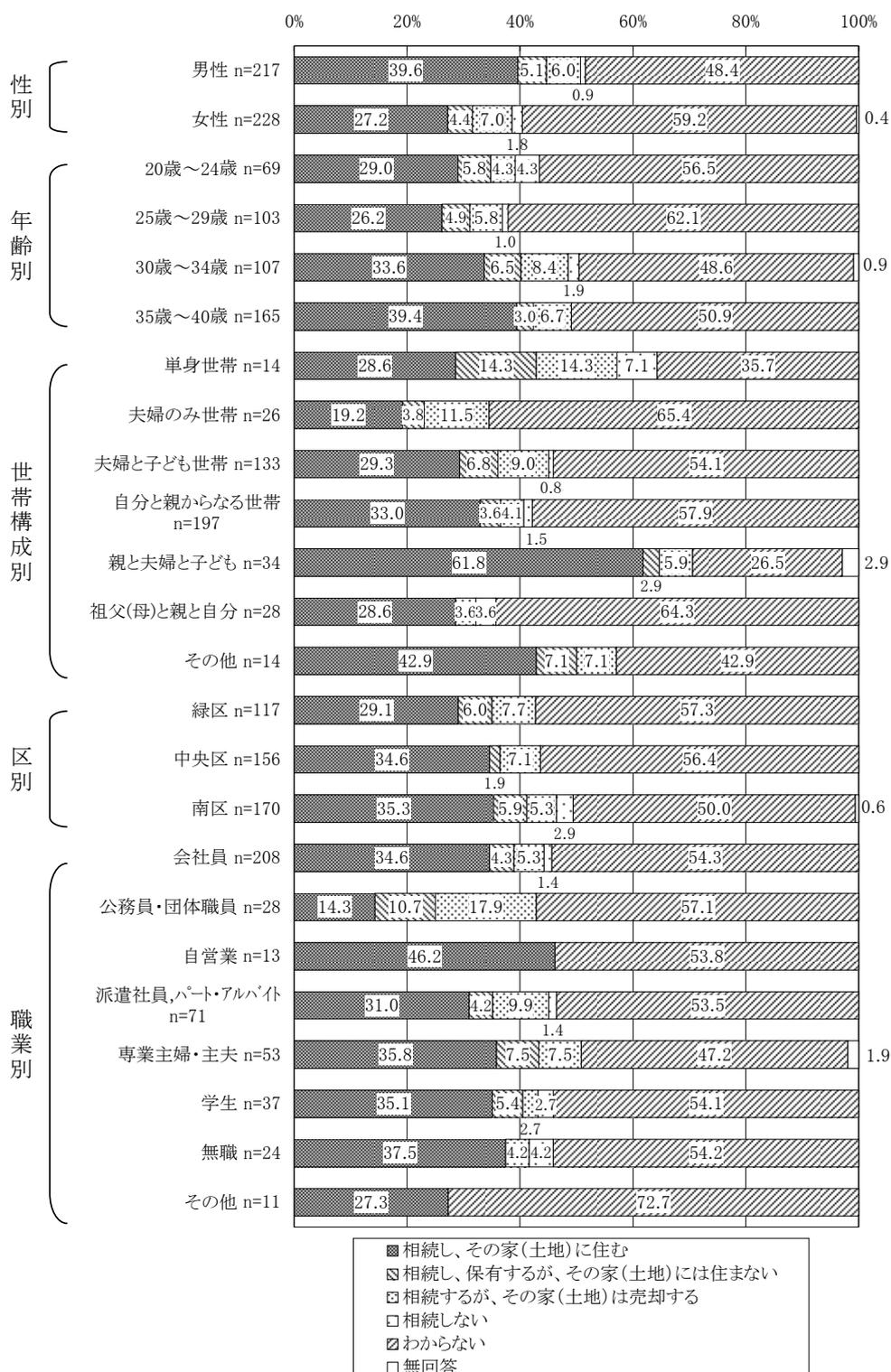


○クロス集計

性別でみると、「相続し、その家（土地）に住む」で、「男性」（39.6%）が「女性」（27.2%）を上回っています。

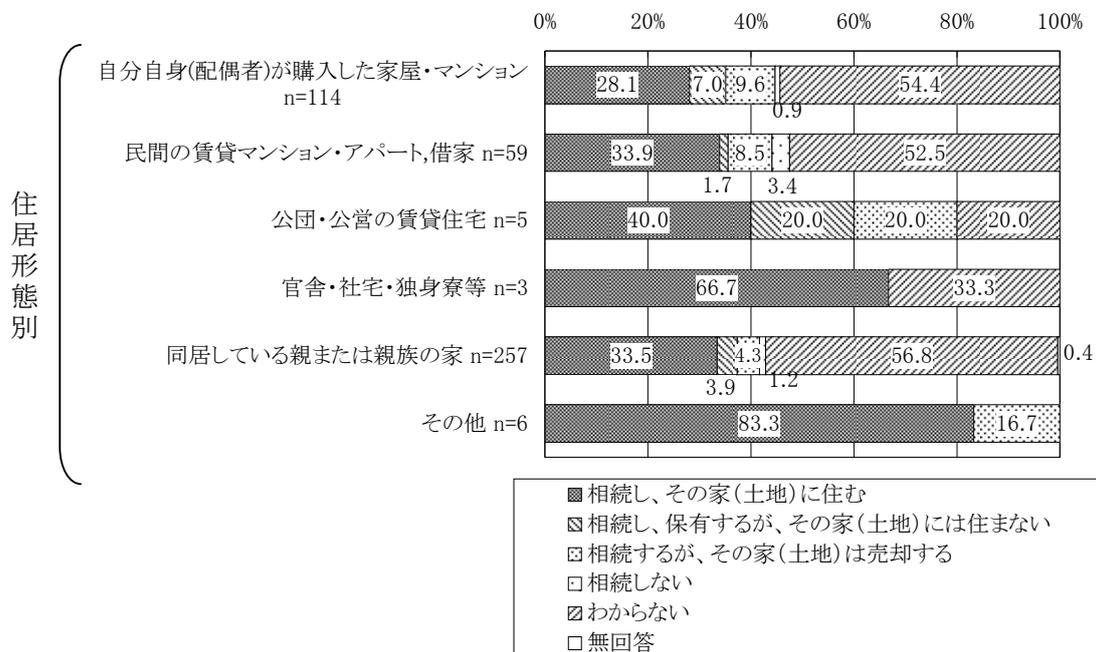
年齢別でみると、「相続し、その家（土地）に住む」の比率は、「35歳～40歳」（39.4%）、「30歳～34歳」（33.6%）で3割台となっており、20代に比べて高くなっています。

世帯構成別でみると、「親と夫婦と子ども」の場合、「相続し、その家（土地）に住む」（61.8%）が最も高く、また、他の世帯の場合では、「わからない」が最も高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

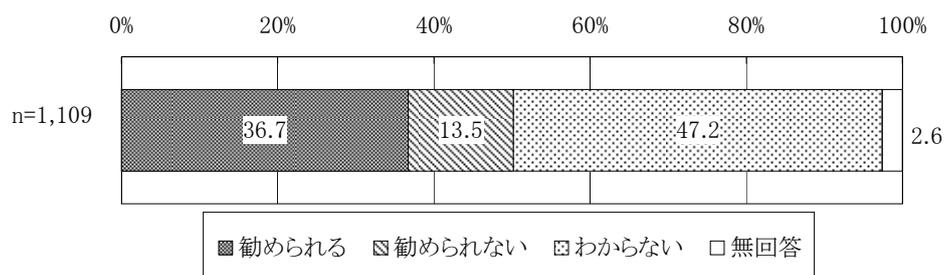
住居形態別でみると、「相続し、その家(土地)に住む」で、最も比率が高かったのは、「民間の賃貸マンション・アパート、借家」(33.9%)、次いで「同居している親または親族の家」(33.5%)となっています。



(2.1) 友人や知人に市内に住むことを勧められるか

問4.4 あなたの友人や知人に相模原市内に住むこと（住宅の購入や賃貸住宅への入居等）を勧められますか。（○は1つ）「1. 勧められる」と「2. 勧められない」に該当する方は、その理由もお聞かせください。

友人や知人に市内に住むことを勧められるか聞いた結果、「勧められる」（36.7%）、「勧められない」（13.5%）、「わからない」（47.2%）となっています。

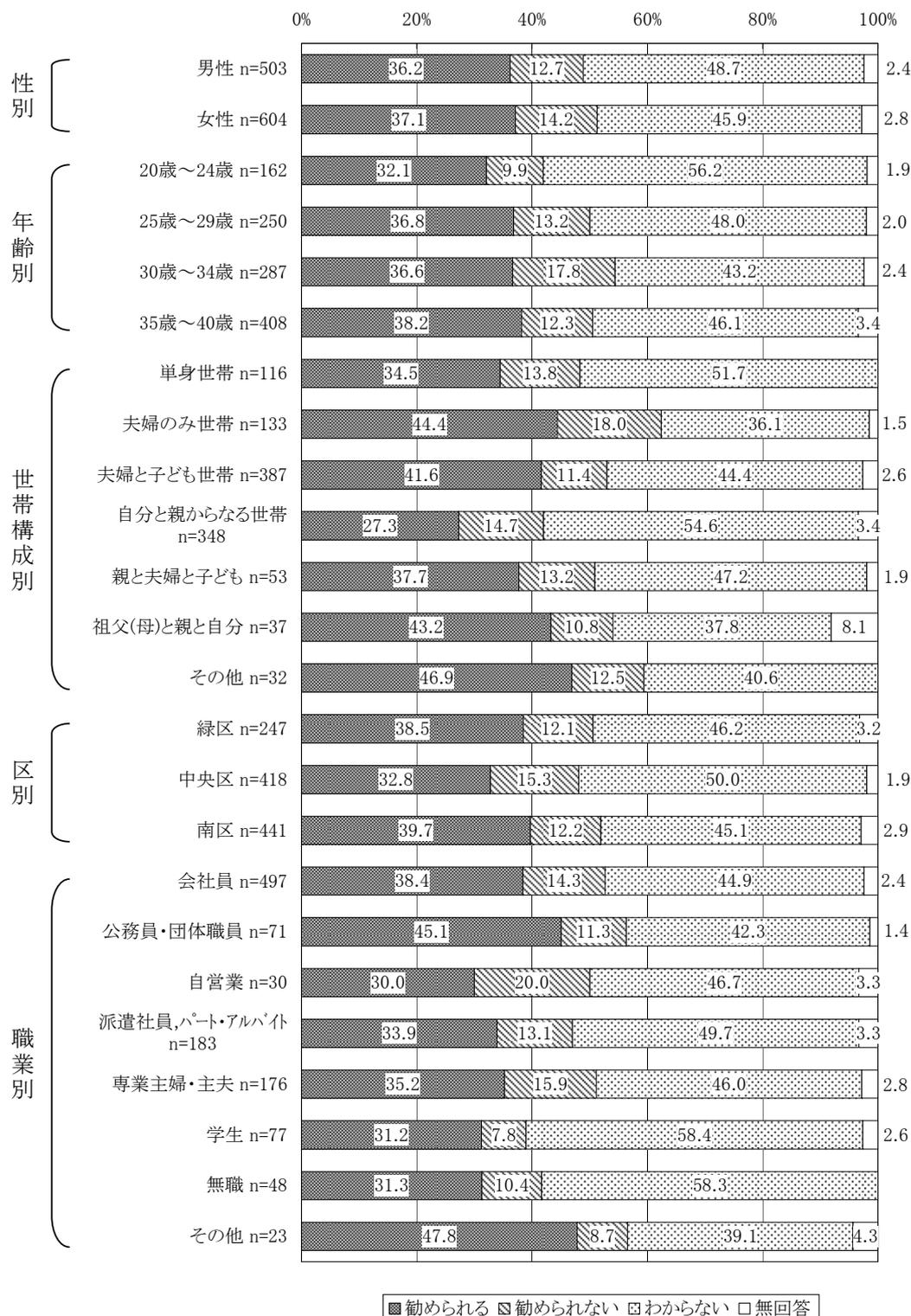


○クロス集計

性別・年齢別・区別では、各項目に大きな差異はみられません。

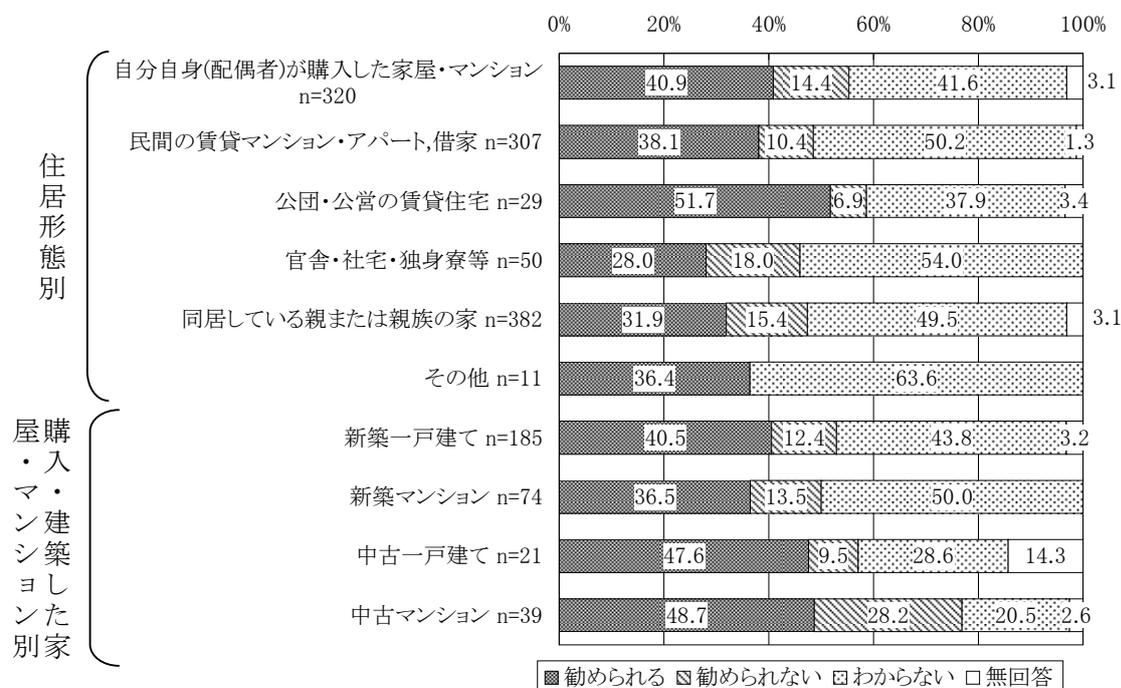
世帯構成別でみると、「勧められる」で、最も比率が高かったのは、「夫婦のみ世帯」(44.4%)、次いで「祖父(母)と親と自分」(43.2%)、「夫婦と子ども世帯」(41.6%)となっています。

職業別でみると、「勧められる」で、最も比率が高かったのは、「公務員・団体職員」(45.1%)、次いで「会社員」(38.4%)、「専業主婦・主夫」(35.2%)となっています。



住居形態別でみると、「勧められる」で、最も比率が高かったのは、「公団・公営の賃貸住宅」(51.7%)、次いで「自分自身(配偶者)が購入した家屋・マンション」(40.9%)、「民間の賃貸マンション・アパート、借家」(38.1%)となっています。

購入・建築した家屋・マンション別でみると、「勧められる」で、最も比率が高かったのは、「中古マンション」(48.7%)、次いで「中古一戸建て」(47.6%)、「新築一戸建て」(40.5%)となっています。



○理由 (主なもの)

1 勧められる人の理由

(1) 自然と都市とのバランス

- ・都会のわりに自然が多いから。
- ・都内に行くにもそれほど遠くないし、川や海にも気軽にいく事もできる。
- ・程よく都会で緑も多く、背伸びせず、無理せず暮らせる。
- ・都会的な場所も田舎もあるので、好みの地域が必ずあると思うから。

(2) 通勤、通学、日常生活、レジャー等にかかる交通の利便性

- ・新宿や横浜に出やすく、家賃も高くない。相模大野や町田でほとんどの買物を済ませられ、大学病院もあり生活に便利である。
- ・スーパーや大型の商業施設も充実していて生活するのに良いと思います。マイホーム購入を考えている人にオススメだと思います。
- ・緑も多いし、都心にも近く、通勤にもとても便利なところだと思う。大通りにはお店も多く、外食するのも迷ってしまうくらいである。衣食住すべて整っていると思います。
- ・東京23区への通勤圏内で土地・賃貸の値段が安いから。
- ・ショッピングモールが多く便利。
- ・電車で都内まで座って行ける。
- ・スーパーが沢山あって価格競争をされていて安いし、都心へのアクセスも良いので。

第2章 調査結果の詳細

- ・水がおいしい、都会に行くにも江ノ島や箱根に行くのも電車の便が良く、近い。
- ・橋本で駅から10分以内なら勧められる。
- ・都心へも山梨・長野へも、横浜・静岡へも日帰りで行ける立地はとても便利だから。

(3) 子育て環境

- ・近場に自然の多い公園が多く、休日をそこでゆっくり過ごせる。子どもが出来たときにも良いと思う。
- ・子育て世代が多く、育児をしやすい環境にあるため。・子育て環境がよい（地域ごとにこどもセンターがある。子ども医療費が無料等）ため。

(4) 地形と将来性

- ・坂が少なく自転車での生活が快適な為。
- ・広々としていて平坦な道が多い。車が運転しやすい。
- ・商工業地帯・住宅・自然がバランス良く存在しており、八王子・町田等の都市も近くにあるから。また、橋本へのリニア誘致など、相模原自体も大規模な街へ成長しつつあるから。
- ・都市部と農村部がちょうどよい割合であり環境的に良い。これから縦貫道もでき交通の便も便利になる。

2 勧められない人の理由

(1) 交通網への不満

- ・子供が高校に行くようになった場合、電車の駅に出る必要が生じた場合に不便を感じる。
- ・都心へのアクセスに時間がかかる。電車の本数が少ない。バスが神奈中しかない。市内の移動も自家用車が必要。高速自動車道に乗るのも時間がかかる。
- ・車など免許のない人には不便だと思う。

(2) 子育てに関する行政サービスの不足

- ・子育てをする上でサービスが悪い。他の市では2人目以降おむつ一年間無料やチャイルドシート貸し出しなどサービスがいい。
- ・子供の医療費を都内なら中3まで助成してくれるが、相模原市では助成が小3で終わるため、子供を育てにくい。
- ・中学校が学区ごとで選べない。
- ・共働きの友人には保育園が足りないようなので勧められない。

(3) 市のイメージ

- ・相模原市は田舎のイメージが強いため。
- ・〔相模原〕という名前のイメージが良くない
- ・広いだけでオリジナルのものが何もない。

(4) 治安、雇用、市の将来性への不安

- ・ニュースに取り上げられる様な事件が多い。治安が悪い。
- ・倉庫、工場、住宅が混在し、夜道が非常に暗く、女性の一人歩きを危なく感じているため。
- ・歩道を安全に歩けない（自転車マナーが悪い）、水がまずい、飛行機の騒音がひどい。
- ・長く続ける仕事を見つけ難い。
- ・基地の補助金が市の収入に関与していて、今後の補助金の行方も疑問視される。工業団地に依存した税収も不安定である。津久井の合併に伴う高齢者の問題。

4. 自由意見

問45 「就職（仕事）」及び「居住（住宅）」に関連する内容で、行政に望むことやご意見等がございましたらお聞かせください。

○主な自由意見

1 就業関連

(1) 市内の就職先への斡旋、説明会等の実施

- ・相模原市就職支援センターの存在が薄い。市内の就職先への斡旋等もっと広く知らせるべきだと思う。又、相模原には工場ばかりなのでそういう場への就職を望まない若い人達他県や他市に出て行くのも当然ではないか。
- ・相模原市内にある大学などで市主催の就職説明会などを開催してもらいたい。
- ・相模原市で求人があるのであれば、もっと広く紹介して欲しい。
- ・大企業に入りたいとは思いますが、自分に合った仕事を見つけるお手伝いをしてほしいと心から思っています。
- ・相模原市内には工場もあって大手企業や地元の優良企業も数多く存在していると思うのですが、私が学生のときにはそれを知る手段がありませんでした（そもそも相模原市で就職活動するという考えが浮かばなかった）。地元企業を集めた新卒者向けセミナーとかやってみたらどうでしょうか。
- ・相模原市就職支援センターの存在をもっとアピールされたほうが良いかもしれません。説明会の回数や目立つようなポスターやDM等。

(2) 正規雇用の促進

- ・近年、契約社員ばかり採用する会社が増えていますが、正社員を採用する事を会社に指導してほしいです。

(3) ハローワークの改善

- ・ハローワークの駐車場の台数を増やして欲しい。
- ・ハローワークはもっと駅に近い場所があると利用しやすいと思います。
- ・相模大野にあったハローワークプラザが無くなってしまって就活がとてもしにくくなりました。近くにあれば混んでいて検索機が30分しか使えなくてもまた来ようと思いますが、家から市の中心地まで出て、30分で帰されるのでは時間の無駄が多すぎてハローワークを活用しようとは思いません。

(4) 主婦、子育て女性への就職支援

- ・主婦等短時間で働きたい人間向けの求人が沢山あるとうれしい。市でセミナー受講→就職斡旋等、幅広くやっていただけるとありがたいです。
- ・子育て中の主婦は、相模原市内の家に近い場所で就職したいと考えている人が多いと思う。そのような人を活用するような仕組みがあれば良いと思う。
- ・就職は子どもが保育所へ入所できればしたいと思う。でも保育所へ入れるか…就職活動は子連れでできるのか不安です。良い方法があれば教えて欲しいです。
- ・子供を出産した後も仕事をしたいと思うが、保育園に入園できるかどうか不安が大きい。子どもがいても働きやすい職場が市内に増えて欲しい。

第2章 調査結果の詳細

- ・就職先に子供を預かってくれる施設があると良い。保育園に全然入れない。
- ・シルバー人材センターの方にお世話になっていますが（家事の手伝い等）、自分も定年後など得意な事をいかして働けたらいいと思います。子育て中、子育て後の女性が正社員として働けるシステム、情報等あれば発信して欲しいです。

(5) 市民優先の採用

- ・就職先（会社）は地元出身者の獲得に力を入れて欲しい。地元で根を下ろす事で結婚・出産・子供・学校・地域住民とつながっていくでしょう。
- ・工業地帯が多いので相模原市民を優先で採用してほしい
- ・市内に住んでいる人を優先して就職できるように市内の企業に呼びかけてほしい。

(6) 働く場の創出

- ・緑区での就職先が多くなれば、将来発展するのではないかと。
- ・若者の世代にとって魅力的だと思える職場が見当たらない。全てにおいて相模原をアピールするものが乏しい。
- ・企業が集まるエリアを相模大野に作ったほうが良い（商業の町田とのコラボレーションにより、企業を呼び込み税金の増収と人口増加に期待）。
- ・仕事を確保しないと、人は離れていくと思うので企業が相模原から離れないようにしてほしい。

(7) 情報の集約と見せ方の工夫

- ・HPなど就職に関するセミナー情報が見にくい。それぞれバラバラで、まとめて見ることができない。チラシなども決まった場所にしかなく、もっと駅など分かりやすい所にあってほしい。
- ・就職活動をしていたとき、市でサポート活動をしていることを全く知らなかったのもう少し広報の仕方を考えた方が良くと思う。市報を手に入れられる場所が増えれば市のサービスをアピールできるのでは。
- ・就職や失業手当 e t c のサービス内容を分かりやすく、人のよく集まる所等に表示して欲しい。HPや自分から市役所に行って初めて知るのはサービスを受ける権利が平等にあると感じない。

(8) つまづいた人がリスタートしやすい環境づくり

- ・このような時代だと私のように仕事でうまくいかずに挫折してしまう市民の方も多と思います。社会復帰のしやすい社会や失敗してもチャレンジが続けられる社会として、日本のモデルケースとなる相模原市を作っていただきたいと思っています。
- ・ニートや引きこもりなどをサポートする環境が不十分に思えます。サポートセンターに通っても、週1回の労働、自立塾に通っても最大6ヵ月まで。それで立ち直れる方もいますが、大抵は時間をかけて社会に戻していくしかありません。そしてそのような子はバイトを探すのも困難です。低賃金でも良いので障害者の通ってらっしゃるような作業所のような施設があると良いなと思っています。本人の努力が足りない点もあるかとは思いますが、そういった働きたいけど働く場所が無い人達の事を覚えておいて頂けると幸いです。
- ・新卒・既卒にこだわらない採用活動を求めたい。新卒で失敗するとなかなか社会に戻れないのは辛いと思う。
- ・ニート等に対する無料の講座を開いてほしい。
- ・30～40歳までの公務員として就職できる再チャレンジ制度のようなものを作ってほしい。

2 居住関連

(1) 物件の情報

- ・50坪以上の土地・敷地のある便利な場所を探せない。借りたい地区に物件がない。
- ・なるべく住みたいと思う人の条件を満たしてくれる情報を提供して欲しい。
- ・住宅の購入や賃貸住宅に入居する際に相談できる窓口があると良いと思う。

(2) 公営住宅等の安価な住宅の充実

- ・高齢者が安心して住める公営・公団の住宅や介護施設の増加を望みます。
- ・安い公営住宅を増やして欲しい（若者向けの）。
- ・横浜線沿線（駅周辺）で若い世代が手ごろな家賃で住める部屋がもっと増えると嬉しいです。
- ・相模原市に住んでいる方は、わりと低収入の方が多いので若い人が低賃金で借りられる住宅があれば助かる。

(3) インフラ等の整備、生活環境の改善

- ・旧津久井郡の交通の便が悪く、駅付近の駐車場も少ない（高い）ので、市営駐車場が通勤者向けにあれば良いと思う。電車があれば更に良いですが。
- ・横浜線の本数を増やす。駅周辺を開発し、都心にアクセスしやすい場所が多くなれば、人は増えるし、減少することはないと思う。良いところだからもったいない。
- ・自転車の為の道路を確保して欲しい。
- ・子供が学校へ行くのに歩道が全然無く危ないので作って欲しいと思います。
- ・買い物難民（高齢者などが食料品などを買うスーパーなどが近くにない状況）を出さない。市営の交通アクセス網を早急に整備して欲しい。
- ・（国道以外の）道路の水はけを良くしてほしいです。排水溝が少なく間隔が長いので雨が降るとすぐ水溜りになり、車道を歩く事になり危ないです。又、横断歩道で止まる車がほとんどなく、車優先の街の様に感じました。同じ市に住む人同士、他人にも優しく、思いやりのある街になれば、もっと住みよく、イメージも良くなると思います。
- ・米軍の飛行機の騒音を減らして欲しい。
- ・都市ガスの設置エリアを広げて欲しい。プロパンガスは高く、住みにくさ、また他からの転居を考えた時の大きなマイナス要素である。相模原は都市ガス普及網が狭い。
- ・大野北地区に住んでいるが新築分譲マンションが建ちすぎ！！その上、一戸あたりの広さがあまりない。子供の多い地域なのだから広さなどいろいろな制限などを設けてみてはいかがでしょうか？
- ・市営住宅のような集合住宅の整備はよく目に付きますが、古い家などの整備補助などは（少なくとも）あるのでしょうか。

(4) 行政サービスの充実

- ・子育てがしやすく、安全であることを望む。公園や子供が集える環境を増やしてもらいたい。子育て世帯にお金がかからない様にしてもらいたい。
- ・外国人向けサービスがもっと親身で、役に立つものであれば良いと思う。
- ・都心に近いだけあり、平日より土日の人口の方が多いと思う。土日に受けられるサービスがたくさんあると住む人も多くなると思う。

參考資料

『就職及び居住に関する意識・行動調査』にご協力ください

この調査は、相模原市役所が市民の皆様を対象に実施するものです。

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

相模原市の将来人口は、この先10年程度は微増傾向にありますが、それ以降、減少に転じると推計しています。相模原市においては、迫りくる人口減少局面を大きな課題と認識し、持続可能な都市経営を行うために、中長期的な人口維持策を検討する必要があります。

そこで、人口の移動に大きな影響を与えると思われる「就職（仕事）」と「居住（住宅）」に関する市民の皆様の意識や行動を把握するため、アンケート調査を実施させていただきます。

この調査をお願いするにあたり、相模原市内に居住する20歳から40歳までの方3000人を住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容は、“○を選んだ方は△人で全体の□%”などの形で集計するもので、回答された方が特定されるようなことは一切ございません。また、集計結果につきましては、平成23年5月頃に相模原市役所ホームページで公表する予定です。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成23年2月

相模原市長 加山俊夫

◆ ご記入にあたってのお願い ◆

- 1 平成23年1月1日現在の状況でお答えください。
- 2 封筒のあて名に示されている方が、鉛筆、ボールペンを使用してご記入ください。
- 3 回答は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。また、「2つまで選ぶ」等の設問で、1つしか選べない場合は、その1つだけの回答でかまいません。
- 4 ご自分の意見に近い選択肢がない場合は、「その他（ ）」の選択肢の番号を囲み、（ ）の中にその内容を具体的にご記入ください。
- 5 一部の方だけに回答していただく質問もありますが、その場合は説明文に従ってください。
- 6 返信用封筒には何も記入しないでください。

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに、

平成23年2月14日(月)までにご投函ください。

この調査に関するご不明な点は、市役所内の下記の部署までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

相模原市役所 企画市民局 企画部 広域行政課
 さがみはら都市みらい研究所 齋藤・宮崎
 電 話：042-769-9224(直通)
 042-754-1111(代表) 内線2375
 メール：surv@city.sagamihara.kanagawa.jp
 URL：http://www.surv.sagamihara.kanagawa.jp

*本調査は、集計作業の一部を民間業者に委託します。これは、お名前のないデータを対象にした機械的な作業なので、受託した業者が個人を特定することはできません。

1 あなたご自身のことについて（平成23年1月1日を基準として）

問1 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 20歳～24歳	2. 25歳～29歳	3. 30歳～34歳	4. 35歳～40歳
------------	------------	------------	------------

問3 あなたは結婚していますか。（○は1つ）

1. 既婚（配偶者あり）	2. 既婚（離死別）	3. 未婚（婚姻歴なし）
--------------	------------	--------------

問4 あなたの世帯は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 単身世帯	5. 親と夫婦（自分）と子どもからなる世帯
2. 夫婦のみ世帯	6. 祖父（母）と親と自分からなる世帯
3. 夫婦（自分）と子どもからなる世帯	7. その他（ ）
4. 自分と親からなる世帯	

問5 あなたが現在住んでいる地区はどこですか。（○は1つ）

1. 小山地区（A1）	7. 橋本地区（B）	13. 上溝地区（H）	19. 城山地区（N）
2. 清新地区（A2）	8. 大野北地区（C）	14. 麻溝地区（I）	20. 津久井地区（O）
3. 中央地区（A3）	9. 大野中地区（D）	15. 新磯地区（J）	21. 相模湖地区（P）
4. 星が丘地区（A4）	10. 大野南地区（E）	16. 相模台地区（K）	22. 藤野地区（Q）
5. 横山地区（A5）	11. 大沢地区（F）	17. 相武台地区（L）	
6. 光が丘地区（A6）	12. 田名地区（G）	18. 東林地区（M）	

*相模原市のどこに該当するのかわからない場合は、最終ページにある『相模原市の地区』という地図をご参照ください。
また、封筒にある記号は、あなたが現在住んでいる地区を表しています。

問6 あなたは現在のお住まい（現住所）に住んで何年になりますか。（○は1つ）

1. 2年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 20年以上
2. 2年以上～5年未満	4. 10年以上20年未満	6. 生まれてからずっと住んでいる

問7 あなたの職業等は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 会社員	4. 派遣社員	7. 学生
2. 公務員・団体職員	5. パート・アルバイト	8. 無職
3. 自営業（自由業・農業を含む）	6. 専業主婦・主夫	9. その他（ ）

*2つ以上の職業がある場合や働きながら学んでいる場合等は、主なものを1つお選びください。

*自由業：一定の雇用関係がなく時間に束縛されないで、独立して営む職業（芸術家、医師、会計士等）。

問8 あなたの従業地（通学地）は次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 相模原市	6. 東京23区	11. 埼玉県
2. 相模原市（自宅）	7. 八王子市	12. その他の県
3. 横浜市	8. 町田市	13. 流動的である
4. 川崎市	9. その他の東京都	14. 従業、通学していない
5. その他の神奈川県	10. 千葉県	

問9 生計をともにする世帯全体の昨年1年間の収入(税込)は、およそどれくらいでしたか。(〇は1つ)

1. 200万円未満	5. 500万円以上～600万円未満	9. 900万円以上～1,000万円未満
2. 200万円以上～300万円未満	6. 600万円以上～700万円未満	10. 1,000万円以上～1,200万円未満
3. 300万円以上～400万円未満	7. 700万円以上～800万円未満	11. 1,200万円以上
4. 400万円以上～500万円未満	8. 800万円以上～900万円未満	12. わからない

* 自営業の場合は、売上高から必要な経費を差し引いた営業利益とお考えください。

2 就職の状況について

あなたの就職に対する考え方や、就職活動の状況について伺います。現在就職活動中の方は現在の活動について、過去に就職活動をされた方は当時の活動について、お答えください。なお、本調査では新卒時の就職活動を対象とし、転職時の就職活動は含みません。

問10 あなたは就職活動をしましたか(していますか)。(〇は1つ)

1. はい⇒問11へ	2. いいえ(自営業や起業等も含む)⇒問24へ
------------	-------------------------

(問10で「1. はい」に〇を付けた方のみ回答してください。)

問11 あなたは就職活動をしていた(している)時、どこに住んでいましたか。(〇は1つ)

1. 相模原市	4. その他の神奈川県	7. 町田市	10. 埼玉県
2. 横浜市	5. 東京23区	8. その他の東京都	11. その他の道府県
3. 川崎市	6. 八王子市	9. 千葉県	

問12 あなたが最も希望した(する)勤務地は次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 相模原市	5. 東京23区	9. 千葉県	13. まだ考えていない・わからない
2. 横浜市	6. 八王子市	10. 埼玉県	
3. 川崎市	7. 町田市	11. その他の道府県	
4. その他の神奈川県	8. その他の東京都	12. 勤務地にこだわらない	

問13 あなたが希望する勤務地の候補の中に相模原市は含まれていましたか(いますか)。(〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問14 あなたが通勤時間として許容できる時間はどの程度ですか。(〇は1つ)

1. 片道30分まで	3. 片道1時間30分まで	5. 片道2時間以上
2. 片道1時間まで	4. 片道2時間まで	6. まだ考えていない・わからない

問15 あなたが就職先を決める際に重視したこと(すること)は次のうちどれですか。(〇は2つまで)

1. 業種(建設業、製造業、サービス業、金融業、不動産業などの種別)	3. 給与	7. 企業の規模・知名度
2. 職種(事務職、営業職、販売職、経理職、専門職などの種別)	4. 休日・休暇	8. 社会貢献の度合い
	5. 通勤時間	9. まだ考えていない・わからない
	6. 転勤の有無	10. その他()

問16 あなたは就職活動の際、求人情報をどのように入手しましたか。(あてはまるものすべてに〇)

1. インターネットの就職活動サイト	5. 就職説明会、セミナー	9. 知人の紹介
2. 企業個別のホームページ	6. ハローワーク	10. 有料職業紹介事業所
3. 求人情報誌	7. 学校の紹介	11. その他()
4. 新聞等の求人広告・チラシ	8. 親族の紹介	

問17 あなたは就職活動の際、相模原市内の企業の求人情報を入手できましたか。市内の企業を希望していない場合でも、結果的（受動的）に入手できた場合は「1. はい」に○を付けてください。（○は1つ）

1. はい⇒問18へ	2. いいえ⇒問19へ
------------	-------------

（問17で「1. はい」に○を付けた方のみ回答してください。）

問18 相模原市内の企業の求人情報をどのように入手しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. インターネットの就職活動サイト	5. 就職説明会、セミナー	9. 知人の紹介
2. 企業個別のホームページ	6. ハローワーク	10. 有料職業紹介事業所
3. 求人情報誌	7. 学校の紹介	11. その他（ ）
4. 新聞等の求人広告・チラシ	8. 親族の紹介	

（就職活動をされたすべての方にお聞きします。）

問19 あなたは就職活動の際、何社程度資料請求をしましたか。（○は1つ）

1. 0社	3. 6社～10社	5. 31社～50社	7. 71社～100社
2. 1社～5社	4. 11社～30社	6. 51社～70社	8. 101社以上

問20 あなたは就職活動の際、何社程度実際に入社試験（エントリーシートの提出、適性検査、面接等）を受けましたか。（○は1つ）

1. 0社	3. 6社～10社	5. 21社～30社	7. 51社以上
2. 1社～5社	4. 11社～20社	6. 31社～50社	

問21 入社試験（エントリーシートの提出、適性検査、面接等）を受けた企業のうち、相模原市内の企業は何社程度ありましたか。（○は1つ）

1. 0社	3. 2社～5社	5. 11社～20社
2. 1社	4. 6社～10社	6. 21社以上

問22 あなたが就職活動の際に最も困ったことや悩んだことは次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 自分にあった仕事がわからない	5. 面接や適性検査の仕方がわからない
2. 自分は何がしたいかわからない	6. 仕事とはそもそも何のためにやるのかわからない
3. 企業の活動内容がわからない	7. その他（ ）
4. 相談先がない	8. 特に困ったことはなかった

問23 あなたは相模原市就職支援センターを利用したことがありますか。（○は1つ）

1. はい	2. 知っているが利用したことはない	3. 存在を知らなかった
-------	--------------------	--------------

3 お住まいの状況について

あなたのお住まいに対する考え方や住居の実態について伺います。問24の回答に応じて、以後、ご回答いただく質問が変わりますので、ご注意ください。

問24 あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 自分自身（配偶者）が購入した家屋・マンション ⇒問25へ	4. 官舎・社宅・独身寮等 ⇒問35へ
2. 民間の賃貸マンション・アパート、借家 ⇒問35へ	5. 同居している親または親族の家 ⇒問35へ
3. 公団・公営の賃貸住宅 ⇒問35へ	6. その他（ ） ⇒問35へ

(問24で「1. 自分自身(配偶者)が購入した家屋・マンション」に○を付けた方のみ回答してください。)

問25 あなたが現在住んでいる場所(住宅)に住むようになったタイミング・きっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 仕事(就職、転勤等)や商売(自営業等)のため	5. 親世帯等との同居のため(二世帯住宅の建築等)
2. 結婚(離婚)のため	6. (他の選択肢に該当しないが)住宅購入資金等の事情から(金利・税制面のメリットや頭金が貯まったから等)
3. 子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため	7. その他()
4. 親世帯からの独立のため・親元を離れたかったから(選択肢「1」「2」「3」の場合を除く)	

問26 あなたが購入・建築した家屋・マンションは次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 新築一戸建て(注文住宅・分譲住宅)⇒問27へ	3. 中古一戸建て⇒問28へ
2. 新築マンション⇒問27へ	4. 中古マンション⇒問28へ

(問26で「1. 新築一戸建て」と「2. 新築マンション」に○を付けた方のみ回答してください。)

問27 中古住宅のイメージはどのようなものですか。(○は2つまで)

1. 価格が妥当なのか判断できなさそう	6. 設備(台所、トイレ、浴室等)が古そう
2. リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になりそう	7. 保証やアフターサービスが心配
3. 隠れた不具合がありそう	8. 建築経過年数(築年数)が浅い物件なら何の問題もなさそう
4. 耐震性や断熱性などの品質が低そう	9. 近隣との人間関係が心配
5. 間取りが古そう・使いづらそう	10. その他()

⇒ご記入後、問31へお進みください。

(問26で「3. 中古一戸建て」「4. 中古マンション」に○を付けた方のみ回答してください。)

問28 購入当時の中古住宅の建築経過年数(築年数)はどれくらいでしたか?(○は1つ)

1. 3年以下	3. 5年～10年以下	5. 15年～20年以下	7. 不明
2. 3年～5年以下	4. 10年～15年以下	6. 20年超	

問29 購入した中古住宅に関する評価はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1. リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になってしまった	4. 間取りが古かった・使いづらかった
2. 隠れた不具合があった	5. 設備(台所、トイレ、浴室等)が古かった
3. 耐震性や断熱性などの品質が低かった	6. 保証やアフターサービスがなかった
	7. その他()

問30 中古住宅を購入し、住んでみた満足度はどのようなものですか。(○は1つ)理由もお聞かせください。

<p>1. 大変満足している</p> <p>2. 少し満足している</p> <p>3. 少し後悔している</p> <p>4. 大変後悔している</p>	⇒	<p>《理由》</p>
-----------------------------------------------------------------------------	---	-------------

(住宅を購入しているすべての方にお聞きます。)

問3 1 現在のお住まいを購入・建築する前に、どの種類の住宅を選択肢として検討しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 土地+注文住宅	5. 中古マンション
2. 分譲住宅(建売住宅)	6. 賃貸住宅 (購入しないことも1つの選択肢として考えていた)
3. 新築マンション	7. その他()
4. 中古一戸建て	

問3 2 あなたが購入した土地やマンションを知ったきっかけはどれですか。住宅メーカーを知ったきっかけではなく、場所(立地)についてお答えください。(○は2つまで)

1. 住宅情報誌	5. インターネットの住宅情報サイト	9. 親等の土地(住宅の建て替えや同一敷地内での建築等)
2. 新聞の折り込み広告	6. 親族の紹介	
3. 投げ込みチラシ	7. 友人・知人からの紹介	10. その他()
4. 不動産業者・営業マンからの紹介	8. 勤務先の紹介	

問3 3 あなたがお住まいの場所を選ぶ際に、重視したものを優先順位の高いものから順に3つ選び、下の枠内(第1~3位)に番号(1~13のいずれか)をご記入ください。なお、購入価格に関することについては順位から除いてお考えください。(番号に○は付けないでください)

第1位 第2位 第3位

1. 市内や近隣市にある勤務先等へ通いやすいこと	8. 子育て・教育環境が良いこと
2. 都心や横浜等にある勤務先等へ通いやすいこと	9. 家族や知り合いが近くにいること
3. 日常の買物や通院などが便利なこと	10. 住み慣れた場所・同一学校区域内であること
4. 休日のショッピングや外食が便利なこと	11. 分譲住宅として、一体で開発されていること
5. 休日のレジャーや観光が便利なこと(海や山に遊びに行きやすい等)	12. 昔から住んでいる場所に建替えをした
6. 地区のイメージが良いこと	13. その他()
7. 自然や緑、公園が多いこと	

問3 4 今後住み替えること(引越し等)をお考えですか(転勤等自己都合でない場合は除く)。(○は1つ) 「1. 具体的に考えている」と「2. 今は考えていないが、いずれしたいと考えている」に該当する方は、その理由もお聞かせください。

1. 具体的に考えている 2. 今は考えていないが、いずれしたいと考えている 3. 考えていない	⇒	《理由》
--------------------------------------------------------	---	------

⇒ご記入後、問4 1へお進みください。

(問24で「2. 民間の賃貸マンション・アパート、借家」「3. 公団・公営の賃貸住宅」「4. 官舎・社宅・独身寮等」「5. 同居している親または親族の家」「6. その他」に○を付けた方のみ回答してください。)

問3 5 あなたが現在住んでいる場所(住宅)に住むようになったタイミング・きっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 生まれたときから住んでいる	6. 子どもの出産や成長等に伴う部屋数、広さ等の事情のため
2. 親の都合で(親の転勤、親の持家住宅購入等のため)	7. 親世帯等との同居のため
3. 進学・学業のため	8. 親世帯からの独立のため・親元を離れたかったから(選択肢「3」「4」「5」「6」の場合を除く)
4. 仕事(就職、転勤等)や商売(自営業等)のため	9. その他()
5. 結婚(離婚)のため	

問36 あなたが現在住んでいる住宅を知ったきっかけは何ですか。(〇は2つまで)

1. 住宅情報誌	5. インターネットの住宅情報サイト	9. 昔から住んでいる
2. 新聞の折り込み広告	6. 親族の紹介	10. その他 ()
3. 投げ込みチラシ	7. 友人・知人からの紹介	
4. 不動産業者・営業マンからの紹介	8. 勤務先の紹介	

問37 今後引越し(住み替えや親元を離れる等)をする予定はありますか。(〇は1つ)

1. 住宅の購入を検討中である⇒問38へ	3. 考えていない⇒問41へ
2. 他の賃貸住宅等への引越しを検討中である⇒問38へ	4. その他 () ⇒問41へ

(問37で「1. 住宅の購入を検討中である」「2. 他の賃貸住宅等への引越しを検討中である」に〇を付けた方のみ回答してください。)

問38 引越し(住み替え)の予定は、具体的にはいつごろですか。(〇は1つ)

1. 1年以内	3. 3年～5年以内	5. わからない
2. 1年～3年以内	4. 5年超	

問39 現在検討している引越し(住み替え)先で、最も有力な候補地はどちらですか。(〇は1つ)

1. 相模原市	5. 東京23区	9. 千葉県
2. 横浜市	6. 八王子市	10. 埼玉県
3. 川崎市	7. 町田市	11. その他 ()
4. その他の神奈川県	8. その他の東京都	12. わからない

問40 引越し先を選ぶ理由で、優先順位の高いものから順に3つ選び、下の枠内(第1～3位)に番号(1～13のいずれか)をご記入ください。なお、購入価格・家賃に関することについては順位から除いてお考えください。(番号に〇は付けしないでください)

第1位 第2位 第3位

1. 勤務先・通学先のある市区町村内やその近隣市	7. 自然や緑、公園が多いこと
2. 都心や横浜等にある勤務先・通学先へ通いやすいこと	8. 子育て・教育環境が良いこと
3. 日常の買物や通院などが便利なこと	9. 家族や知り合いが近くにいること
4. 休日のショッピングや外食が便利なこと	10. 住み慣れた場所・同一学校区域内であること
5. 休日のレジャーや観光が便利なこと(海や山に遊びに行きやすい等)	11. 分譲住宅として、一体で開発されていること
6. 地区のイメージが良いこと	12. 実家等へ戻る
	13. その他 ()

(すべての方にお聞きします。)

問41 将来、ご両親と同居(二世帯住宅を含む)または近居(車で10分以内程度のところ)する予定はありますか。(〇は1つ)

1. 既に同居している	4. 近居を考えている	7. まだ決めていない・わからない
2. 既に近居している	5. 同居または近居を考えている	
3. 同居を考えている	6. 同居も近居も考えていない	

問42 将来的に、相模原市内に相続する可能性のある家(土地)はありますか。

1. はい⇒問43へ	2. いいえ⇒問44へ
------------	-------------

(問42で「1. はい」に○を付けた方のみ回答してください。)

問43 相続する可能性のある家(土地)をどのように活用する予定ですか。(○は1つ)

1. 相続し、その家(土地)に住む
2. 相続し、保有する(処分はしない)が、その家(土地)には住まない
3. 相続するが、その家(土地)は売却する
4. 相続しない
5. わからない

(すべての方にお聞きします。)

問44 あなたの友人や知人に相模原市内に住むこと(住宅の購入や賃貸住宅への入居等)を勧められますか。(○は1つ)「1. 勧められる」と「2. 勧められない」に該当する方は、その理由もお聞かせください。

1. 勧められる
2. 勧められない
3. わからない



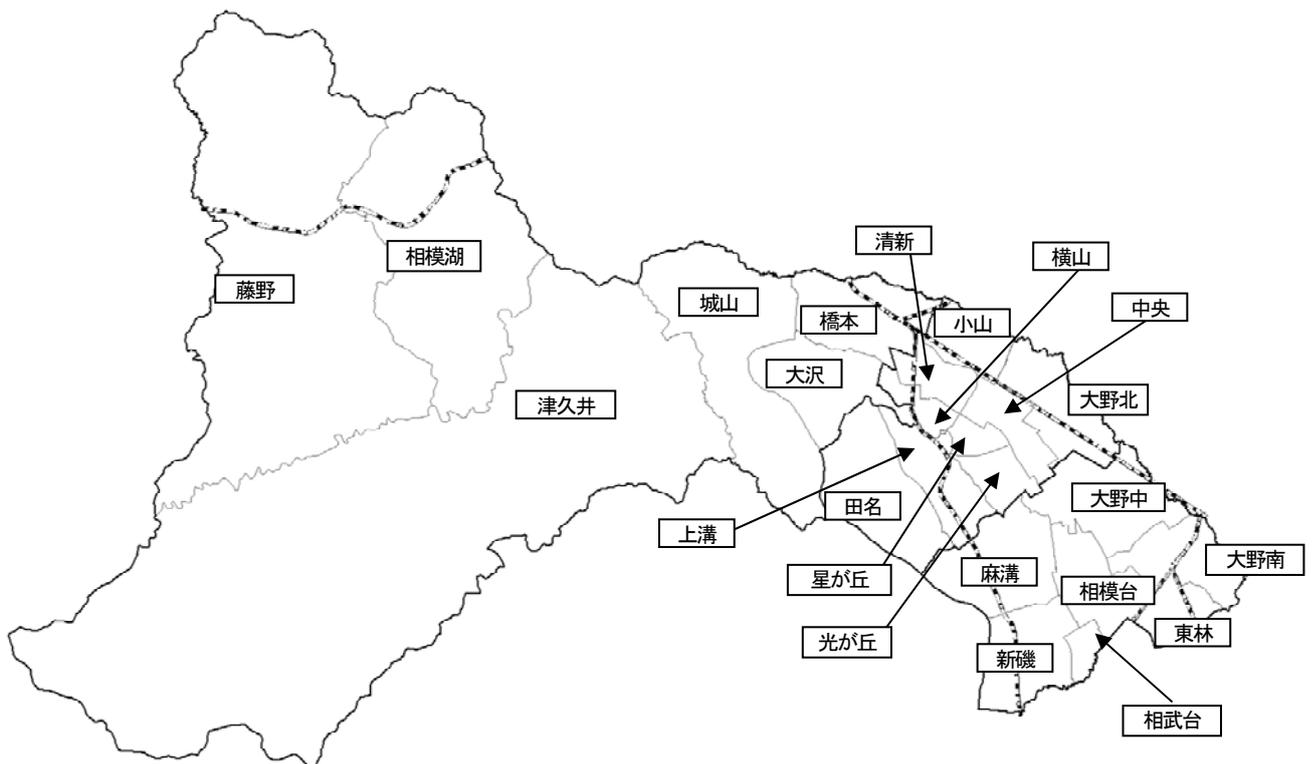
《理由》

4 自由意見

問45 「就職(仕事)」及び「居住(住宅)」に関連する内容で、行政に望むことやご意見等がございましたらお聞かせください。

以上で質問はおわりです。ご協力ありがとうございました。

<相模原市の地区(問5関連)>



恐れ入りますが、記入もれがないかもう一度お確かめの上、同封した返信用封筒に調査票を入れて(切手不要)、平成23年2月14日(月)までにご投函くださるようお願いいたします。

